Panasonic

取扱説明書　操作・設定編

ネットワークディスクレコーダー

品番 WJ-NX200シリーズ

●取扱説明書の構成について

- **設置編：**
  必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。
- **基本編：**
  商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
  PDFファイル形式でCD-ROMに納められています。
- **操作・設定編（本書）：**
  本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。PDFファイル形式で以下のパナソニックサポートウェブサイトに掲載しています。https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html

（イラストはWJ-NX200/6です）
本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-NX200シリーズ（WJ-NX200/05、WJ-NX200/2、WJ-NX200/4、WJ-NX200/6、WJ-NX200V1、WJ-NX200V2）のファームウェアバージョンV2.50に対応した取扱説明書です。

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

もくじ

はじめに

はじめに 8

取扱説明書について 8
略称について 8
本機の設定、操作について 8
使用時の制約事項 9

ご使用の前にお読みください 11

動作検知機能について 11
録画画像の時刻表示について 11
マウス操作について 11
再生時に表示される黒画について 11
録画動作について 12
イベントの種別について 12
「みえますねっと」サービスについて 13

本体設定

基本設定

基本設定を行う［基本設定］ 14

基本設定の各ページを表示する 14
日時や言語に関する設定を行う［日時・Language］ 14
カメラに関する設定を行う［カメラ］ 18
録画やイベントに関する設定を行う
［録画・イベント］ 40

詳細設定

モニターの設定を行う［モニター］ 52

メインモニターの設定を行う［メインモニター］ 52
サブモニターの設定を行う［サブモニター］ 54
モニターに関するその他の設定を行う［高度な設定］ 56

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］ ... 57

ネットワークの基本設定を行う［基本］ 57
メール通知に関する設定を行う［メール］ 62
アラームの独自通知設定を行う［独自アラーム］ 63
ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う［NTP/SNMP］ ... 64

詳細設定

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］... 65
ユーザー管理の基本設定を行う［基本］ ... 65
ユーザー情報を登録／変更／削除する［ユーザー登録］ ... 67
管理者情報を変更する［管理者設定］ ... 69
ホスト情報を登録／変更／削除する［ホスト登録］ ... 70
メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］... 71
バージョンなどシステム情報を確認する［システム情報］ ... 71
ディスク情報を確認する［HDD情報］ ... 72
システムに関する設定や操作を行う［システム管理］ ... 75
本機やカメラのライセンスを登録する［ライセンス登録］ ... 78
HDDを管理する［HDD管理］ ... 81
HDD管理ページの表示のしかた ... 81
HDDの情報を確認する［全般］ ... 82
HDDを初期化する［HDDのフォーマット］ ... 82
HDDの取り外しと組み込みについて ... 83
HDD運用モードの変更について ... 84
録画期間グループを設定する［録画期間グループ設定］ ... 85
拡張機能の設定を行う［拡張機能］ ... 86

その他

設定項目一覧（設定メニュー） ... 87
エラー履歴・ネットワークログについて ... 100
エラー履歴について ... 100
ネットワークログについて ... 102

本体操作

操作の前に

運用画面について ... 103
メインモニター（ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです） .. 103
サブモニター（ライブ画像のみを表示するモニターです） ... 108
基本的な操作のしかた ... 109
ログアウトする ... 109
起動時のログイン操作について ... 110

見る

カメラのライブ画像を見る 111

操作パネルについて 111
操作画面表示と全画面表示を切り換える 116
1画面で表示する 117
多画面で表示する 118
デジタルズームを使用する 119

カメラを操作する 122

カメラコントロールパネル 122
パン／チルト操作 124
ズーム操作 124
ホームポジション移動 125
フォーカス操作 125
明るさ操作 125
自動モード 126
プリセット登録 127
プリセット移動 127
AUX操作 128
ワイパー操作 128
ホームポジション登録 129
オートバックフォーカス実行 129
マスクエリア設定 130
ズーム/フォーカス調整 130
初期位置設定 131

イベント機能

イベント機能について 132

イベント発生時の動作 132
ブザーを停止する 133
アラーム動作を解除する 134
エラー動作を解除する 134

録画

録画する 135

録画する（スケジュール録画） 135
緊急録画 136

再生

再生する 137
再生操作パネルについて 139
頭出し再生する 141
日時を指定して再生する 141
最新の録画画像を再生する 142
タイムラインから指定して再生する 143
検索して再生する 145
履歴から選択して再生する（履歴サーチ） 145
サムネイル画面を表示して再生する（サムネイルサーチ） 146
録画画像に動きのある日時を検索して再生する（動作検知サーチ） 148

便利な機能

コピーする 151
USBメディアをフォーマットする 155
コピーデータを本体で再生する 156
操作項目一覧 158

ネットワーク設定

操作の前に

ネットワーク設定を行う 160
本機のネットワーク設定を行う 160
PCのネットワーク設定を行う 160
本機のネットワークセキュリティについて 163
本機に装備されているセキュリティ機能 163
セキュリティ強化のために 163

ブラウザー操作

操作の前に

操作画面を表示する 165
操作画面について 166
トップページ 166

操作の前に

コントロールパネル 167
カメラ選択パネル 168
設定パネル 169
ステータス表示部 170
ダウンロード操作部 171
[カメラ] タブ 171
[HDD] タブ 172

見る

カメラのライブ画像を見る 173
1画面で表示する 173
4分割画面で表示する（マルチスクリーン）..... 174
カメラを操作する 175
パン／チルト操作 175
ズーム操作 176
フォーカス操作 176
明るさ操作 176
プリセットポジション登録 176
プリセットポジション移動 177
自動モード／ AUX ／ワイパー 177

イベント機能

イベント機能について 179
イベント発生時の動作 179
アラーム動作を解除する 180
エラー動作を解除する 180

再生

再生する 181
日時を指定して再生する 183
検索して再生する（録画イベントサーチ）..... 184
動作検知で検索して再生する（動作検知サーチ）... 186

便利な機能

コピーする 188
再生画像をダウンロードする 190
コピーした画像リストを確認する 191
コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する ... 193
メディアにコピーした画像を再生するには 193
ウェブブラウザーからダウンロードした画像を再生するには 193
ビューワーソフトの使いかた 195

ブラウザー設定

設定する

設定する 199
基本的な操作のしかた 199
各種設定を行う 200
ウェブブラウザーの設定を行う［ウェブブラウザー］ 200
ソフトウェアの更新を行う 201

その他

メール通知について 202
アラームメールについて 202
障害メールについて 202
追補 204
全方位ネットワークマイクとの組み合わせ 204
故障かな!? 210
用語集 215

はじめに

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書　設置編、取扱説明書　基本編（PDFファイル）、取扱説明書　操作・設定編（PDFファイル・本書）、簡単操作ガイドほかで構成されています。

- 取扱説明書　設置編　：必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。
- 取扱説明書　基本編（PDFファイル）　：商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
- 取扱説明書　操作・設定編（PDFファイル・本書）　：本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。設定時には必ずお読みください。
- 簡単操作ガイド　：よく使う機能の操作方法について簡単に説明しています。

PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。
製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

本書および画面中のNX200とは本機を表しています。発生したイベントやエラー情報を受信し表示する専用ソフトウェア（別売り）および接続可能なネットワークカメラ（以下、カメラ）の品番、バージョンについては本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。また、接続可能なカメラの最新情報や、本機のソフトウェアバージョンアップによる機能追加などの情報についてはパナソニックサポートウェブサイト（https://sol.panasonic.biz/security/support）を参照してください。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。
Microsoft Windows 8.1 日本語版をWindows 8と表記しています。
Microsoft Windows 7日本語版をWindows 7と表記しています。
Windows Internet Explorer 11 日本語版をInternet Explorerと表記しています。
ネットワークカメラをカメラと表記しています。

本機の設定、操作について

- 本機の操作は、本機前面のUSBポートに接続したマウス（付属品）およびソフトキーボードから行います。マウスやソフトキーボード操作のしかたは取扱説明書　設置編の「基本的な操作のしかた」をお読みください。
- 本機にカメラを登録すると、本機の録画設定に応じてカメラの設定を自動的に行います。本機に登録しているカメラの映像や音声に関する設定を直接変更すると、本機の設定と不整合が生じたり、各種機能が正常に動作しなかったりする可能性があります。
- 本機の設定と一部の操作は、PCのウェブブラウザーからも行うことができます。ウェブブラウザーから設定できる項目は87ページの「設定項目一覧」を、操作できる項目は158ページの「操作項目一覧」をお読みください。操作のしかたは、165ページ以降をお読みください。
- 本書では、該当する各ページに［本体設定］、［本体操作］、［ブラウザー設定］、［ブラウザー操作］のように小見出しを付けています。
- 本書は、カメラ16台を例に設定や操作を説明しています。

使用時の制約事項

本機には、各機能において以下のような制約事項があります。内容を確認の上、使用してください。

カメラのライブ画像表示時

- カメラのライブ画像表示中に以下の操作をすると、操作後の数秒間*に黒画表示されることがあります。
  - ライブ画像を表示したとき（カメラの切り換えなど）
  - 画像を拡大または縮小表示に切り換えたとき
- メインモニターやサブモニターでカメラの切り換えや画面分割数の切り換え、シーケンス表示などを行うと、カメラによっては、もう一方のモニターに表示されているカメラ画像内の文字サイズが変わって見えることがあります。

録画画像再生時

- 画像の再生中に以下の操作をすると、数秒間*だけ再生時間が飛んで表示されることがあります。
  - カメラを切り換えたとき
  - 画像を拡大または縮小表示に切り換えたとき（再生の一時停止中に表示を切り換えると、停止中の画像ではなく数秒前、もしくは数秒後の画像が拡大表示されることがあります。）
  - 画像の再生中に、再度、再生ボタンをクリックした場合
  - 一時停止中にコマ送り再生した際の最初の1コマ目
- 再生中に以下の操作をすると、数秒間隔*で再生されます。画像再生中の操作については、139、182ページをお読みください。
  - 逆再生
  - 高速再生／高速逆再生
  - 逆コマ送り再生
- 日時検索をすると、指定した時刻の数秒前*、もしくは数秒後*から再生したり、次の録画データの先頭から再生されたりすることがあります。
- 最新再生を行うと、最新の録画日時の約10秒前から数秒間*ずれて再生することがあります。また、録画画像のデータ量によって、再生開始後、数十秒で一時停止することがあります。
- フレームレートが25 ips ～ 60 ipsに設定された録画画像は、なめらかに再生されない場合があります。
- 本機の負荷が大きくて再生を継続できない場合は、再生が停止し、ライブ表示に戻ります。

録画時

- 録画開始の命令（イベント発生やスケジュール録画など）の発生時刻と、実際に録画される時刻（録画イベントリストの時刻）が数秒間*ずれることがあります。
- プレ録画を設定している場合、設定した時間どおりに録画できないことがあります。
- イベント録画や緊急録画時にフレームレートを切り換える設定をしている場合、リフレッシュ周期間隔によっては、レートの切り換わりに数秒かかることがあります。
- カメラによっては、録画のフレームレートを60 ipsに設定すると、音声が途切れたり、録画のフレームレートが低下する場合があります。

コピー時

録画画像をコピーする際、指定した開始日時より数秒前*の画像からコピーされることがあります。

再生画像のダウンロード時

再生画像をダウンロードする際、指定した始点日時より数秒前*の画像からダウンロードされることがあります。

* 時間は、カメラ側のリフレッシュ周期設定によります（設定範囲：0.2 ～ 5 秒）。本機は、カメラ登録時にカメラのリフレッシュ周期設定を1秒に設定します。リフレッシュ周期の設定についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

USBメモリー／外部記憶装置使用時

USBメモリーなどのメディアを挿入後、メディアを認識するまで時間がかかることがあります。また、メディアの容量が大きいと認識に時間がかかります。

ウェブブラウザー使用時

- カメラを高フレームレート、高画質に設定してお使いの場合は、画像の更新が遅くなったり、画像が間欠的に表示されることがあります。
  下記の例のような設定でお使いの方は、スペックに記載のPCを使用すると改善することがあります。
  【設定例】
  1画表示　解像度：FHD（1920×1080）、
  フレームレート：60 ips、画質：XF
  1画表示　解像度：HD（1280×720）、
  フレームレート：60 ips、画質：XF
  4画表示　解像度：HD（1280×720）、
  フレームレート：30 ips、画質：XF
  【スペック】
  CPU: Intel® Core™ i7 6700以上
  メモリー：8 GB（4 GB×2）以上
- カメラの画像をJPEGの高解像度に設定し、音声圧縮方式をAACに設定してお使いの場合は、ライブ音声が定期的に途切れて出力されることがあります。
- カメラをH.265で高解像度に設定してお使いの場合は、ライブ画像や再生画像の更新が遅くなることがあります。

ネットワークカメラWV-S8530N、WV-X8570N登録時

- 同一カメラのそれぞれのカメラ番号で以下の設定値をあわせてください。
  - カメラの認証方式
  - カメラ画像の圧縮方式と解像度
  - 録音設定（音声の圧縮方式）
    ※WV-X8570Nのみ
  - SDバックアップ設定
  - 本機とカメラ間のセキュリティ（接続方法、データ暗号設定）
- 画像の圧縮方式でMJPEGを選択することはできません。
- WV-X8570Nは画像の圧縮方式がH.265(1)で、解像度がWQHD（2560×1440）の場合のみ、SDバックアップが可能です。
- IPアドレス自動付与はS8530-1またはX8570-1のみ可能です。（☞19ページ）
- 同一カメラの複数のカメラ番号を選択して設定を送信すると設定が反映されない場合があります。エラーが発生した場合は、エラーが発生したカメラ番号を選択して、再度設定を送信してください。（☞22ページ）
- 本機からカメラの動作検知アラームを設定することはできません。カメラの動作検知アラームの設定はカメラ側の設定メニューの動作検知エリアタブで設定してください。（☞38ページ）

SDバックアップ時

- スピードクラスClass10対応以外のSDメモリーカードを使用する場合、本機で設定したとおりに録画できない場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
- カメラの配信量制御設定を初期値以外に変更すると、SDバックアップが動作しない場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

ビューワーソフト使用時

- 高解像度、高フレームレートの画像を再生する場合、再生速度が遅くなることがあります。

ご使用の前にお読みください

動作検知機能について

カメラの動作検知（VMD：Video Motion Detection）機能は設定エリア内の輝度変化を元に画像内の動きを検知します。
以下のような場合、動作を検知しにくい、検知しない、または誤って検知する場合があります。
- 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない。
- 夜間など、画像の輝度が低い。
- 被写体の動きが遅い。
- 被写体が小さい。
- 屋外、窓際など外光の状態が変わりやすい。
- 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る。
- 蛍光灯がちらつく。
- 被写体に奥行きがある。

動作検知の設定を行う際は、カメラの設置状況･予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間に検知状況を確認してください。また、検知しない場合や誤って検知する場合は、別途センサーを使用してください。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

録画画像の時刻表示について

本機の録画画像で表示される時間が飛んで表示されることがありますが、故障ではありません。
また、再生している画像と本機で表示する時刻がずれることがありますが、故障ではありません。

マウス操作について

本機で多くの処理が同時に行われているとき、本機に接続したマウスでの操作の反応が、一時的に遅くなることがありますが、故障ではありません。

再生時に表示される黒画について

以下の場合、再生中に黒画が表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 再生中、再生一時停止中にカメラを切り換えたり、画面分割数を切り換えたりしたとき
- スキップ／逆スキップをしたとき
- 早送り／早戻しをしたとき
- 多画面表示時に、最新再生を行ったとき※
- 多画面表示中に、カメラの選択を変更したとき
- 再生中、早送り／早戻し再生中、コマ送り／逆コマ送り時に録画イベントリストをまたぐとき
- 再生動作をスムーズに行えない場合（本機にアラームが連続して入力したり、再生と同時にコピーを行ったりした場合など）

※データ量によって不特定のカメラ画像が黒画になります。

録画動作について

本機は最大24台※のカメラを接続して、HDDに録画することができます。
本機は以下の録画を行うことができます。
スケジュール録画 ：指定した曜日・時間帯に録画を自動で行います。
イベント録画 ：各種イベント（端子アラーム／カメラサイトアラーム／コマンドアラーム）が発生したときに録画を自動で行います。
緊急録画 ：本機の緊急録画入力端子に接続した外部スイッチを使用して、緊急時に優先的に録画／録音することができます。
※カメラ拡張キットでカメラ24台分のライセンス登録時

重要
- 以下の場合には、約3秒間録画は行われませんが、故障ではありません。
  - 録画中に設定を変更して設定メニューを終了したとき

イベントの種別について

ウェブブラウザー画面のリスト表示などで表示される録画イベント種別は以下のようになります。
SCH ：スケジュール録画
EMR ：緊急録画
SD ：SDメモリーバックアップ

以下はイベント録画の詳細種別です。
COM ：コマンドアラーム
TRM ：端子アラーム
CAM ：カメラサイトアラーム
PRE ：プレ録画

「みえますねっと」サービスについて

パナソニックのクラウド型モニタリング・録画サービス「みえますねっと」（有料）を利用することで、ダイナミックDNS（リアルタイムモニター）機能や、下記の通信状態通知、センサー通知のお知らせ機能を利用することができます。詳しくは「みえますねっと」サービスの情報サイト（https://panasonic.biz/cns/miemasu/）をご覧ください。

通信状態通知

カメラやレコーダーからの信号が20分以上途絶えた際、管理者にEメールでお知らせします。

センサー通知

カメラやレコーダーから、動作検知などのセンサー信号が発信されると、管理者にEメールでお知らせします。

システム概要

A
- 定期的にグローバルIPアドレスを通知
- アラーム検出を通知

B
- 20分以上カメラやレコーダーからの信号が検出されないとき、異常を管理者にEメールで通知
- アラーム検出を管理者にEメールで通知

C
- カメラやレコーダーのドメイン名を参照（xxx.miemasu.net）
- 管理者ポータル画面を確認（通信状態確認、センサー検知履歴、各種サービスの申し込みや変更など）

D
- 登録したドメイン名でカメラやレコーダーにアクセス可能

重要
- 「みえますねっと」サービスがサポートしているブラウザーなどを「みえますねっと」サービスのサービス情報サイト（https://panasonic.biz/cns/miemasu/）で確認してください。

メモ
- 「みえますねっと」サービスについてのトラブルなどの対処法については、「みえますねっと」サービスのサービス情報サイト（https://panasonic.biz/cns/miemasu/）を参照してください。
- カメラやレコーダーのURLは、「みえますねっと」サービスに登録したあとに使用できるようになります。（登録されたカメラやレコーダーのURLが有効になるまでに、最大で30分くらいかかる場合があります。）

基本設定を行う［基本設定］

基本設定では、日時表示に関する設定や録画動作など、基本的な設定を行います。
基本設定は、日時・Languageページ、カメラページ、録画・イベントページで構成されています。

メモ

- 設定メニューの［簡単設定］–［らくらくスタート］については、取扱説明書　設置編の「必要最小限の設定を行う［らくらくスタート］」をお読みください。

基本設定の各ページを表示する

設定メニューで各ボタンをクリックします。

メモ

- 設定メニューは運用画面の操作パネルの［設定］ボタンをクリックして表示させます。

［日時・Language］ボタン　：日時・Language（言語）ページを表示します。日時の設定やサマータイム設定などを行います。
［カメラ］ボタン　：カメラページを表示します。ネットワークカメラの登録や設定を行います。
［録画・イベント］ボタン　：録画・イベントページを表示します。録画のスケジュールやイベント動作に関する設定を行います。

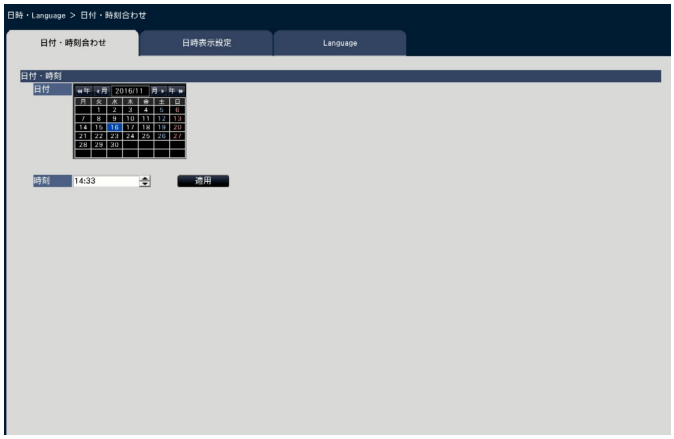
日時や言語に関する設定を行う［日時・Language］

日時・Languageページは、［日付・時刻合わせ］タブ、［日時表示設定］タブ、［Language］タブで、構成されています。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［日付・時刻合わせ］タブ

現在の日付と時刻を設定します。



■日付・時刻

[日付]

現在の日付を設定します。カレンダーから年月日を選択します。

[<<年][年>>]ボタン：年を切り換えます。
[<月][月>]ボタン　　：月を切り換えます。

[時刻]

現在の時刻を設定します。

重要

- 日付、時刻を設定したら、[適用]ボタンをクリックします。→00秒に設定されます。

［日時表示設定］タブ

日時の表示形式やタイムゾーン、サマータイムの設定、時刻合わせ方法などを設定します。

■表示形式

日付と時刻の表示形式を設定します。

メモ

- ［カメラ設定］タブの「日時表示」（☞23ページ）は、ここで設定した表示形式に従います。

[日付]

日付の表示形式を選択します。（表示例：2014年3月1日の場合）

yyyy/mm/dd　　：2014/03/01
Mmm/dd/yyyy　　：Mar/01/2014
dd/Mmm/yyyy　　：01/Mar/2014
mm/dd/yyyy　　：03/01/2014
dd/mm/yyyy　　：01/03/2014

初期設定：yyyy/mm/dd

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

[時刻]
時刻の表示形式を選択します。（表示例：午後3時00分00秒の場合）
　24時間：15：00：00
　12時間：03：00：00PM
初期設定：24時間

■タイムゾーン
タイムゾーンとサマータイムを設定します。

[タイムゾーン選択]
使用している地域に応じたタイムゾーンを選択します。日本で使用する場合は、「GMT+9:00」から変更する必要はありません。
　GMT-12:00 ～ GMT+13:00
初期設定：GMT+9:00

[サマータイム]
サマータイムの切り換え方法を選択します。日本で使用する場合は、「Out」から変更する必要はありません。
　Out　：サマータイムは動作しません。
　Auto：あらかじめ設定したサマータイムの開始／終了日時に従って、自動でサマータイムに切り換えます。
初期設定：Out

[開始／終了日時]
サマータイムの開始／終了日時のルールを設定します。「サマータイム」にてAutoを選択すると表示されます。

サマータイムの開始(In)と終了(Out)の日時を指定する方法として「曜日で指定」または「日付で指定」を選択します。

重要
- 開始（In）と終了（Out）の間隔を1時間以内に設定することはできません。

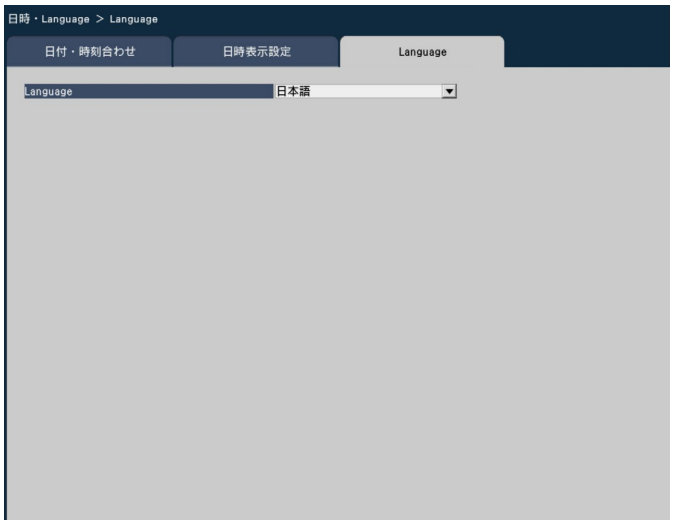
[レコーダー時刻自動調整（端子）]
時刻自動調整（時刻合わせ）の方法を選択します。
　Off　：自動時刻合わせをしません。
　Slave（本機の時刻を合わせる）
　　：本機後面のアラーム／コントロール端子から入力された信号により時刻を合わせます。信号が入力されると正時（毎時00分）からの時間差が29分以内の場合、00分00秒に設定します。
　Master（他機器の時刻を合わせる）
　　：本機後面のアラーム／コントロール端子から信号を出力し、他の機器の時刻を合わせます。
　　[Master]を選択すると、時刻を合わせる時間を設定するための「動作時刻」の設定が表示されます。
初期設定：Off

[動作時刻]
アラーム／コントロール端子から信号を出力する時刻を設定します。レコーダー時刻自動調整（端子）で［Master（他機器の時刻を合わせる）］を選択すると表示されます。
初期設定：00:00

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［Language］タブ

メインモニター、およびPCのウェブブラウザーに表示する言語を選択します。日本語表示で使用する場合は、「日本語」から変更する必要はありません。



[Language]

日本語／ English ／ Français ／ Español ／
Deutsch ／ Italiano ／Русский／ Português ／
ไทย ／中文

初期設定：日本語

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラに関する設定を行う［カメラ］

カメラページは、［カメラ登録］タブ、［カメラ設定］タブ、［高度な設定］タブで構成されています。

［カメラ登録］タブ

カメラのネットワーク設定（アドレスやポート番号）、メインモニターでの表示位置の変更などを行います。
初回設定時は、「らくらくスタート」で検出・設定したカメラの情報が表示されます。

［カメラ検出］
ネットワークに接続されているカメラを検出して登録します。（☞19ページ）

［カメラのユーザー管理］
カメラのユーザー名／パスワードをカメラに設定します。（☞20ページ）

［登録情報の変更］
「品番」、「オプション」、「アドレス」、「圧縮方式」を変更します。
［設定＞］ボタンをクリックすると、登録情報の変更画面が表示され、設定を変更できます。（☞21ページ）
また、カメラとの通信で何らかの障害が発生している場合、「障害情報」に以下のように表示されます。

接続エラー　：カメラと通信していません。
認証エラー　：カメラのユーザー認証に失敗しました。
カメラエラー：カメラからの応答が正しくありません。

メモ

- 障害情報が表示された場合は、カメラとの接続、カメラの設定（☞カメラの取扱説明書）を確認してください。解決しない場合は、取扱説明書　設置編の「らくらくスタート」をお読みいただき、再度カメラ登録を行ってください。

［カメラ入れ換え］
カメラ番号を入れ換えることができます。［設定＞］ボタンをクリックすると、カメラ入れ換え画面が表示され、設定を変更できます（☞22ページ）。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラを検出して登録する［カメラ検出］

［カメラ登録］タブで「カメラ検出」の［設定＞］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。
設定変更後、［OK］ボタンをクリックすると、設定が保存され［カメラ登録］タブに戻ります。

メモ

- 事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラは最大192台まで検出することができますが、ライセンス登録したカメラ台数分しか登録することができません。

［ポート選択］
検出したいカメラが接続されているポートを選択します。

［新規検出］ボタン
現在の設定情報を破棄し、接続しているすべてのカメラを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

［追加検出］ボタン
追加や交換したカメラのみを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

［No.］
カメラ台数で、検出したカメラがIPアドレス順に表示されます。検出されるカメラは最大192台になります。

［選択］
チェックを入れたカメラを登録します。
空き番号は詰めて登録されます。

［品番］
弊社製カメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。

［検出結果］
新規　：初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。
交換　：本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。
追加　：本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。
登録済み：すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。
消失　：登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。
空欄　：カメラが検出されていません。

［IPアドレス］
検出したカメラで設定されているIPアドレスを表示します。

［自動付与］
チェックを入れたカメラのIPアドレスを自動的に設定します。

［スタートアドレス］
自動的にIPアドレスを設定するときの開始アドレスと順番を指定します。

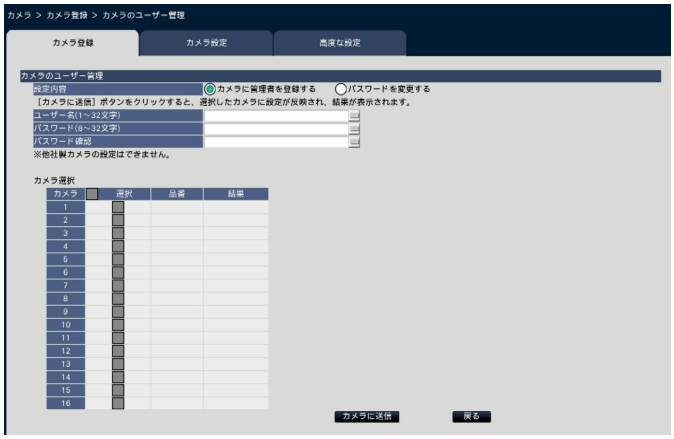
基本設定を行う［基本設定］（つづき）

メモ

- カメラ登録は、ルーターを経由した異なるネットワークのカメラでは行えません。
- セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、電源投入後20分経過するとIPアドレスを変更できなくなります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
- 検出したカメラのDHCP設定が「On」の場合、本機はカメラのDHCP設定を強制的に「Off」に変更し、IPアドレスを自動付与します。
- カメラのIPアドレスを自動付与にした場合、［OK］ボタンをクリックしたときにカメラに対してIPアドレスの設定を行います。このとき、本機のデフォルトゲートウェイ（☞57ページ）が、カメラのデフォルトゲートウェイに設定されます。
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、検出結果を反映せずに［カメラ登録］タブに戻ります。

カメラのパスワードを変更する［カメラのユーザー管理］

［カメラ登録］タブで「カメラのユーザー管理」の［設定＞］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



［設定内容］

設定する項目を選択します。

カメラに管理者を登録する：管理者が未登録のカメラにユーザー名とパスワードを登録します。ユーザー名／パスワードを入力します。

メモ

- すでにユーザー名/パスワードが登録されているカメラはユーザー名/パスワードは登録できません。

パスワードを変更する：本機に登録しているカメラユーザーのパスワードのみを変更します。パスワードを入力します。

■カメラ選択

設定を送信するカメラを選択します。設定したユーザー名やパスワードを送信するカメラにチェックを入れます。（設定内容が、カメラに管理者を登録するの場合、すでに管理者が登録されているカメラは選択できません）

［カメラに送信］ボタン

設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン

設定が終了したら、クリックします。［カメラ登録］タブに戻ります。

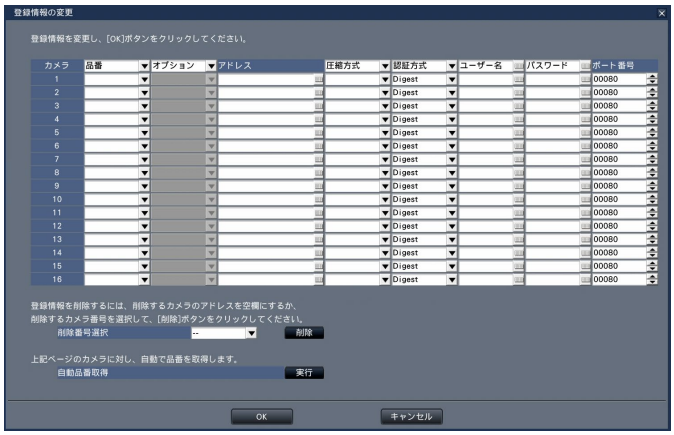
メモ

- ユーザー名、パスワードはカメラの仕様に従ってカメラの管理者権限のものを入力してください。（カメラの取扱説明書を参照してください）
- 入力したユーザー名やパスワードは、カメラに対する設定が成功した場合に、対象カメラの登録情報として設定されます。
- ユーザー名とパスワードを設定した場合は、最後に必ず［設定終了］ボタンをクリックしてください。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

登録情報を変更する［登録情報の変更］

［カメラ登録］タブで「登録情報の変更」の［設定＞］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。
設定変更後、［OK］ボタンをクリックすると、設定が保存され［カメラ登録］タブに戻ります。



［カメラ］
最大24台まで接続できます。ライセンス登録により、9、12、16、24台の構成が可能です。

［品番］
本機に登録済みのカメラの品番が表示されます。（空欄：カメラ未登録）
［▼］ボタンをクリックすると、カメラ区分から選択することができます。カメラ区分については、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
通常は変更する必要はありません。

［オプション］
カメラの搭載機能の違いによって固有の機能を持つカメラに対して、カメラの動作モードを指定します。

［アドレス］
本機に登録済みのアドレスが表示されます。ソフトキーボードでアドレスを変更できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

メモ
- ホスト名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。

［圧縮方式］
画像の圧縮方式を選択します。
H.265(1) ／ H.265(3) ／ H.265(4) ／ H.264(1) ／ H.264(3) ／ H.264(4) ／ MJPEG

メモ
- カメラのストリームの用途別割当例
  ①圧縮方式がH.264のカメラの録画・ライブ1画面表示・ブラウザ表示：H.264(1)
  ②圧縮方式がH.264のカメラのサブストリーム録画・ライブ多画面表示：H.264(2)
  ③圧縮方式がH.264またはH.265のカメラの録画・ライブ1画面表示・ブラウザ表示：H.264(1), H.264(3), H.264(4), H.265(1), H.265(3), H.265(4)
  ④圧縮方式がH.264またはH.265のカメラのサブストリーム録画・ライブ多画面表示：H.264(2), H.265(2)
- 圧縮方式を「MJPEG」に設定すると、ライブ画配信や録画のフレームレート設定が「5 ips」に自動的に変更されます。（☞41ページ）
- 圧縮方式を「H.264(n)」または「H.265(n)」に設定すると、画質設定で「XF」が設定できるようになります。
- 圧縮方式を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

［認証方式］
カメラにアクセスするときのユーザー認証で利用する認証方式を設定します。
Digest　：ダイジェスト認証を使用します。
Digest or Basic：ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。
Basic　：ベーシック認証を使用します。
初期設定：Digest

［ユーザー名］
カメラにアクセスし、ログインするためのユーザー名をソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）から入力します（半角英数字32文字以内）。アクセスレベルが「管理者」のユーザー名を登録してください。

［パスワード］
登録した「ユーザー名」のパスワードをソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）から入力します。（半角英数字32文字以内）

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［ポート番号］
カメラが使用するポート番号を1 ～ 65535の範囲で設定します。
初期設定：80

メモ
- ポート番号は右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定。）ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

［削除番号選択］
登録情報の削除や接続していたカメラを外すときは、カメラ番号を選択し、［削除］ボタンをクリックするか、該当するカメラのIPアドレスを消してください。

［自動品番取得］
［実行］ボタンをクリックすると、本機に登録しているカメラから品番を取得し、品番情報を更新します。
取得した品番が登録されている品番と異なる場合は、解像度が初期設定に変更されるので、再度［録画・イベント］–［録画設定］で解像度を設定し直してください。

カメラ番号を入れ換える［カメラ入れ換え］

［カメラ登録］タブで「カメラ入れ換え」の［設定＞］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、…16の順で表示されます。カメラの構成が24台の場合は2つの16分割画面となります。
入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。
カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

［更新］ボタン
入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

［戻る］ボタン
設定を保存して［カメラ登録］タブに戻ります。

［カメラ設定］タブ

カメラ画像内の日時表示や文字表示、カメラのリフレッシュ間隔、動作検知アラーム、光量制御モードなどの設定をカメラに送信します。それぞれの設定項目の［設定＞］ボタンをクリックして、設定画面を表示します。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

メモ

- 本機から設定できるのは弊社製の一部のカメラです。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。また、カメラによっては対応していない機能があります。カメラごとの詳細仕様については、カメラの取扱説明書をお読みください。
- カメラの現在の設定内容を本機で確認することはできません。

日時表示を設定する［日時表示］

カメラごとに日時の表示位置を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「日時表示」の［設定＞］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

■設定項目

［表示］
日時表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に日時が表示されるほか、録画画像にも日時が録画されます。
この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

On　：日時表示する
Off　：日時表示しない

メモ

- 表示形式は、［日時表示設定］タブ（☞15ページ）の設定に従います。

［位置］
画像上の日時の表示位置を選択します。
この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、表示位置を選択します。

左上／左下／右上／右下

メモ

- 「画像内文字表示」（☞24ページ）の表示位置は、ここで設定する「日時表示」の「位置」と同じになります。

■カメラ選択
日時表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
日時表示の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

画像内の文字表示を設定する［画像内文字表示］

カメラごとに表示させる文字と表示するかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「画像内文字表示」の［設定＞］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

■設定項目

［表示］

カメラ画像内にタイトル文字を表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に文字が表示されるほか、録画画像にも文字が録画されます。

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

On　：文字表示する
Off　：文字表示しない

［画像内文字］

画像内文字情報をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、画像内に表示する文字を編集します。［編集＞］ボタンをクリックすると、以下の文字編集の画面が表示されます。

●［画像内文字］
画像内で表示する文字列をソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）から入力します（半角16文字まで）。
入力可能文字　：0～9、A～Z（大文字）、半角記号（! # $ % ( )* + , - . / : ; = ?）

●［カメラタイトル］
モニターページの［メインモニター］タブで登録したカメラタイトルが表示されます（☞52ページ）。

●［コピー］ボタン
モニターページの［メインモニター］タブで登録したカメラタイトルを画像内文字として使用することができます。クリックすると、カメラタイトルが「画像内文字」にコピーされます。

●［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。画面が閉じます。

■カメラ選択

画像内文字表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン

画像内文字表示の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン

設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

ランプ点灯状態を設定する［ランプ表示］

カメラごとに、リンクランプ、アクセスランプ、状態表示ランプなどのランプの点灯／消灯方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
［カメラ設定］タブで「ランプ表示」の［設定>］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［ランプ表示］

点灯　　：すべてのランプが状態に応じて点灯します。
点灯（アクセス時）：画像閲覧時に状態表示ランプのみが点灯します。
消灯　　：すべてのランプを消灯します。

■カメラ選択

ランプ表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン

ランプ表示の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン

設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラの画像配信モードを設定する［配信モード］

カメラごとに配信モードの設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「配信モード」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

■設定項目

［配信モード］
H.264/H.265画像の配信モードを以下から設定します。配信モードの設定はストリーム1、ストリーム2のチェックを入れたストリームに対してのみ行います。

フレームレート指定
：H.264/H.265画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。

アドバンスド可変ビットレート
：H.264画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「制御期間（可変ビットレート時）」で設定した期間での配信量の平均が、本機が指定したビットレートになるように配信します。

可変ビットレート
：H.264/H.265画像を「画質」で設定した画質レベルを維持しながら、「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。画質は固定となり、記録容量は「画質」設定や被写体の状況に応じて変化します。

メモ
- カメラ登録画面にてカメラ入れ換えを行ったり、カメラの交換が検出されたりした場合は、再度配信モードの設定を行ってください。

［最大ビットレート（バースト時）］
配信モードが「アドバンスド可変ビットレート」の時に、H.264ビットレートが、「1クライアントあたりのビットレート」をどれだけ超えることを許容するか、以下から選択します。

高、中、低

［制御期間（可変ビットレート時）］
配信モードが「アドバンスド可変ビットレート」の時に、録画するH.264のビットレートを制御する期間を以下から選択します。

1時間、6時間、24時間、1週間

［優先設定］
配信モードが「フレームレート指定」の時に、「フレームレート」と「画質」のどちらを優先するか設定します。

フレームレート優先
：フレームレートを優先します。被写体によっては画質が変動する場合があります。

画質優先
：画質の変動を抑えます。被写体によってはフレームレートが低下する場合があります。

［スマートコーディング（GOP制御）］
配信モードが「可変ビットレート」の時に、GOP制御を使用するかどうか設定します。

Off　：GOP制御を使用しない
On (Advanced)　：画像内に動きが少ない場合のデータ量を少なくすることができます。

■カメラ選択
配信モードの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［カメラに送信］ボタン
配信モードの設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

リフレッシュ間隔を設定する［リフレッシュ間隔］

カメラごとに画像のリフレッシュ間隔を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「リフレッシュ間隔」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［リフレッシュ間隔］
画像表示の更新間隔を選択します。ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短くすると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
0.2秒／ 0.5秒／ 1秒／ 2秒／ 3秒

メモ
- カメラ登録画面にてカメラ入れ換えを行ったり、カメラの交換が検出されたりした場合は、再度リフレッシュ間隔の設定を行ってください。

■カメラ選択
リフレッシュ間隔の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
リフレッシュ間隔の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

重要
- カメラのリフレッシュ間隔を変更する設定をカメラに送信すると、カメラからの画像配信が一時的に停止し、その間は録画されません。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラの設置方法を設定する［設置方法（上下反転）］

カメラごとに設置方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「設置方法（上下反転）」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［設置方法（上下反転）］

卓上設置（On）：卓上に設置する場合に設定します。
天井設置（Off）：天井に設置する場合に設定します。
壁設置　　：壁に設置する場合に設定します。

■カメラ選択

設置方法の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン

設置方法の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン

設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

メモ

- カメラ画像を上下反転させるには、天井設置を選択してください。
- 全方位カメラを登録すると、天井設置で設定されています。壁設置する場合は、壁設置を選択してください。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラの画像回転を設定する［画像回転］

カメラごとに画像回転を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「画像回転」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［画像回転］

- 0 °(Off)：画像を回転しません。
- 90 °：画像を90度回転します。
- 180 °(上下反転)：画像を上下反転します。
- 270 °：画像を270度回転します。

■カメラ選択

画像回転の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン

画像回転の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン

設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

パン・チルトフリップを設定する［パン・チルトフリップ］

カメラごとにパン・チルトフリップ機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「パン・チルトフリップ」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［パン・チルトフリップ］
疑似的な360度エンドレス旋回機能を働かせるかどうかを選択します。
　On　：パン・チルトフリップ機能を働かせます。
　Off　：パン・チルトフリップ機能は働きません。

■カメラ選択
パン・チルトフリップの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
パン・チルトフリップの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

スーパーダイナミックを設定する［スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）］

カメラごとにスーパーダイナミック機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）］
スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを選択します。

On（High）	：スーパーダイナミック機能を働かせます。On（High）では、コントラストを重視して階調を補正します。
On	：スーパーダイナミック機能を働かせます。Onでは、感度を重視して階調を補正します。
Off	：スーパーダイナミック機能を停止します。

■カメラ選択
スーパーダイナミックの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
スーパーダイナミックの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラの暗部補正機能を設定する［暗部補正］

カメラごとに暗部補正機能を有効にするかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「暗部補正」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［暗部補正］
暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。

On　　：暗部補正機能を有効にします。
Off　　：暗部補正機能を停止します。
リセット：暗部補正を初期設定に戻します。
数値　　：画像の暗い部分の明るさを調整します。

■カメラ選択
暗部補正の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
暗部補正の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

重要
- 「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラの逆光補正機能を設定する［逆光補正（BLC）］

カメラごとに逆光補正（BLC）機能を有効にするかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「逆光補正（BLC）」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［逆光補正（BLC）］
「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。
逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。
On ：マスクエリアが自動で設定されます。
Off ：マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。

■カメラ選択
逆光補正の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
逆光補正の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

光量制御を設定する［光量制御モード］

カメラごとに光量制御する方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「光量制御モード」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［光量制御モード］

屋外撮影　：明るさ（照度）によって電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。

フリッカレス（50 Hz）
：蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。（50 Hz地域）

フリッカレス（60 Hz）
：同上（60 Hz地域）

ELC　：電子シャッターを使用して光量を制御します。

■カメラ選択

光量制御モードの設定を送信するカメラを選択します。
設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン

光量制御モードの設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン

設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

メモ

- 「屋外撮影」を選択すると、蛍光灯下ではフリッカーが発生することがあります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラのオートスローシャッターを設定する［オートスローシャッター（最長露光時間）］

カメラごとにオートスローシャッターの設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「オートスローシャッター（最長露光時間）」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［オートスローシャッター（最長露光時間）］
オートスローシャッターは、センサーの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。
設定できる値は以下のとおりです。
Off（1/30 s）／最大2/30 s ／最大4/30 s ／最大6/30 s ／最大10/30 s ／最大16/30 s

■カメラ選択
オートスローシャッターの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
オートスローシャッターの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

重要
- オートスローシャッターを設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。

メモ
- 「最大16/30 s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。
- 「ゲイン」を「Off」に設定した場合は設定できません。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラの白黒画像切り換えを設定する［白黒切換／簡易白黒切換］

カメラごとに白黒切換の設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「白黒切換／簡易白黒切換」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［白黒切換／簡易白黒切換］
白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。

Off　：常にカラー画像で撮影されます。
On　：常に白黒画像で撮影されます。
On（IR Light On）
：常に白黒画像で撮影されます。夜間時、近赤外線の照明を使用する場合に設定します。
Auto1（Normal）/Auto
：画像の明るさ（照度）により、カラー画像と白黒画像が自動的に切り換わります。
光源が明るい場合はカラーモード、光源が暗い場合は白黒モードに切り換わります。
Auto2（IR Light）
：夜間時、近赤外線の光源を使用する場合に設定します。
Auto3（Super Chroma Compensation（SCC））
：光源が暗い場合でもカラー画像を維持したい場合に設定します。Super Chroma Compensation（SCC）機能によりAuto1（Normal）よりも低照度までカラー画像を維持します。

メモ
- 簡易白黒切換機能しか持たないカメラに対してもOn、Auto2、Auto3が選択できますが、動作はしません。

■カメラ選択
白黒切換／簡易白黒切換の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
白黒切換／簡易白黒切換の設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

カメラのインテリジェントオートを設定する［インテリジェントオート］

カメラごとにインテリジェントオートを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「インテリジェントオート」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［インテリジェントオート］
インテリジェントオート機能を働かせるかどうかを設定します。インテリジェントオートとは、シーン（逆光、屋外、夜景など）、人物の顔、動きのある被写体などを判別し、カメラが自動的に絞り、ゲイン、シャッター速度、コントラストを調整することで、人物の顔や動きのある被写体などを見やすくする機能です。

Off　：インテリジェントオート機能を働かせない
On　：インテリジェントオート機能を働かせる

■カメラ選択
インテリジェントオートの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
インテリジェントオートの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

動作検知アラームを設定する［動作検知アラーム］

カメラごとに動作検知アラーム機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「動作検知アラーム」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

［動作検知アラーム］
画像内の変化（動作）が検知されるとアラームを出力する動作検知（VMD：Video Motion Detection）アラーム機能を使用するかしないかを選択します。動作検知アラームについては、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

On　：アラームを検出する
Off　：アラームを検出しない

［検出感度］
この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

1（低い）～ 15（高い）

■カメラ選択
動作検知アラームの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

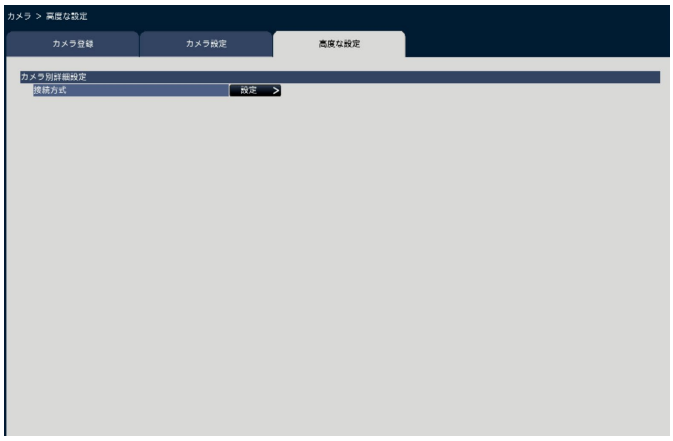
［カメラに送信］ボタン
動作検知アラームの設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［高度な設定］タブ

カメラの接続方式を設定します。
［高度な設定］タブで「接続方式」の［設定＞］ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



■接続方式

［接続方式］
カメラごとに接続方式を設定します。
RTP　：RTPで接続します。
RTSP：RTSPで接続します。ローカルのカメラ接続等に使用します。
インターネットモード
：インターネットモードで接続します。遠隔のカメラと接続する場合等に使用します。

メモ
- アイプロシリーズカメラで、圧縮種別がH.264/H.265の場合に設定が有効になります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

録画やイベントに関する設定を行う［録画・イベント］

録画・イベントページは、［録画設定］タブ、［イベント設定］タブ、［高度な設定］タブで構成されています。

録画の設定を行う［録画設定］タブ

スケジュールによる録画を設定します。録画する曜日や時間帯、録画のフレームレートや画質を設定します。

■スケジュール設定

事前に設定したスケジュールに従い録画を行います。曜日と時間帯を設定します。

［録画する曜日］

録画したい曜日を選択します。録画する曜日にはチェックを入れます。

［録画する時間帯］

「タイムテーブル1」に6つの時間帯を設定できます。タイムバーは1目盛り15分で、24時間を表しています。開始時刻と終了時刻を設定するには、タイムバー上の任意の時刻をクリックしてください。設定された時間帯は、タイムバーが赤くなります。

メモ

- タイムテーブル1には初期設定で24時間のスケジュール録画とイベント録画が設定されています。設定済みの時間帯を取り消すには、その時間帯を右クリックします。
- 録画時間帯は、タイムバー上で開始時刻から終了時刻までをマウスでドラッグして設定することもできます。
- 6つの時間帯の間で、時間が重なる設定はできません。他のタイムバー上ですでに設定された時刻を設定しようとすると、重なる時間の直前または直後の時刻が設定されます。
- 同じタイムテーブル内では、スケジュール録画よりイベント録画が優先されます。

［スケジュール録画］

設定したタイムバーに従ってスケジュール録画したい場合はチェックを入れます。

［イベント録画］

設定したタイムバーに従ってイベント録画したい場合はチェックを入れます。設定していない時間帯は、アラームが発生しても録画を行いません。

［メール］

イベント発生時、アラームメールを送信する場合はチェックを入れます。イベント録画にチェックが入っていないと設定できません。

送信先の設定は「メール通知に関する設定を行う［メール］」（☞62ページ）をお読みください。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［独自アラーム］
イベント発生時、独自アラームプロトコルを使って、発生したイベントの情報をPCへ自動的に通知する場合はチェックを入れます。イベント録画にチェックが入っていないと設定できません。
通知先の設定は「アラームの独自通信設定を行う［独自アラーム］」（☞63ページ）をお読みください。

［詳細設定＞］ボタン
スケジュール詳細設定ページを表示します。6つのスケジュール録画と共に、6つのイベント録画を設定できます。また、スケジュール設定も16パターンまで設定できます。（☞42ページ）

■録画設定（全カメラ同一設定）
録画のフレームレート、画質を設定します。すべてのカメラが同一の設定になります。

［フレームレート］
録画のフレームレートを選択します。
1 ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／ 10 ips ／ 15 ips ／ 30 ips
初期設定：10 ips

重要
- 圧縮方式が［MJPEG］のカメラは、「10 ips ／ 15 ips ／ 30 ips」を選択できません。
- 圧縮方式が［MJPEG］のカメラを含む場合、フレームレート設定のスライダーバーにて「10 ips ／ 15 ips ／ 30 ips」を設定しても、［MJPEG］のカメラは「5 ips」に設定されます。現在の設定値は、録画設定（全カメラ同一設定）の［詳細設定＞］にて確認できます。

［画質］
録画の画質を選択します。
NQ（Normal）：標準画質
FQ（Fine）：高画質
SF（Super Fine）：最高画質
XF（Extra Fine）：超高画質
初期設定：FQ

重要
- 圧縮方式が［MJPEG］のカメラは、「XF」を設定できません。
- 圧縮方式が［MJPEG］のカメラを含む場合、画質設定のスライダーバーにて「XF」を設定しても、［MJPEG］のカメラは「SF」に設定されます。現在の設定値は、録画設定（全カメラ同一設定）の［詳細設定＞］にて確認できます。

［推定録画日数（参考値）］
HDDに録画可能な日数を計算し、表示します。

メモ
- 推定録画日数は、カメラを正常に認識している状態で設定保存した場合にのみ、正しい日数表示になります。
- 推定録画日数は、月曜日から録画を開始した場合を想定して計算します。スペシャルデー設定は考慮されません。
- イベント録画・緊急録画によるHDD使用量は含みません。
- 他社製カメラをお使いの場合は、推定録画日数は表示されません。
- 設定項目の前に「＊」が表示されている場合は、その項目が録画詳細設定ページで変更されていることを表します。
- 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。他社製のカメラが含まれていなく、指定レートで録画できない可能性がある設定になっている場合には、確認画面が表示されます。

［詳細設定＞］ボタン
録画詳細設定ページ（カメラ別）を表示します。カメラごとに録画設定を行うことができます。（☞43ページ）

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

スケジュール録画の詳細を設定する

最大16パターンのスケジュールを設定することができます。それぞれのスケジュールでは、スケジュール録画やイベント録画の時間帯を最大6つまで設定できます。
「スケジュール設定」で［詳細設定＞］ボタンをクリックすると、スケジュール詳細設定ページが表示されます。

■録画する曜日

曜日ごとにどのタイムテーブルに従って動作するかを選択します。「●」は選択状態、「○」は非選択状態を表します。

タイムテーブル1 ：タイムテーブル1に従い録画します。
タイムテーブル2 ：タイムテーブル2に従い録画します。
Off ：スケジュール録画もイベント録画も行いません。

■イベント録画

アラーム発生時のイベント録画時間とアラーム発生前のプレ録画時間を設定します。

［イベント録画時間］

アラーム発生時の録画時間を設定します。

2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分／ 2分／ 3分／ 5分／ 10分／ 15分
Manual ：アラーム信号が入力されている間だけ録画を行います。（最低8秒間）
Ext. ：アラーム動作を解除するまで録画し続けます。

初期設定：30秒

［プレ録画時間］

アラーム発生前にプレ録画時間を設定します。

0秒／ 5秒／ 10秒／ 15秒

初期設定：0秒

メモ

- 設定した時間より長い時間録画されることがあります。
- カメラのビットレート設定が4Mbpsの場合、15秒のプレ録画が可能です。4Mbpsを超えるような高解像度、高画質、高レートで録画する場合は、設定した時間より短くなる可能性があります。
- 「0秒」に設定するとプレ録画されません。
- 音声付きで録画する設定の場合、プレ録画の先頭に音声が録音されないことがあります。

■録画する時間帯

2つのタイムテーブルを設定できます。

［スケジュール録画］（☞40ページ）

［イベント録画］（☞40ページ）

［メール］（☞40ページ）

［独自アラーム］（☞41ページ）

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［前ページ］／［次ページ］
設定するスケジュール設定を切り換えます。

[スケジュール一覧を表示する]
スケジュール1からスケジュール16の各タイムテーブルとスケジュール録画やイベント録画などの設定を表示します。［表示］ボタンをクリックするとスケジュール一覧が表示されます。

各タイムテーブルの時間帯1 ～ 6はひとつに重ねて表示されます。

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［録画設定］タブに戻ります。

録画設定をカメラごとに設定する（録画詳細設定）

カメラごとに、解像度やフレームレート、画質などを設定できます。
「録画設定（全カメラ同一設定）」で［詳細設定>］ボタンをクリックすると、録画詳細設定ページが表示されます。

［品番］
接続しているカメラの品番が表示されます。
（空欄：カメラ未登録）

[圧縮方式]
カメラ登録時に設定した圧縮方式が表示されます。

[解像度]
録画する画像の解像度を選択します。

アスペクト比　4:3
VGA（640×480）／SVGA（800×600）／SXVGA（1280×960）／UXGA（1600×1200）／QXGA（2048×1536）／5M（2560×1920）／7M（3072×2304）／12M（4000×3000）
アスペクト比　16:9
HVGAW（640×360）／HD（1280×720）／FHD（1920×1080）／WQHD（2560×1440）／5M（3072×1728）／4KUHD（3840×2160）

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

アスペクト比　1:1
1.6M（1280×1280）／4M（2048×2048）／5M（2192×2192）／8M（2816×2816）／9M（2992×2992）
アスペクト比　9:16
0.2M（360×640）／1M（720×1280）／2M（1080×1920）／4M（1440×2560）／5M（1728×3072）
アスペクト比9:16を設定すると画像が90 °回転します。画像を270 °回転したい場合は、「カメラの画像回転を設定する［画像回転］」で270 °を選択してください。（☞29ページ）

重要
- カメラの品番および圧縮方式によって、選択できる解像度が異なります。

メモ
- 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。
- 解像度を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

［レート］（フレームレート）（☞41ページ）

メモ
- カメラの品番、圧縮方式、解像度の設定によっては、25 ips ／ 50 ips ／ 60 ipsを選択できるようになります。
- 1920×1080 p/60 Hz（1920×1080 p/50 Hz）に対応したモニターをメインモニターに使用すると、60 ips (50 ips)の画像を1画面で表示できます（メインモニターの1画面表示以外またはサブモニターは30 ips (25 ips)で表示されます）。

［画質］（☞41ページ）

［録音］
録画と同時に音声を録音するかを選択します。
On(AAC-LC)：録音します。（AAC-LC形式）
On　：録音します。（G.726形式）
Off　：録音しません。
初期設定：Off

［スケジュール］
どのスケジュール設定に従って録画するかを選択します。
スケジュール1　：スケジュール1の設定に従って録画します。
⋮
スケジュール16：スケジュール16の設定に従って録画します。
初期設定：スケジュール1

［イベント録画］
イベント録画のフレームレートを選択します。
1 ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／ 10 ips ／ 15 ips ／ 25 ips ／ 30 ips ／（基本と同じ）
初期設定：基本と同じ

［緊急録画］
緊急録画のフレームレートを設定します。
1 ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／ 10 ips ／ 15 ips ／ 25 ips ／ 30 ips ／（基本と同じ）
初期設定：基本と同じ

メモ
- 基本設定のレートが50 ipsまたは60 ipsの場合、イベント録画と緊急録画の設定は自動的に基本設定のレートと同じ値となり、「基本と同じ」と表示されます。このとき、イベント録画と緊急録画の設定は変更できません。
- 同じカメラの基本設定、イベント録画、緊急録画のいずれかで25 ipsが設定されていると、5 ips ／ 10 ips ／ 15 ips に設定した録画画像のレートはそれぞれ4.2 ips ／ 8.3 ips ／ 12.5 ipsになります。
- SDメモリーバックアップやカメラのSD録画機能を使用する場合は、イベント録画と緊急録画のフレームレートを「基本と同じ」に設定してください。

［推定録画日数］（☞41ページ）

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［録画設定］タブに戻ります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

イベントの設定を行う［イベント設定］タブ

アラーム出力時間やブザーの鳴動時間など、イベントに関する設定を行います。

■アラーム動作

アラーム出力時間や自動復帰時間などを設定します。

［出力時間］

アラーム発生時に本機の後面端子から出力するアラーム信号の出力時間を選択します。「0秒」に設定するとアラーム信号を出力しません。

0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分

Ext. ：アラーム動作を解除するまでアラーム出力し続けます。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」（☞134ページ）をお読みください。

Rec. ：イベント録画中、アラーム信号を出力し続けます。

初期設定：2秒

［ブザー鳴動時間］

アラーム発生時の本機のブザー鳴動時間を設定します。「0秒」に設定するとブザーは鳴りません。

0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分

Ext. ：アラーム動作を解除するまでブザー鳴動し続けます。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」（☞134ページ）をお読みください。

Rec. ：イベント録画中、ブザー鳴動し続けます。

初期設定：2秒

［自動復帰時間］

アラーム動作を自動的に復帰させる時間を選択します。

2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分／ 3分／ 5分

Ext. ：アラーム動作を自動的に復帰させません。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」（☞134ページ）をお読みください。

初期設定：Ext.

メモ

- 「出力時間」「ブザー鳴動時間」が「自動復帰時間」より長く設定されている場合は、「自動復帰時間」の設定に従います。

［メッセージ表示］

アラーム発生時にネットワーク経由でPC画面上にメッセージを表示するかどうかを選択します。

On ：メッセージを表示します。

Off ：メッセージを表示しません。

初期設定：On

［メインモニター連動動作］

メインモニターが操作画面表示中の場合、アラーム発生に連動して1画面表示に切り換えるかを選択します。

On ：連動動作します。

On（アラーム確認/復帰）：連動動作します。

Off ：連動動作しません。

初期設定：Off

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

メモ

- 「On（アラーム確認/復帰）」に設定すると、連動動作中に別のアラームが発生しても画面は切り換わらず、同じカメラ画像が表示され続けます。アラーム/コントロール端子のアラーム復帰入力で別のカメラに切り換わります。連動動作中に複数のアラームが発生すると発生した順番にカメラ番号が記憶されます。
- イベント別詳細設定で録画カメラに割り当てられているカメラを1画で表示します。
- 「再生中」「設定メニュー表示中」は連動動作しません。
- 自動復帰時間が経過すると、元の画面に戻ります（連動動作中にマウスが操作されると、元の画面には戻りません）。

［イベント種別選択］

［メインモニター連動動作］で「On」または「On（アラーム確認/復帰）」を選択した場合に表示されます。
連動動作するイベント種別を選択します。

［画面表示］

［メインモニター連動動作］で「On」または「On（アラーム確認/復帰）」を選択した場合に表示されます。
連動動作をどの画面で表示するかを選択します。
　操作画面表示：操作画面で表示します。
　全画面表示　：全画面で表示します。

■イベント別詳細設定

各アラーム（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム）の詳細設定を行います。各項目の［詳細設定＞］ボタンをクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

端子アラームの設定を行う［端子アラーム詳細設定］

本機のアラーム入力端子に防犯ドアセンサーなどの外部機器からアラーム信号が入力されたときの録画の設定を行います。
本機後面のアラーム入力端子ごとに、録画に必要な設定を行います。

■端子アラーム詳細設定

［動作モード］

アラーム信号が入力されたときの動作を選択します。
　録画＋アラーム動作 ：すべてのイベント動作を設定に従って行います。
　録画のみ　　：録画とイベントログへの記録、カメラのプリセット動作のみ行います。
　Off　　：イベントログへの記録のみ行います。
初期設定：録画＋アラーム動作

［アラーム履歴］

アラーム履歴を保存するかどうかを選択します。
　保存する　　：履歴を保存します
　保存しない　：履歴を保存しません
初期設定：保存する

［端子別設定］

端子番号１～９について、各設定を行います。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［録画カメラ］
録画するカメラを選択します。「Off」に設定すると録画を行いません。
　全カメラ：登録されているすべてのカメラで録画を行います
初期設定：端子番号と同じ番号のカメラ

メモ
- 登録カメラ台数が多い場合、録画カメラで全カメラを設定しているとカメラによってアラーム録画の開始が遅くなることがあります。プレ録画の使用をおすすめします。

［プリセット］
アラーム信号入力時に動作させるカメラプリセットポジション（001 ～ 256）を選択します。「---」に設定するとプリセットポジション移動を行いません。

［端子出力］
アラーム信号入力時に、本機後面のアラーム出力端子からアラーム信号を出力するかどうかを選択します。
　On　：アラーム出力端子からアラーム信号を出力する。
　Off　：アラーム信号を出力しない
初期設定：On

［端子入力］
端子ごとにアラーム信号の入力方法を選択します。
　N.O.（Normally Open）
　　：ショート時に信号が入力されます。
　N.C.（Normally Close）
　　：オープン時に信号が入力されます。
初期設定：N.O.

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［イベント設定］タブに戻ります。

メモ
- カメラのプリセットポジションについては、「カメラを操作する」（☞122ページ）をお読みください。

カメラサイトアラームの設定を行う［カメラサイトアラーム詳細設定］

カメラの独自アラーム信号を受信して動作するカメラサイトアラーム入力時の動作を設定します。

「カメラサイトアラーム詳細設定」の「動作モード」「アラーム履歴」、「カメラ別設定」の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」については、「端子アラームの設定を行う［端子アラーム詳細設定］」（☞46ページ）をお読みください。

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［イベント設定］タブに戻ります。

メモ
- カメラ側で設定するアラーム無検知時間よりイベント録画時間（☞42ページ）が短いと、連続して発生するアラームに対するイベント録画が行われない場合があります。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

コマンドアラームの設定を行う［コマンドアラーム詳細設定］

ネットワークを経由して、PCなどからコマンドを受信して動作するコマンドアラーム入力時の動作について設定します。

「コマンドアラーム詳細設定」の「動作モード」「アラーム履歴」、「コマンド番号別設定」の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」については、「端子アラームの設定を行う［端子アラーム詳細設定］」（☞46ページ）をお読みください。

［戻る］ボタン

設定を終了したらクリックします。［イベント設定］タブに戻ります。

録画・イベントの高度な設定を行う［高度な設定］タブ

ここでは、録画に関する特殊な設定を行います。録画動作、アラームマスク時間、サイトアラーム受信ポート番号を設定します。

［録画動作］

すべての録画動作を停止するかどうかを設定します。主に、電源を切る前にHDDへのアクセスを停止させるために「Off」に設定します。

On　：録画動作を行います。
Off　：すべての録画動作を停止します。

初期設定：On

重要

- 「Off」に設定した場合は、運用再開時には必ず設定を「On」に戻してください。

［アラームマスク時間］

同じカメラで同じ種類のイベント（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム）が連続して

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

発生しても、イベント動作を行わないようにする期間を設定します。
　2秒／ 3秒／ 5秒／ 10秒
初期設定：2秒

［サイトアラーム受信ポート番号］
カメラのサイトアラームを受信するポート番号を選択します。
初期設定：1818

メモ
- ポート番号は右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。
- 以下の番号とHTTPポート番号、HTTPSポート番号、FTPポート番号、ポートフォワーディングのポート番号を設定することはできません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ～ 50255

［緊急録画設定］
緊急録画に関する設定を行います。

［録画時間］
緊急録画を行うときの録画時間を選択します。
　30秒／ 1分／ 3分／ 5分／ 10分／ 15分／ 30分
　Manual：接続した外部スイッチを押し続けている間だけ録画を行います。また、最低8秒間は録画を行います。
　Ext.　　：アラーム動作を解除するまで録画し続けます。
初期設定：30秒

［緊急録音］
録音設定していないカメラの音声を、緊急録画時のみ録音するかを設定します。
　Off　：緊急録画時も録音しない。
　On　：緊急録画時のみ録音する。（G.726形式）
　On（AAC-LC）：緊急録画時のみ録音する。（AAC-LC形式）

メモ
- 音声非対応のカメラは、Off以外に設定しても録音しません。
- 緊急録画の開始タイミングによっては、緊急録画直前まで録画していたデータの最後に音声が録音される場合があります。
- 緊急録音を設定しても、緊急録画時にカメラのライブ音声は出力されません。録音のみ行われます。

［SDメモリーバックアップ］
録画中に通信が途切れた場合に、カメラのSDメモリーカードに画像を保存するかを設定します。

　On　：SDメモリーバックアップ機能を使用する。
　Off　：SDメモリーバックアップ機能を使用しない。
初期設定：Off

SDメモリーバックアップについて
SDメモリーバックアップとは、本機に設定されているスケジュールの録画設定時間帯にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されているSDメモリーカードに画像を保存させる機能です。
SDメモリーバックアップは、カメラがSDメモリー録画に対応した機種で、かつ圧縮方式がH.264/H.265に設定された場合のみ設定できます。
SDメモリー録画は登録しているカメラの圧縮方式で行われます。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

メモ

- カメラ側でSDメモリーカードを「使用しない」に設定した場合やSDメモリーカードが挿入されていない場合（挿入不良を含む）、1日に数回エラーメッセージが表示され、その際に約20秒間録画されないことがあります。
- SDメモリーバックアップ機能を使用する場合、カメラ側でSDメモリーカードの運用モードを「上書きあり」に設定してください。

SDメモリーカードに保存された画像の取得

SDメモリーカードに保存された画像を本機に取得し、HDDに録画します。
SDメモリーカードからの画像の取得は以下の毎時15分に自動的に行われます。
（0:15、1:15、…23:15）
SDメモリーデータ取得中かどうかを「状態表示部」で確認することができます。

重要

- 本機能は画像データのみHDDに保存されます。音声データや動作検知サーチ用の情報は保存されません。
- カメラと本機が通信できない状態で、スケジュールに設定された録画開始時刻になった場合、SDメモリーバックアップは行われません。
- 同一のカメラに対し、複数のネットワークディスクレコーダーのSDメモリーバックアップ機能をOnに設定しないでください。
- 取得したSDメモリーデータの録画時刻は、カメラ側の時刻になります。NTP機能やカメラ時刻自動同期機能などを使用して、カメラの時刻と本機の時刻を合わせてください。時刻が合っていない場合、SDメモリーバックアップができない場合があります。
- SDメモリーバックアップ機能をOnに設定した後、SDメモリーバックアップのデータ取得を手動で実施してください。（☞80ページ）
  翌日以降、毎時15分に自動的にデータ取得が実施されます。

メモ

- スケジュールのタイムテーブル間の時間や画像の総容量によっては、すべての画像を一度で自動取得できない場合があります。取得できなかった画像は、次回取得時に合わせて取得できます。
- 以下の状態の場合、画像の取得は実行されません。
  再生中／HTTPダウンロード中／緊急録画中
- SDメモリーデータ取得中に以下の動作が発生した場合、取得は中断されます。
  SDメモリーデータ取得中のカメラとの通信障害が発生／［詳細設定］のHDD管理ページに入る

［スマートコーディング（GOP制御）］

カメラのスマートコーディング（GOP制御）機能を使用する場合に選択します。

On (Advanced)：使用する
Off　　：使用しない

スマートコーディング（GOP制御）が使用できるカメラの品番、バージョン情報については「readme.txt」を参照ください。

［サブストリーム録画］

サブストリーム録画*を設定します。

基本設定を行う［基本設定］（つづき）

［サブストリーム録画］
　On　：サブストリーム録画を使用する。
　Off　：サブストリーム録画を使用しない。
初期設定：Off

［フレームレート］
サブストリーム録画のフレームレートを選択します。
　1 ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／ 10 ips
初期設定：10 ips

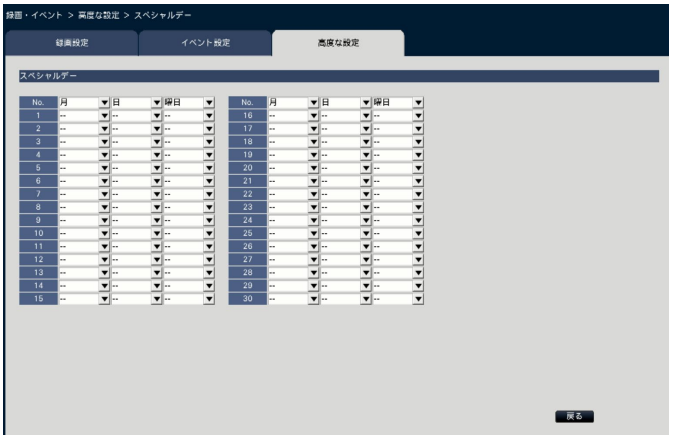
［ビットレート］
サブストリーム録画のビットレートを選択します。
　64 kbps、128 kbps、256 kbps、384 kbps、
　512 kbps、768 kbps
初期設定：H.264(2) 768 kbps、H.265(2) 512 kbps

メモ
- サブストリームとは、H.264(2)あるいはH.265(2)を指します。

＊サブストリーム録画とは、カメラからの通常のライブ映像／録画用の映像とは別に、データ量の少ない低解像度の映像を追加で録画する機能です。高解像度の映像を記録している場合に、効率よく再生したい場合に使用します。

サブストリームは以下の用途等に使用します。
- 本体モニター運用時の16画面再生
- 映像監視ソフトウェア運用時（狭帯域）の多画面表示

［スペシャルデー］
特定日として個別に別の曜日のスケジュールを割り当てます。
たとえば、「1月1日」を「日曜日」に設定すると、1月1日が何曜日であっても日曜日として録画を行います。
［設定>］ボタンをクリックすると、以下のスペシャルデーの画面が表示されます。



［月］［日］
特定日として設定したい日付を選択します。
［曜日］
動作させたいスケジュールの曜日を選択します。
初期設定：なし

■その他の設定

［プレ録画のフレームレートをイベント録画のフレームレートにする］
チェックを入れると、プレ録画のフレームレートが、イベント録画のフレームレートになります。チェックを外すと、基本設定（スケジュール録画）のフレームレートになります。この設定は弊社製カメラに対してのみ有効です。

［基本設定、イベント録画、緊急録画のフレームレートが同じ設定のカメラに対してビットレート設定を送信しない］
チェックを入れると各録画のフレームレート設定が同じ場合は、カメラにビットレート設定を行わなくなります。この設定は弊社製カメラに対してのみ有効です。

モニターの設定を行う[モニター]

設定メニュー［詳細設定］のモニターページでは、本機に接続しているメインモニターやサブモニターの表示に関する設定を行います。
多画面表示の設定や、ライブ画像のシーケンス表示など画像の切り換えに関する設定もこのモニターページで行います。
モニターページは、［メインモニター］タブ、［サブモニター］タブ、［高度な設定］タブで構成されています。ウェブブラウザーの設定メニューのモニターページには、［ウェブブラウザー］タブがあり、ウェブブラウザーの表示に関する設定を行うことができます。（☞200ページ）

メインモニターの設定を行う［メインモニター］

カメラタイトルの表示位置など、メインモニターの表示に関する設定を行います。

■カメラタイトル

［表示］
カメラタイトルをメインモニターに表示するかどうかを設定します。
　On　：カメラタイトルを表示します。
　Off　：カメラタイトルを表示しません。
初期設定：On

［位置］
画像上のカメラタイトルの表示位置を選択します。
　左上／左下／右上／右下
初期設定：右上

［カメラタイトル］
カメラごとに表示するカメラタイトルをソフトキーボードから（☞取扱説明書　設置編　11ページ）入力します（16文字まで）。

メモ
- カメラに設定する日時表示（☞23ページ）や画像内文字表示（☞24ページ）と同時に使用する場合は、表示が重ならないように位置の設定をしてください。
- ここで設定するカメラタイトルは、録画画像には録画されません。
- PCのウェブブラウザーからは、カメラタイトルに漢字の入力が可能ですが、搭載しているフォントにない文字は表示できません。

■ライブシーケンス（全画面）
メインモニターでの全画面表示のシーケンスを設定します。
［設定>］ボタンをクリックすると、以下のライブシーケンス（全画面）の画面が表示されます。

モニターの設定を行う［モニター］（つづき）

［動作モード］
シーケンスの画面パターンを選択します。
　1画ライブシーケンス／ 4画ライブシーケンス／
　9画ライブシーケンス／ 16画ライブシーケンス
初期設定：１画ライブシーケンス

［アスペクト比を維持する］
映像の表示エリアに対して表示される映像のアスペクト比が異なる場合、表示エリアに対して縦横の比率を自動的に変更するかどうかを選択します。
　チェックあり：アスペクト比を維持する（自動的に比率を変更しない）
　チェックなし：アスペクト比を維持しない（自動的に比率を変更する）
初期設定：チェックなし

［切換時間］
カメラ画像を切り換える間隔を設定します。
　3秒／ 5秒／ 10秒
初期設定：5秒

メモ
- カメラによって画像が表示されるまで時間がかかることがあり、切り換え間隔が短いと画像が表示される前に切り換わります。そのような場合は、切り換え間隔を長くしてください。

［カメラ選択］
シーケンス表示するカメラを選択します。
表示するカメラにチェックを入れます。選択されたカメラ画像が番号順に表示されます。

メモ
- 4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンスまたは16画ライブシーケンス表示時は、選択したカメラを先頭から詰めて表示します。
- 選択カメラの台数が分割画面数以内の場合は、カメラを切り換えずにそのまま表示し続けます。

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［メインモニター］タブに戻ります。

■その他の設定
［設定>］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

［全画面表示の操作パネルに表示する画面分割ボタンの選択］
チェックを入れたボタンは、全画面表示の操作パネル上に表示されます。

■その他の設定

［全画面表示時の状態表示パネルと操作パネルを自動的に隠す］
チェックを入れると、マウスカーソルの表示／非表示に連動して全画面表示の各パネルが表示／非表示します。

［操作画面表示でアスペクト比が16:9の画像を拡大して表示する］
チェックを入れると、操作画面表示時でアスペクト比が16:9の画像を画像表示部のサイズに合わせ縦方向に引き伸ばして表示します。

メモ
- この設定で画像を拡大して表示すると、カメラ画像内でのカメラ操作や動作検知サーチが指定した座標やエリアのとおりに動作しないことがあります。

モニターの設定を行う［モニター］（つづき）

［HDMI出力を以下の信号形式に固定する］
チェックを入れるとHDMI出力の信号形式を固定します。信号形式は4Kおよび1080pを選択できます。

メモ
- 4K出力はp/30Hz（4K/30p）です。お使いのモニターによってはエラー表示されることがありますが、問題なくご使用いただけます。
- モニタ表示が黒画となり、設定変更を戻せなくなりますので、4Kモニターを接続していない場合は、「4K」を選択しないでください。

［時短再生を有効にする］
チェックを入れると、時短再生機能が有効になり、再生時の録画画像に動きがない間は最大4倍速で再生できるようになります。（本体操作の再生のみ）（☞143ページ）

重要
- 時短再生を行うには、動作検知サーチに対応したカメラが必要です。
  対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。

［全画面表示でアスペクト比を維持する（ライブシーケンス時除く）］
ライブシーケンスを除いた各全画面表示の画面分割において、映像の表示エリアに対して表示される映像のアスペクト比が異なる場合、表示エリアに対して縦横の比率を自動的に変更するかどうかを選択します。
チェックあり：アスペクト比を維持する（自動的に比率を変更しない）
チェックなし：アスペクト比を維持しない（自動的に比率を変更する）
初期設定：チェックなし

［戻る］ボタン
設定が終了したらクリックします。［メインモニター］タブに戻ります。

サブモニターの設定を行う［サブモニター］

サブモニターに表示するカメラ画像の選択や、画像の切り換えの間隔などを設定します。

モニターの設定を行う［モニター］（つづき）

■カメラタイトル

[表示]
カメラタイトルをサブモニターに表示するかどうかを設定します。
　On　：カメラタイトルを表示します。
　Off　：カメラタイトルを表示しません。
初期設定：On

■表示設定
カメラ画像のシーケンス動作（画像の切り換え）を設定します。

[動作モード]
カメラ画像の表示方法を設定します。
　1画ライブシーケンス
　　：1画面のカメラ画像を切り換えて表示します。
　4画ライブシーケンス
　　：4分割画面を切り換えて表示します。
　9画ライブシーケンス
　　：9分割画面を切り換えて表示します。
　16画ライブシーケンス
　　：16分割画面を切り換えて表示します。
　アラーム端子連動
　　：端子アラームの端子番号1 ～ 9 の入力信号に従って、表示カメラをそれぞれカメラ1 ～ 9に切り換えて、1画面で表示します。
　24分割画面
　　：24分割画面を固定して表示します。

[アスペクト比を維持する]
映像の表示エリアに対して表示される映像のアスペクト比が異なる場合、表示エリアに対して縦横の比率を自動的に変更するかどうかを選択します。
　チェックあり：アスペクト比を維持する（自動的に比率を変更しない）
　チェックなし：アスペクト比を維持しない（自動的に比率を変更する）
初期設定：チェックなし

[切換間隔]
カメラ画像を切り換える間隔を設定します。
　3秒／ 5秒／ 10秒
初期設定：5秒

メモ
- 制御信号の入力方法（N.O.、N.C.）は端子アラーム詳細設定（☞46ページ）の「端子入力」の設定に従います。
- カメラによって画像が表示されるまで時間がかかることがあり、切り換え間隔が短いと画像が表示される前に切り換わります。そのような場合は、切り換え間隔を長くしてください。

[カメラ選択]
シーケンス表示するカメラを選択します。
表示するカメラにチェックを入れます。選択されたカメラ画像が番号順に表示されます。

メモ
- 4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンス、16画ライブシーケンスまたは24分割画面表示時は、選択したカメラを先頭から詰めて表示します。
- ライブシーケンスを選択していても、選択カメラの台数が分割画面数以内の場合は、カメラを切り換えずにそのまま表示し続けます。

[シークレットビュー]
シークレットビュー機能は、メインモニターで1画面表示しているカメラ画像または多画面表示時に選択しているカメラ画像をサブモニターで黒画表示する機能です。
シークレットビューを使用するかどうかを設定します。
　On　：シークレットビューを使用します
　Off　：シークレットビューを使用しません。
初期設定：Off

メモ
- 1画ライブシーケンス動作時は、シークレットビューの画像はスキップ（非表示）となります。
- メインモニターで画像が切り換えられると、サブモニターの画像が一瞬黒画になることがあります。

モニターの設定を行う［モニター］（つづき）

モニターに関するその他の設定を行う［高度な設定］

モニターの音声出力設定やサブモニターへの映像方式の選択などを行います。

［音声出力カメラ選択］
本機から出力する音声を固定します。固定する場合は出力する音声のカメラを選択します。

表示カメラ　　：固定しません（表示しているカメラの音声を出力）
カメラ1 ～カメラ24　：固定します（選択カメラの音声を常時出力）

初期設定：表示カメラ

［サブモニター（BNC）の映像方式］
サブモニター（BNC）へのアナログ映像としてNTSC方式／ PAL方式を選択します。

メモ
- モニターから音声を出力する場合は、録画詳細設定（☞44ページ）の［録音］を「On」に設定してください。

■その他の設定

［サブモニター（HDMI）の電源オフを検出する］
チェックを入れると、サブモニターを使用する設定の場合、サブモニターが接続されていなかったり、電源がオフになっていたりすると、エラー動作で知らせます。

メモ
- モニターによっては、モニターの電源スイッチをOffにしても検出できない場合があります。

［モニターに1画面表示する時のライブ画像をストリーム2で表示する］
チェックを入れると、1画面表示時のライブ画像をストリーム2で表示します。

メモ
- カメラの機種や撮像モードによって、ライブ画像のフレームレートが変わります。

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］

設定メニュー［詳細設定］のネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定を行います。
ネットワークページは［基本］タブ、［メール］タブ、［独自アラーム］タブ、［NTP/SNMP］タブで構成されています。

ネットワークの基本設定を行う［基本］

ネットワーク接続に関する基本的な設定を行います。

メモ

- アドレスの各オクテットやポート番号は、右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

■ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

［IPアドレス］

本機のIPアドレスが表示されます。
［▲］ボタン／［▼］ボタンをクリックすると、アドレスを変更できます。
初期設定：192.168.0.250［カメラ/PCポート］
0.0.0.0［PCポート］

［サブネットマスク］

本機を接続するネットワークの規則に従ってサブネットマスクを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。
初期設定：255.255.255.0［カメラ/PCポート］
0.0.0.0［PCポート］

［デフォルトゲートウェイ］

本機を接続するネットワークの規則に従ってデフォルトゲートウェイのアドレスを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。
初期設定：192.168.0.1

［通信速度］

データの通信速度を選択します。

Auto	：自動設定します。
100M-Full	：100 Mbps全二重
100M-Half	：100 Mbps半二重
10M-Full	：10 Mbps全二重
10M-Half	：10 Mbps半二重

初期設定：Auto［カメラ/PCポート］
Auto［PCポート］

重要

- 通信速度を変更して設定を終了すると、本機は再起動します。

■DNS設定

DNS（Domain Name System）に関する設定を行います。

［DNS］

DNSを使用するかどうかを設定します。

Off	：DNSを使用しません。
Manual	：DNSを使用し、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにします。

初期設定：Off

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］（つづき）

［プライマリーサーバーアドレス］
［セカンダリーサーバーアドレス］
DNSを使用する場合、プライマリー DNSサーバーとセカンダリー DNSサーバーのIPアドレスを選択します。
入力方法はIPアドレスと同じです。
初期設定：0.0.0.0

［ドメイン名］
本機のドメイン名を入力します。ドメイン名の先頭文字は英字にしてください。
入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)を含む）3文字以上63文字以内にしてください。
初期設定：localdomain

■DDNS設定

［DDNS］
DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。
Off　：DDNSを使用しません
みえますねっと
　　：みえますねっとを使用します。
ダイナミックDNS Update
　　：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）を使用します。
初期設定：Off

「みえますねっと」サービスを使用する場合

STEP1
ウェブブラウザーのネットワークページの［基本］タブをクリックします。

STEP2
［みえますねっと］を選択して、［設定保存］ボタンをクリックします。

STEP3
「サービスへのリンク」に表示されているURLをクリックします。
→「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。

STEP4
画面に従って「みえますねっと」サービスの登録を行います。
→「みえますねっと」サービスの登録画面が表示されない場合は、PCがインターネット接続しているか確認し、ブラウザーの更新ボタンをクリックしてください。

STEP5
本機のトップページを再度表示してからネットワークページを表示し、「本機のURL」にみえますねっとに登録したドメイン（xxxx.miemasu.net）が表示されていることを確認します。

メモ
- 「みえますねっと」にログインIDを登録済みの方
  トップページでログインID（登録時のEメールアドレス）及びパスワードを入力してください。
- 「みえますねっと」にログインIDを登録されていない方
  トップページで「新規会員登録はこちら」をクリックして、ログインIDを作成する必要があります。
- 「みえますねっと」サービスへの登録が完了している場合は、登録した機器のURLが［本機のURL］に表示されています。このアドレスがインターネット経由で機器にアクセスするときに使うアドレスです。このURLを忘れないようにブラウザー機能のお気に入りに登録することをお勧めします。
- 機器のURLは、「みえますねっと」サービスに登録したあとに使用できるようになります。（登録された機器のURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。）
  ただし、ルーターによっては、機器と同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLでアクセスできません。

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］（つづき）

- ［サービスへのリンク］が表示されない場合は、「みえますねっと」サービスへの登録が完了し本機がインターネットに接続されていることを確認して、ネットワークページを再度表示してください。
  ウェブブラウザーの場合は、更新ボタンをクリックしてください。
- 「みえますねっと」サービスには、ダイナミックDNS サービス以外のサービスがあります。詳細は「みえますねっと」サービスのウェブサイトを参照してください。
- 「みえますねっと」にセンサー通知を行うには、「録画設定」でスケジュールを設定し、「録画する時間帯」の独自アラームにチェックを入れてください。
- 「みえますねっと」サービスのウェブサイトにある機器登録アプリケーションで「機器検索を開始する」を実施しても本機はリスト中に検出されません。本書の手続きを行うことでサービスを使用できるようになります。

ダイナミックDNS Updateを使用する場合

［ホスト名］

ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。

入力可能文字数：3 ～ 250文字
（ホスト名）.（ドメイン名）形式で入力

初期設定：NWDR

メモ

- 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

［アクセス間隔］

ダイナミックDNS Updateサービスサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。

10分／ 20分／ 30分／ 40分／ 50分／ 1時間／ 6時間／ 24時間

初期設定：1時間

重要

- 他社DDNSサービスを利用する前に、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。
  他社DDNSサービスに関する動作保証は一切行っていません。したがって、他社DDNSサービスの利用により、本機をお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
  他社DDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。

■その他の設定

HTTPポート番号、FTPポート番号を設定するには、［詳細設定>］ボタンをクリックしてください。
詳細設定画面が表示されます。

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］（つづき）

■その他の設定

［HTTPポート番号］
本機が画像を配信するときに使用するHTTPポート番号を設定します。
通常は変更する必要はありません。
1 ～ 65535
初期設定：80

メモ
- ネットワーク設定によっては、HTTPポート番号を変更した際、通信ができなくなる設定になっている場合があります。この場合、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- 以下の番号とHTTPSポート番号、FTPポート番号、サイトアラーム受信ポート番号、ポートフォワーディングのポート番号を設定することはできません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ～ 50255

［FTPポート番号］
本機のFTPポート番号を設定します。
通常は変更する必要はありません。
1 ～ 65535
初期設定：21

メモ
- 以下の番号とHTTPポート番号、HTTPSポート番号、サイトアラーム受信ポート番号、ポートフォワーディングのポート番号を設定することはできません。
  20、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ～ 50255

［改ざん検出コードの付与（FTP）］
FTPでダウンロードする録画データに改ざん検出用のコードを付与する場合に設定します。
Off ：付与しません
On ：付与します
初期設定：Off

［インターネットモード（本機→PC）］
カメラのライブ画像（H.264/H.265）をインターネット経由で配信する場合に設定します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままで、H.264/H.265画像を配信できます。
On ：HTTPポートを使用して画像、音声を配信する。
Off ：UDPポートを使用して画像、音声を配信する。
Auto ：送信先のネットワークアドレスが本機と異なれば、HTTPポートを使用して画像、音声を配信する。
初期設定：Off

■ポートフォワーディング
ポートフォワーディングを設定するには、［設定>］ボタンをクリックしてください。

［ポートフォワーディング］
ポートフォワーディングを有効にするかを設定します。
On ：ポートフォワーディングを設定する。
Off ：ポートフォワーディングを設定しない。
初期設定：On

［ポート設定］
ポートフォワーディングを設定した場合、各カメラのポート番号を1 ～ 65535の範囲で設定します。
初期設定：カメラ1 60001 ～ カメラ24 60024

メモ
- 以下の番号とHTTPポート番号、HTTPSポート番号、FTPポート番号、サイトアラーム受信ポート番号、他のポートフォワーディングのポート番号に設定されている番号を設定することはできません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ～ 50255

■IP簡単設定有効期間

専用ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20分間／無制限のどちらかに設定します。

20分間

：専用ソフトウェアで本機のIPアドレスを変更する操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。

無制限

：専用ソフトウェアで本機のIPアドレスを変更する操作を常時有効にします。

初期設定：20分間

■スタティックルート

スタティックルートを設定するには、［設定>］ボタンをクリックしてください。

［スタティックルート］

スタティックルートを設定します。本設定は、本機のネットワーク接続環境を十分に理解したうえで設定してください。

On　：スタティックルートを有効にする。

Off　：スタティックルートを無効にする。

初期設定：Off

［アドレス］

宛先のアドレスを設定します。［▲］ボタン／［▼］ボタンをクリックすると、アドレスを変更できます。

［サブネットマスク］

宛先のサブネットマスクを設定します。入力方法はアドレスと同じです。

［ゲートウェイ］

宛先のゲートウェイを設定します。入力方法はアドレスと同じです。

［戻る］ボタン

設定を終了したら、クリックしてください。

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］（つづき）

メール通知に関する設定を行う［メール］

アラームメール通知、障害メール通知（☞202ページ）機能を使用するための設定を行います。

［SMTPサーバーアドレス］
電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。SMTPサーバー名は、設定メニュー［詳細設定］–［ネットワーク］–［基本］タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字(ハイフン(-)、ピリオド(.)含む)255文字以内にしてください。

［SMTPポート番号］
SMTPサーバーのポート番号を入力します。
1 ～ 65535
初期設定：25

［POPサーバーアドレス］
POP before SMTP認証で使用するPOPサーバーのIPアドレスまたはPOPサーバー名を入力します。POPサーバー名は、設定メニュー［詳細設定］–［ネットワーク］–［基本］タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

［認証方法］
メールを送信するときの認証方法を選択します。
なし／ POP before SMTP ／ SMTP
初期設定：なし

［認証方法–ユーザー名］
認証に使用するユーザー名を入力します。入力はメモに記載の半角英数字／記号（&を除く）32文字以内にしてください。

［認証方法–パスワード］
上記「ユーザー名」に対応し認証に使用するパスワードを設定します。入力はメモに記載の半角英数字／記号(&を除く)32文字以内にしてください。画面上は「＊」で表示されます。

メモ

- 入力できる文字について
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
  W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t
  u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # $ % &‘ ( )
  * + ,- . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

［送信元メールアドレス］
送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者のFrom（差出人）欄に表示されます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）127文字以内にしてください。
初期設定：NWDR

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］（つづき）

［セキュリティ］
アラームメールや障害メールをSSL暗号化して送信します。「Off」以外に設定すると、認証方法は「SMTP」に設定されます。認証用のユーザー名、パスワードを設定してください。
　Off / SMTP over SSL / STARTTLS
初期設定：Off

［送信先メールアドレス－通知先1～通知先4］
アラームメール、障害メール（☞202ページ）の送信先メールアドレスを設定します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）255文字以内にしてください。
また、送信したいメール種別（障害／アラーム）にチェックを入れます。
送信先は4件まで設定できます。

アラームの独自通知設定を行う［独自アラーム］

イベントやエラー発生時、その情報をPCに通知するための設定を行います。
発生したイベントやエラー情報を受信し表示するには通知先のPCに専用ソフトウェア（別売り）がインストールされている必要があります。
専用ソフトウェアについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。

［ポート番号（本機→PC）］
送信先のPCのポート番号を入力します。
通常は初期設定から変更する必要はありません。
初期設定：1818

［リトライ回数］
PCに送信できなかった場合にリトライする回数を設定します。
　0 ～ 8（回）（1回単位で設定可）
初期設定：2

メモ
- PCに送信できないことがある場合は、リトライ回数を増やして設定してください。

［送信先アドレス－通知先1～通知先8］
送信先のPCのアドレスを設定します。通知先1 ～ 8にIPアドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名は、設定メニュー［詳細設定］－［ネットワーク］－［基本］タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。
送信先として8件まで設定できます。
入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)を含む）255文字以内にしてください。

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］（つづき）

ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う［NTP/SNMP］

NTP（Network Time Protocol）サーバーとSNMP設定を行います。

■NTP設定

［レコーダー時刻自動調整（NTP）］
NTPサーバーを基準に時刻合わせするかどうかを設定します。
On ：自動時刻合わせをします。
Off ：自動時刻合わせをしません。
初期設定：Off

重要
- 本機の時計精度における記録画像の時刻ずれにより、運用上問題になる場合があります。システム運用においてより正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使ったNTP自動時刻合わせを使用してください。

［プライマリーサーバーアドレス］
［セカンダリーサーバーアドレス］
NTPサーバーを使って時刻合わせを行う場合、NTPサーバーのアドレスまたはNTPサーバー名を入力します。
NTPサーバー名は、設定メニュー［詳細設定］–［ネットワーク］–［基本］タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。
入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

メモ
- サーバー名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。

重要
- 本機をカメラに対するNTPサーバーとして動作させることができます。その場合、カメラ側のポート番号は「123」を設定してください。カメラの設定については、接続するカメラの取扱説明書をお読みください。

■SNMP設定
SNMPマネージャーと接続して、本機の状態を確認する場合などに設定します。
各項目の入力文字は、「入力できる文字について」（☞62ページ）の半角英数字と記号です。

［コミュニティー名］
SNMP認証に使用する名前を入力します（32文字以内）。

［機器名］
本機をSNMPシステムで管理するための名前を入力します（255文字以内）。
例：No1

［機器の物理的位置］
本機の設置場所を入力します（255文字以内）。
例：2F

［連絡先］
本機管理者の連絡先（メールアドレスなど）を入力します（255文字以内）。

ユーザー管理に関する設定を行う[ユーザー管理]

設定メニュー［詳細設定］のユーザー管理ページでは、本機を操作する際のユーザー認証の有無や管理者情報の登録、操作レベルの設定などを行います。
ユーザー管理ページは［基本］タブ、［ユーザー登録］タブ、［管理者設定］タブ、［ホスト登録］タブで構成されています。

ユーザー管理の基本設定を行う［基本］

本機をマウス操作する際のログイン設定や、ネットワーク操作のユーザー認証、ユーザーレベル各種の設定を行います。

■本体操作
本機に電源を入れたときなどに、自動的にログインを行うための設定を行います。

［オートログイン］
自動的にログインするかどうかを設定します。
On ： 自動的にログインします。
Off ： 自動的にログインしません。ログアウト状態から本機の操作を行う際は、ログイン操作が必要になります。
初期設定：On

［オートログインユーザー］
「オートログイン」を「On」にした場合、ここで登録されたユーザーがオートログインできます。本機にユーザー登録されているユーザーの中からオートログインユーザーを設定します。
初期設定：（管理者）

［簡易ログイン］
ログイン操作の際にログインユーザー名を入力するか選択するかを設定します。
Off ：ユーザー名の入力が必要です。
On ：表示されたユーザー名から選択します。
初期設定：Off

［オートログアウト］
ライブ画像表示中、操作しない状態になってから自動的にログアウトするまでの時間を設定します。
Off：自動的にログアウトしません。
1分後／ 3分後／ 5分後／ 30分後
初期設定：Off

メモ
- 「オートログイン」が「On」に設定されている場合、「オートログアウト」を「Off」以外に設定しても自動的にログアウトしません。ログアウト操作（☞109ページ）を行うと、オートログインユーザーで自動的にログインします。
- 不正操作を防止するために「オートログアウト」を「Off」以外に設定して運用することをお勧めします。

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］（つづき）

■ネットワーク操作
PCから本機を操作する際、ユーザー認証を行うかどうかを設定します。

［ユーザー認証］
ユーザー認証を行うかどうかを設定します。
On ：ユーザー認証操作後にログインします。
Off ：ユーザー認証なしでログインします。
初期設定：On

［ホスト認証］
ホスト認証を行うかどうかを設定します。
On ：ホスト認証後にログインします。
Off ：ホスト認証なしでログインします。
初期設定：Off

■ユーザーレベル設定
各ユーザーレベル（管理者/マネージャー／オペレーター／ビューワー）でできるようにしたい操作を選択しチェックを入れます。操作出来ないように設定する場合は、空欄のままにします。管理者の設定は変更できません。また、ログアウト時にはライブ操作（画像の切り換え）のみ操作できるよう設定できます。

メモ
- ユーザーレベル設定の変更ができるのは「管理者／マネージャー」でログインしたときだけです。
- 各ユーザーレベルでできる操作は、初期設定では次のようになっています。
  管理者/マネージャー
  ：本機やカメラの設定などすべての操作ができる本機の管理者
  オペレーター
  ：本機の設定の一部、アラーム復帰などができる権限の高いオペレーター
  ビューワー
  ：監視や再生のみ行う一般のオペレーター
  ※管理者とマネージャーは、すべての操作が可能です。管理者とマネージャーの違いは、管理者の方がマネージャーより優先度が高く、同時に同じ操作を行った場合は、管理者の操作が優先されます。
- 前ページの画面は初期設定状態です。
- チェックの入っていない操作（制限されている操作）をそのレベルのユーザーが実行しようとした場合、ログイン画面を表示して、操作可能なレベルのユーザーがログインするよう促すことがあります。

設定対象の操作について

ユーザーごとに操作の可否を設定できるのは、以下の操作です。

操作	説明
ライブ操作（表示カメラ切換）	メインモニターに表示するカメラを変更できます。
カメラ制御	パン／チルトなどカメラの制御が行えます。
サーチ・再生	録画した画像の再生や動作検知サーチができます。
コピー	録画された画像をUSBなどのメディアにコピーできます。
アラーム復帰	アラーム動作を解除できます。
エラー復帰	エラー動作を解除できます。
設定	設定メニューを表示して、設定内容を変更できます。
カメラ画像表示	各カメラの画像表示と音声出力ができます。カメラ画像表示の設定をするには、［設定＞］ボタンをクリックしてください（☞次ページ）。

※「設定」は管理者のみが操作可能とすることをお勧めします。
※「設定」操作をできるように設定しても、管理者以外は変更できない項目があります。

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］（つづき）

カメラごとのユーザーレベルを設定する

各ユーザーレベル（オペレーター、ビューワー、ログアウト時）で画像表示できるカメラを選択し、チェックを入れます。
表示しないように設定する場合は、チェックを外して空欄にします。管理者／マネージャーの設定は変更できません。

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［基本］タブに戻ります。

ユーザー情報を登録／変更／削除する［ユーザー登録］

ユーザー名やパスワードの新規登録／変更／削除を行います。

■新規ユーザー情報の登録
ユーザー名やパスワード、操作レベルなど、本機を使用するユーザー情報を登録します。
登録できるユーザー数は32ユーザーまでです。

［ユーザー名］
ソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）からユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字と記号で1文字以上32文字以内で設定してください。

［パスワード］
ソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）からパスワードを入力します。パスワードは半角英数字と記号で8文字以上32文字以内で設定してください。

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］（つづき）

また、英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。パスワードはユーザー名を含まないように設定してください。登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

重要
- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。
- 管理者名、パスワードを忘れた場合は本体の初期化（修理扱い）が必要です。

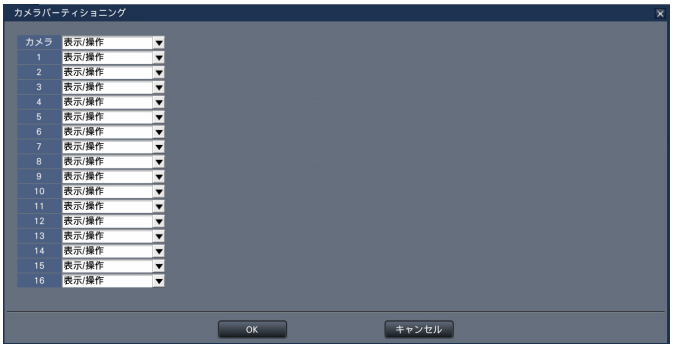
［レベル］
操作レベルを選択します。
操作できる機能は［基本］タブ（☞65ページ）で設定します。
　マネージャー／オペレーター／ビューワー
※管理者とマネージャーは同じレベルですが、優先度は管理者の方が高くなります。
初期設定：オペレーター

［スタートモニター］
ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。
　カメラ1、…、カメラ24、4分割画面（1）、…、
　4分割画面（6）、9分割画面（1）、…、9分割画面（3）、
　16分割画面（1）、16分割画面（2）、
　シーケンス（全画面）、1画面（全画面）、
　4分割画面（全画面）、9分割画面（全画面）、
　16分割画面（全画面）、24分割画面（全画面）
（各設定値の詳細は運用画面について（☞105ページ）をお読みください）
初期設定：4分割画面（1）

メモ
- 「モニター」－「メインモニター」－「その他の設定」で選択されていない画面をスタートモニターに設定すると、4分割画面（1）がスタートモニターとして表示されます。
- 9分割画面／ 16分割画面／ 24分割画面／各種全画面を設定していると、PCのウェブブラウザーでログインしたとき、カメラ1～4の4画面表示でライブ画像が表示されます。

［カメラパーティショニング］
カメラごとの制御範囲をどの設定に従うかを選択します。
　共通設定：「ユーザー管理＞基本」の「ユーザーレベル設定」に従います。
　個別設定：ユーザーごとに設定した、カメラパーティショニング設定に従います。
カメラパーティショニングを個別に設定する場合は、［設定＞］ボタンをクリックしてください。

カメラパーティショニングを個別に設定する
指定のユーザーに対し、カメラごとの画像表示やカメラ操作の可否を設定します。



　表示/操作：ライブ・録画画像の表示やカメラ操作ができます。
　表示　　：ライブ・録画画像の表示はできますが、カメラ操作はできません。
　Off　　：ライブ・録画画像の表示やカメラ操作ができません。

メモ
- 指定のユーザーの操作レベルに、［基本］タブの「ユーザーレベル設定」で、「カメラ制御」に制限があると、「表示/操作」を設定しても、カメラ操作はできません。

［登録］ボタン
設定されたユーザー情報を新規登録します。

■登録済みユーザー情報の変更／削除
すでに登録したユーザー情報を変更または削除します。［ユーザー名］で変更または削除するユーザーを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

［変更］ボタン
選択したユーザーの情報を変更します。

［削除］ボタン
選択したユーザーを削除します。

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］（つづき）

管理者情報を変更する［管理者設定］

管理者のパスワードやスタートモニターなど、管理者情報を変更します。

［管理者名］
管理者名をソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）から入力します。管理者名は半角英数字と記号で1文字以上32文字以内で設定してください。

［パスワード］
管理者用のパスワードをソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）から設定します。パスワードは半角英数字と記号で8文字以上32文字以内で設定してください。また、英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。パスワードは管理者名を含まないように設定してください。
登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

重要
- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

［パスワード（再入力）］
確認のため、「パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

［レベル］
操作レベルを表示します。管理者は「管理者」に設定されており、変更できません。

［スタートモニター］
ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。（☞68ページ）

［変更］ボタン
変更した管理者情報を登録します。

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］（つづき）

ホスト情報を登録／変更／削除する［ホスト登録］

ネットワークを経由して本機にアクセスできるPC（ホスト）のホスト情報の新規登録／変更／削除を行います。

■新規ホスト情報の登録
ホストIPアドレスや操作レベルなど、本機を使用するホスト情報を登録します。
登録できるホスト数は32個までです。

［ホストIPアドレス］
IPアドレスを入力します。
・半角数字0 ～ 255 で入力します。
・「*」はすべての数字を表す特殊文字とし使用できます。
・「0.0.0.0」「*.*.*.*」は登録できません。

［レベル］
操作レベルを選択します。
（設定内容について「ユーザー登録」のページをお読みください）
初期設定：マネージャー

［スタートモニター］
ウェブブラウザーでログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。
カメラ1、…、カメラ24、4分割画面（1）、…、4分割画面（6）
初期設定：4分割画面（1）

［登録］ボタン
設定されたホスト情報を新規登録します。

■登録済みホスト情報の変更/削除
すでに登録したホスト情報を変更または削除します。
［ホストIPアドレス］で変更または削除するホストを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

［変更］ボタン
選択したユーザーの情報を変更します。

［削除］ボタン
選択したユーザーを削除します。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］

設定メニュー［詳細設定］のメンテナンスページでは、本機のバージョン情報やシステム情報の表示、HDDに関する設定などを行います。また、設定メニューでの設定内容の初期化、各種ログの確認、ライセンスの登録などもこのメンテナンスページで行います。
メンテナンスページは［システム情報］タブ、［HDD情報］タブ、［システム管理］タブで構成されています。

バージョンなどシステム情報を確認する［システム情報］

本機のバージョン情報（ソフトウェア、ハードウェア）、シリアル番号、ネットワーク情報（MACアドレス、IPアドレス、通信速度）、本体内部の温度情報、最高温度記録などが表示されます。

メモ

- メンテナンスページ表示中は、システム情報は更新されません。
- 通信速度欄の（）内には実際の通信速度が表示されます。
- 本体内部現在温度は、内部部品の温度上昇により、本製品の周囲温度より高い温度となります。
- 内部部品の温度上昇は機器の負荷により異なります。
- 温度異常は機器の故障や不安全を防ぐために内部の部品（HDD、CPUなど）が規定外の温度になった場合にエラー動作を行います。
- ログインユーザー数は本機にネットワーク経由でログインしているユーザー数を表示します。
- FTPユーザー数は本機にFTPで接続しているユーザー数を表示します。

■カメラのSDカード情報

SDメモリーバックアップを設定しているカメラのSDカード情報、および、SDメモリーバックアップの進捗状況が表示されます。[表示>]ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

［ソフトウェア］カメラのソフトウェアバージョンを表示します。
［SDカード品番］カメラで使用しているSDメモリーカードの品番を表示します。
［稼働時間］カメラで使用しているSDメモリーカードの稼働時間を表示します。
［上書回数］カメラで使用しているSDメモリーカードの上書き回数を表示します。
［バックアップ進捗情報］SDメモリーバックアップの進捗状況を表示します。

日時表示 ：カメラのSDメモリーカードから取得中の画像の日時
－ ：カメラのSDメモリーカードに取得すべき画像データがない

メモ

- 対応カメラについては、本機付属CD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

ディスク情報を確認する［HDD情報］

本機のHDDの容量や稼働時間、録画画像の日時範囲などを表示します。

メモ

- メンテナンスページ表示中は、HDD情報は更新されません。
- ミラーリング復旧中はHDD運用モード表示の横に復旧進捗情報が表示されます。
- 録画期間グループが設定されている場合、［カメラの録画期間グループ確認］が表示され、カメラごとの録画期間グループが確認できます。

［HDD運用モード］

HDD運用モードを表示します。
詳細は84ページを参照してください。

［容量］

HDDの容量を表示します。

［稼働時間］

HDDの稼働時間を表示します。

［ステータス］

本機のHDDの状態を表示します。

正常	：正常に動作しています。数字は使用する順番を表します。
再生専用	：再生専用のHDD（録画はされません）
切り離し	：HDD でエラーが発生し、運用から切り離されたHDD
エラー	：フォーマット中にエラーが発生したHDD
空欄	：HDD未接続
追加	：フォーマットをしないと使用できないHDD

［録画画像の日時範囲］

HDDに録画されている日時の範囲を表示します。

メモ

- ミラーリング復旧中も、復旧対象のHDDに日時の範囲が表示されますが、復旧が完了しないと復旧元のHDDと同じ内容にはなりません。

［推定上書き周期］

現在までの録画実績（最も古い録画データの日時、現在日時、HDD容量）に基づいて、HDDの上書き周期を算出し、目安表示します。

メモ

- 上書き録画中は最も古い録画データ日時と最も新しい録画データ日時から上書き周期を算出します。
- 録画実績が多いほど上書き周期の算出精度が高まります。
- 録画条件を変更した場合や、データ自動消去でデータが消去された場合などは、正しい上書き周期が表示されません。
- 録画期間グループ設定時には、推定上書き周期が表示されません。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

［HDD残容量］
HDDの残容量を表示します。また、HDDの残容量が減少したときの通知タイミングを設定します。HDD残容量を表示するには、［表示］ボタンをクリックしてください。

説明例はシングルモード時の画面です。

［容量］
HDDの容量を表示します。

［残容量］
HDDの残容量を表示します。

メモ
- 表示されるHDDの残容量は、データを管理するために必要な容量を除いています。このため、HDDの容量は少なく表示されます。
- すべての領域にデータを録画したHDDは残容量が0GBで表示されます。

［HDD残容量通知］
HDDの総容量に対する残容量が減少したときの通知タイミングを設定します。メール通知と独自通知を行います。

Off：残容量通知を行いません。
1% ～ 10%：残容量が設定値を下回るタイミングで通知します。

［HDDメンテナンス］
HDDビューワー用パスワードの設定や、HDDのフォーマット・取り外しを行います。HDDメンテナンスを行うには、［設定>］ボタンをクリックしてください。

説明例はシングルモード時の画面です。

［HDDビューワー用パスワード設定］
本機に搭載されたHDDにパスワードを設定するかどうかを設定します。Onに設定すると、HDDの取り外し操作時に、パスワードをHDDに設定します。HDDビューワーでパスワードが設定されているHDDを使用するには、パスワード入力が必要になります。

On ：HDDにパスワードを付与します。
Off ：HDDにパスワードを付与しません。

初期設定：Off

重要
- HDD交換をともなうHDDの取り外しおよび取り付けとその処理は、必ずお買い上げの販売店（設置工事店）に依頼してください。
- HDDの取り外し操作（☞74ページ、☞83ページ）を行わずにHDDを取り外すと、HDDにパスワードが設定されません。また、HDDの故障などにより、自動的に運用から外された場合も、パスワードが設定されません。

［パスワード］
HDDビューワー用パスワードをソフトキーボードから設定します。パスワードは半角英数字と記号で8文字以上32文字以内で設定してください。また、英字(大文字)、英字（小文字)、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。設定したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

重要
- 取り外したHDDのパスワードを忘れた場合は、HDDビューワーで再生することができません。

［パスワード確認］
確認のため、「パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

［登録］ボタン
設定されたパスワードを登録します。

［HDDビューワーの保存（USBメディアへ）］
HDDビューワーをUSBメディア（外部記憶装置）に保存します。［実行］ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。HDDビューワーは圧縮ファイル（NX_HDD_Viewer.zip）としてUSBメディアのドライブ直下に保存されます。展開してご使用ください。
HDDビューワーの取扱説明書は、以下のパナソニックサポートウェブサイトに掲載しています。
https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html

［HDDのフォーマット］
初期化するHDDを選択して［開始］ボタンをクリックするとHDDを初期化します。

重要
- HDDを初期化すると、初期化したHDDに記録されていた録画画像はすべて消去されます。
- 選択できるのは、ステータスが「再生専用」または「追加」のHDDのみです。
- フォーマット開始後は、コピーやダウンロードは停止します。

［HDDの取り外し］
取り外すHDDを選択して［開始］ボタンをクリックすると、HDDビューワー用パスワードの確認画面が表示されます。入力値と設定値が一致すると、HDDを取り外します。

重要
- 録画中のHDDは選択できません。（HDD運用モードがミラーリングモードの場合、2台で録画中のHDDはどちらか一方を取り外すことができます。）
- 取り外し開始後は、コピーやダウンロードは停止します。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

システムに関する設定や操作を行う［システム管理］

障害発生時の動作設定やHDD内のデータの自動消去の設定、ログの表示などを行います。また、ライセンスの登録、設定の初期化、ソフトウェアのバージョンアップなど、全般的なメンテナンス作業をここで行います。

■システム設定

［障害出力時間］

本機に障害（HDD異常、カメラ異常、機器異常、録画異常、ネットワーク異常）が発生したときに外部に異常を知らせる信号を出力する時間を設定します。「0秒」に設定すると信号を出力しません。

0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分

Ext.：障害復帰操作をするまで信号を出力し続けます。

初期設定：2秒

メモ

- 障害復帰操作については、「エラー動作を解除する」（☞134ページ）をお読みください。

［障害ブザー鳴動時間］

本機に障害が発生したとき、ブザーを鳴らす時間を選択します。「0秒」に設定するとブザーを鳴らしません。

0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分

Ext.：障害ブザー鳴動停止の操作をするまでブザー鳴動し続けます。

初期設定：2秒

メモ

- ブザー鳴動の停止方法については、「ブザーを停止する」（☞133ページ）をお読みください。

［HDD稼働時間警告］

HDDの稼働時間が設定値に達すると、警告動作を行うよう設定します。「Off」に設定すると、警告動作を行いません。

Off ／ 10000時間／ 20000時間／ 30000時間／ 40000時間／ 50000時間

初期設定：20000時間

［データ自動消去］

本機のHDD 内のデータを録画されてから経過した日数により自動的に消去するように設定します。

Off ／ 1日／ 2日／ 3日／ 4日／ 5日／ 6日／ 7日／ 8日／ 9日／ 10日／ 14日／ 30日／ 45日／ 60日／ 90日／ 120日／ 150日／ 180日／ 184日

初期設定：Off（データを自動消去しません）

［カメラ時刻自動同期］

日付が変わるときに、カメラ側の時刻を本機の時刻に合わせます。

On ：時刻を合わせます。

Off ：時刻を合わせません。

初期設定：On

■ログ情報

以下の履歴を確認できます。

- アクセスログ　　：本機へのアクセス履歴
- 操作ログ　　：本機の操作履歴
- ネットワークログ　：ネットワークの障害履歴

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

それぞれの履歴を確認するには、［表示>］ボタンをクリックしてください。

アクセスログについて

本機にログイン／ログアウトした際の日時とユーザー名、またはIPアドレスを一覧で表示します。
履歴は500件まで記録されます。
500件を超えると、古い履歴から上書きされます。

**LOGIN ／ **LOGOUT
：ユーザーがログイン／ログアウト

**にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

操作ログについて

特定の本機の操作をした際の日時と操作内容を一覧で表示します。
履歴は500件まで記録されます。
500件を超えると、古い履歴から上書きされます。

CONFIG LOGIN / CONFIG LOGOUT
：HDD管理へログイン/ ログアウト

UPDATED SETTINGS
：設定を変更したとき

POWER ON
：本機を起動したとき

POWER ON (UPDATED)
：ソフトウェアの更新後に再起動したとき

POWER ON (RESTART SWITCH)
：リスタートボタンで再起動したとき

BEFORE TIME CHANGE MANUALLY
：システム日時を変更する直前

AFTER TIME CHANGE MANUALLY
：システム日時を変更した直後

BEFORE TIME CHANGE BY NTP
：NTPによってシステム日時が変更される直前

AFTER TIME CHANGE BY NTP
：NTPによってシステム日時が変更された直後

HDD FORMAT
：HDDをフォーマットしたとき

RESET ALL SETTINGS
：設定初期化が実施されたとき

POWER ON (MAINTENANCE)
：設定メニューの操作で再起動したとき

RESET HIGHEST TEMPERATURE
：最高温度情報をクリアしたとき

ネットワークログについて

ネットワーク障害の発生日時と障害内容を一覧で表示します。
履歴は100件まで記録されます。100件を超えると、古い履歴から上書きされます。ログの詳細については102ページをお読みください。

メモ

- ログ情報画面表示中は、情報更新はされません。

■保守・サービス用機能

本機の運用やカメラ追加のためのライセンス登録や、メンテナンスに必要な操作・設定を行います。

［ライセンス登録（本機、カメラ拡張、など）］

本機を使用するには、キー管理システムより解除キー番号を取得して登録する必要があります。また、カメラ拡張のライセンスを追加登録することで最大24台のカメラが使用できるようになります。
カメラの追加はお買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。［設定>］ボタンをクリックするとライセンス登録画面が表示されます。（☞78ページ）

［ライセンス登録（セキュリティ）］

セキュア拡張のライセンスを追加登録することで、最大24台のカメラとセキュアな通信が行えます。セキュア拡張の追加はお買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。
［設定>］ボタンをクリックするとライセンス登録画面が表示されます。設定の詳細については、CD-ROM内の「取扱説明書　セキュア拡張キット」をお読みください。

［設定データの保存（USBメディアへ）］

設定メニューの設定内容をUSBメディア（外部記憶装置）に保存します。［実行］ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

［設定データの読み込み（USBメディアから）］
USBメディア（外部記憶装置）に保存されている設定メニューの設定内容を本機に読み込みます。［実行＞］ボタンをクリックして表示された確認画面から読み込みます。

重要
- 設定データの読み込みを行った後は、必ず設定保存ボタンをクリックし、一度メニューを抜けてください。

［ソフトウェアの更新］
USBメディア（外部記憶装置）に保存されている本機ソフトウェアを読み込み、バージョンアップします。［実行＞］ボタンをクリックして表示された確認画面から更新処理を開始します。
ソフトウェア更新は管理者のみが実行できます。

メモ
- USBメディアの容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。USBメディアが認識されない場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。
- 複数のUSBメディアを接続した状態で操作しないでください。
- exFATまたはFAT（FAT16）、FAT32形式でフォーマットされたUSBメディアを使用してください。
- 本機で認識したUSBメディアは本機でフォーマットできます。フォーマット方法については155ページをお読みください。
- パスワード認証付き外部記憶装置や、専用ドライバを必要とするもの、暗号化機能を使用するUSBメディアは使用できません。
- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

［その他の機能］
メンテナンス用データの保存画面などが表示されます。（☞79ページ）

［設定の初期化］
設定メニューの設定内容を初期化します。［実行＞］ボタンをクリックして表示された確認画面から初期化を実行します。

メモ
- 以下の設定項目は初期化、読み込みされません。
  - HTTPポート番号
  - FTPポート番号
  - ネットワークポート
  - DNS設定
  - ライセンス関連の各種番号
  - 録画期間グループ

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

本機やカメラのライセンスを登録する［ライセンス登録］

本機を運用するためのライセンス登録のほか、カメラを追加するためのライセンスを登録します。本機購入時はカメラ4台分のライセンスが付属されています。ライセンスを追加することで、9台、12台、16台、24台とカメラを追加することができます。
なお、ライセンス登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。本機の解除キー番号の取得方法は、付属の「起動情報案内カード」をお読みください。また、カメラ拡張の解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キット（別売り）の「起動情報案内カード」をお読みください。

重要

- 以下の場合は必ず最後に［再起動］ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機が再起動しないと各ライセンスが有効になりません。
  - 本機の解除キー番号を登録したとき
  - カメラ拡張の解除キー番号を登録したとき
- 接続を追加したカメラは、「らくらくスタート」（☞取扱説明書　設置編　30ページ）でカメラ登録してください。また、各設定値は初期設定となりますので、必要に応じて各種設定を行ってください。

■キー管理システム入力情報

解除キー番号を取得するためのID番号です。本機に付属の「起動情報案内カード」には、キー管理システムへのアクセス方法が記載されています。

■ライセンス登録

本機を運用したり、カメラ追加や拡張機能を使用したりするための解除キー番号を登録します。

［本機－解除キー番号］

キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。入力欄右の［登録］ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。本機を初めて起動したときは、必ず解除キー番号を登録してください。

［カメラ拡張－解除キー番号1 ～ 4］

カメラを追加する場合、カメラ拡張キットの解除キー番号を入力します。解除キー番号を登録すると、以下のようにカメラ接続台数は増えます。

	WJ-NXE20JW	WJ-NXE21JW
解除キー番号なし	4	4
解除キー番号 1	9	24
解除キー番号 2	12	–
解除キー番号 3	16	–
解除キー番号 4	24	–

解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キットに付属の「起動情報案内カード」をお読みください。入力欄右の［登録］ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

［ビジネスインテリジェンス拡張－解除キー番号］
ビジネスインテリジェンス拡張機能を使用する場合、ビジネスインテリジェンス拡張キットの解除キー番号を入力します。ビジネスインテリジェンス拡張機能の詳しい設定方法、操作方法はビジネスインテリジェンス拡張キット（WJ-NXF02JW）の取扱説明書をお読みください。

■販売店・連絡先情報
販売店（設置工事店）名や電話番号などの情報をソフトキーボード（☞取扱説明書　設置編　11ページ）から2つまで登録できます。各欄とも、32文字まで入力できます。

登録が完了したら、［再起動］ボタンをクリックします。本機が再起動し登録した内容が、本機に反映されます。

［戻る］ボタン
ライセンスを有効にしない場合や、「販売店・連絡先情報」のみを変更した場合にクリックすると、［システム管理］タブに戻ります。

特殊な保守・サービス用機能を実行する［その他の機能］

すべての履歴データをUSBメディア（外部記憶装置）に保存したり、カメラ側の日時を本機に合わせたりします。

［メンテナンス用データの保存（USBメディアへ）］
すべての履歴データをUSBメディア（外部記憶装置）へ保存します。
［実行］ボタンをクリックして表示された確認画面から実行するとUSBメディア（外部記憶装置）への保存が開始します。

メモ
- 複数のUSBメディアを接続した状態で操作しないでください。
- exFATまたはFAT（FAT16）、FAT32形式でフォーマットされたUSBメディアを使用してください。
- 本機で認識したUSBメディアは本機でフォーマットできます。フォーマット方法については155ページをお読みください。
- パスワード認証付き外部記憶装置や、専用ドライバを必要とするもの、暗号化機能を使用するUSBメディアは使用できません。
- USBメディアの容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。USBメディアが認識されない場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。

［カメラの日時を本機に合わせる］
登録しているすべてのカメラの日時を本機の日時に合わせます。［実行予約］ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了すると処理が実行されます。

［本機の設定情報に合わせてカメラを再設定する］
本機で設定されている情報に基づき、登録しているすべてのカメラを再設定します。［実行予約］ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了すると処理が実行されます。

重要
- カメラの設定を個別にカスタマイズしている場合は、設定が変わってしまいますのでご注意ください。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］（つづき）

［SDメモリーバックアップのデータを取得する］
SDメモリーバックアップを設定しているカメラのSDメモリーカードに録画されている画像（SDメモリーデータ）の取得を開始します。

［本機を再起動する］
本機を再起動します。

［基板交換モードで本機を起動する］
基板を交換する場合に使用します。

メモ
- 基板交換モードは保守時に使用します。通常は使用しないでください。
- 基板交換はお買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

［最高温度記録情報をクリアする］
本体内部温度の最高温度記録情報をクリアします。

［ネットワーク送受信速度を測定する］
本機が送受信するネットワークのトラフィック量を測定する場合に使用します。［実行予約］ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了してから測定動作に入ります。
測定が終了すると測定結果が表示されます。

メモ
- 測定は設定を終了してから約8秒後から10秒間行われます。
- 測定動作中は、運用画面の状態表示部に「測定中」が表示されます。
- 測定結果はすべてのネットワークポートの合計値です。
- 測定結果は参考値です。ネットワークの環境によって変化することがあります。

［端子出力のテスト］
本機後面のアラーム/コントロール端子から信号を出力します。
対象　　：信号を出力する端子を選択します。
テスト出力時間：信号を出力する時間を2秒、5秒、10秒から選択します。
［実行］ボタンをクリックして表示された確認画面から実行すると、選択した出力端子から信号が出力されます。

HDDを管理する［HDD管理］

設定メニュー［詳細設定］のHDD管理ページでは、HDDの容量の確認や、HDDの初期化（フォーマット）など、HDDに関する操作を行います。

重要

- HDD管理ページを表示すると､HDD管理に関する操作以外のすべての動作（録画や再生など）は停止します。
- HDD管理ページを表示すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。

HDD管理ページの表示のしかた

STEP1

設定メニュー［詳細設定］の［HDD管理］ボタンを選択します。

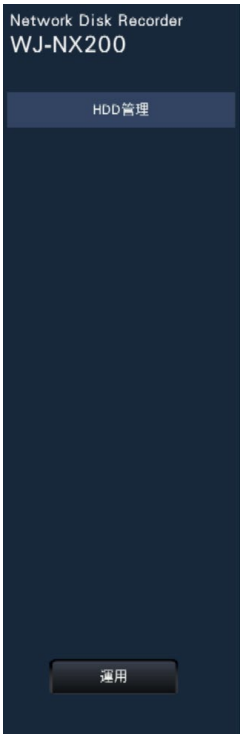
→管理者名とパスワードの入力画面が表示されます。すでに管理者でログインしていた場合にも表示されます。

STEP2

「管理者名」と「パスワード」を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

→HDD管理ページが表示されます。

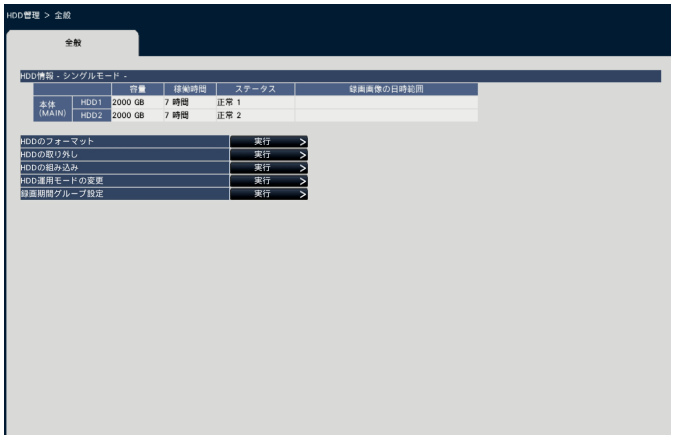
HDD管理ページから通常の運用画面に戻るには［運用］ボタンをクリックします。



HDDを管理する［HDD管理］（つづき）

HDDの情報を確認する［全般］

本機のHDDの容量や稼働時間、ステータス情報を表示します。



「HDD情報」に表示される項目については、設定メニュー［詳細設定］の［メンテナンス］－［HDD情報］タブをお読みください。（☞72ページ）ミラーリングモードでは「録画期間グループ設定」は表示されません。

HDDを初期化する［HDDのフォーマット］

HDDを初期化します。本機のHDDを交換したとき、HDDの初期化を行う必要があります。

重要

- HDDを初期化すると、初期化したHDDに記録されていた録画画像はすべて消去されます。

STEP1

［HDDのフォーマット］で［実行>］ボタンをクリックします。
→HDDフォーマット画面が表示されます。

STEP2

フォーマット欄でフォーマットするHDDにチェックを入れ、［開始］ボタンをクリックします。表示された確認画面で［OK］をクリックすると、フォーマットが開始されます。
結果欄に「OK」が表示されたら、［戻る］ボタンをクリックしてください。
「エラー」が表示された場合は、再度フォーマットを行ってください。

HDDを管理する［HDD管理］（つづき）

HDDの取り外しと組み込みについて

HDDの交換を行う場合は、取り外し処理と組み込み処理を行う必要があります。
HDDの取り外しおよび取り付けとその処理は、必ずお買い上げの販売店（設置工事店）に依頼してください。

HDDを取り外す［HDDの取り外し］

STEP1

「HDDの取り外し」で［実行＞］ボタンをクリックします。
→HDD取り外し画面が表示されます。

STEP2

取り外し欄で取り外すHDDにチェックを入れ、［開始］ボタンをクリックすると、HDDビューワー用パスワードの確認画面が表示されます。入力値と設定値が一致すると、HDDを取り外します。
結果欄に「OK」が表示されれば、取り外しが可能です。
［戻る］ボタンをクリックしてください。

メモ

- HDDビューワー用パスワードが設定されていると、HDDにパスワードを設定します。

HDDを組み込む［HDDの組み込み］

STEP1

「HDDの組み込み」で［実行＞］ボタンをクリックします。
→HDDの組み込み画面が表示されます。

STEP2

組み込み欄で組み込むHDDにチェックを入れ、［開始］ボタンをクリックします。
結果欄に「OK」が表示されれば、組み込み処理が完了し、録画可能なHDDになります。［戻る］ボタンをクリックしてください。

重要

- 組み込み処理を行うと、HDDのデータは消去されます。

HDDを管理する［HDD管理］（つづき）

HDD運用モードの変更について

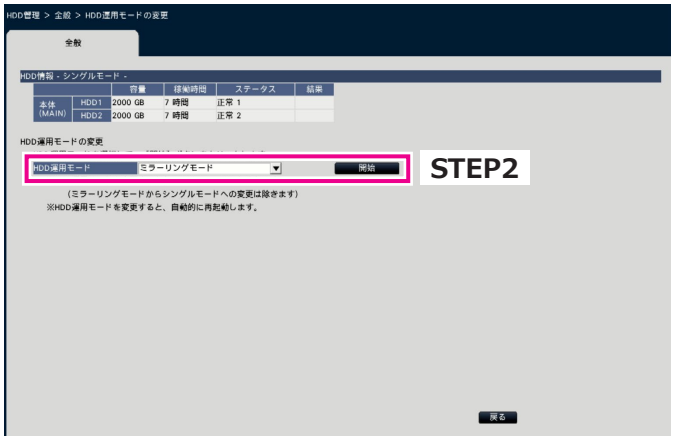
HDD運用モードについて

シングルモード　　：本体のHDDにカメラ画像・音声を録画する運用モード。
ミラーリングモード：本体の2台のHDDに同じカメラ画像・音声を二重に録画する運用モード。
一方のHDDを交換した後、交換したHDDにもう片方のHDDからデータをコピーすることが可能。

HDD運用モードを変更する［HDD運用モードの変更］

STEP1

「HDD運用モードの変更」で［実行>］ボタンをクリックします。
→HDD運用モード変更画面が表示されます。



STEP2

HDD運用モードで変更したい運用モードを選択し、［開始］ボタンをクリックします。

重要

- HDD運用モードを変更（ミラーリングモードからシングルモードへの変更を除く）すると、HDDのデータはすべて消去されます。
- ミラーリングモード中はシングルモードに比べて、HDD容量が半分になります。
- HDD運用モードをミラーリングモードからシングルモードに変更すると、HDDのステータスは「再生専用」になります。
- HDD運用モードを変更すると、本機は自動的に再起動します。

メモ

- WJ-NX200/05およびDVD搭載モデルはミラーリングモードを使用できません。
- ミラーリングモード時に一方のHDDを交換すると、HDD情報画面のステータス情報に「追加」と表示されます。交換したHDDは「HDDの組み込み」を実施するとミラーリングモードで運用を開始します。このとき、交換したHDDのデータはすべて消去されます。

HDDを管理する［HDD管理］（つづき）

録画期間グループを設定する［録画期間グループ設定］

カメラごとに２グループに分けて録画する期間（制限なし、１～184日）を設定できます。
また、各グループで録画に使用するHDDを設定できます。ミラーリングモードでは、録画期間グループを設定することはできません。

STEP1

［録画期間グループ設定］で［実行>］ボタンをクリックします。
→録画期間グループ設定画面が表示されます。

STEP2

グループごとの録画期間を設定します。

［グループ１］
グループ１の録画期間を設定します。
　制限なし／ 1日／…／ 10日／ 14日／ 30日／ 45日／ 60日／ 90日／ 120日／ 150日／ 180日／ 184日
初期設定：制限なし

［グループ2］
グループ2の録画期間を設定します。
　制限なし／ 1日／…／ 10日／ 14日／ 30日／ 45日／ 60日／ 90日／ 120日／ 150日／ 180日／ 184日
初期設定：制限なし

メモ
- 「制限なし」に設定した場合、設定したHDDに録画できるだけの期間を録画します。
- 日数を設定した場合、再生時に設定した日数の期間のみを再生します。

STEP3

カメラごとに録画期間グループを設定します。

［録画期間グループ］
　グループ１、グループ２
初期設定：グループ１

メモ
- 録画期間グループの設定に「グループ１」と「グループ２」のどちらかに「制限なし」以外が設定されている場合、HDD管理の各画面とメンテナンスのHDD情報の各画面には、録画期間グループを表示します。

STEP4

［再計算］ボタンをクリックして、グループごとに必要な推定容量を計算して表示します。

メモ
- 「制限なし」のときは推定容量が「-」表示されます。

STEP5

「録画期間グループのHDD割り当て」の［実行>］ボタンをクリックします。
→録画期間グループのHDD割り当て画面が表示されます。

STEP6

画面上部に表示されているHDD容量が必要容量を上回るように、HDDごとに録画期間グループを設定します。

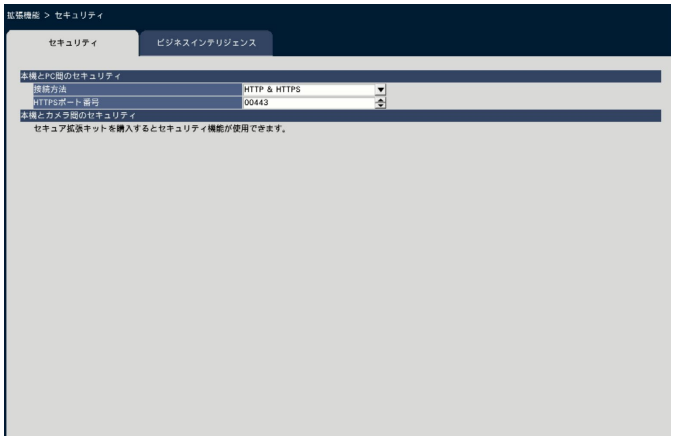
STEP7

［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、録画期間グループ設定画面の［戻る］ボタンをクリックして設定を終了します。

重要
- 録画期間グループのHDD割り当てを変更すると、HDDのデータは消去されます。

拡張機能の設定を行う[拡張機能]

設定メニュー［詳細設定］の拡張機能ページでは、セキュリティの設定やビジネスインテリジェンス機能の設定を行います。
セキュア拡張機能の詳しい設定方法、操作方法はセキュア拡張キットの取説をお読みください。ビジネスインテリジェンス拡張機能の詳しい設定方法、操作方法はビジネスインテリジェンス拡張キット（WJ-NXF02JW）の取扱説明書をお読みください。



■本機とPC間のセキュリティ
本機とPC間をHTTPSで接続します。HTTPSを使用することで、本機へのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

[接続方法]
本機への接続方法を設定します。
HTTP & HTTPS
：HTTPとHTTPS接続が可能になります。
HTTPS
：HTTPS接続のみ可能になります。
初期設定：HTTP & HTTPS

[HTTPSポート番号]
HTTPSで使用するポート番号を設定します。
1 ～ 65535
初期設定：443

メモ
- 以下の番号とHTTPポート番号、FTPポート番号、サイトアラーム受信ポート番号、ポートフォワーディングのポート番号を設定することはできません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ～ 50255

設定項目一覧（設定メニュー）

簡単設定（らくらくスタート）

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定
日付・時刻合わせ		2016/1/1 0:00 ～ 2037/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 （nn, mm：本体シリアル番号から算出する）
録画設定 （全カメラ同一設定）	フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、30 ips	10ips
	画質	NQ、FQ、SF、XF	FQ
	スマートコーディング(GOP制御)	Off、On(Advanced)	Off
	録音	Off、On、On(AAC-LC)	Off
	推定録画日数（参考値）	（計算結果を表示）	（計算結果を表示）

基本設定

（備考：●はらくらくスタートで設定できる項目、◎はウェブブラウザーから設定できる項目、★はウェブブラウザーのみで設定できる項目）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
日時・Language	日付・時刻合わせ	日付・時刻		2016/1/1 0:00 ～ 2037/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 （nn、mmは本体シリアル番号から算出する）	● ◎
	日時表示設定	表示形式	日付	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy	yyyy/mm/dd	◎
			時刻	24時間、12時間	24時間	◎
		タイムゾーン	タイムゾーン選択	GMT-12:00、GMT-11:00、GMT-10:00、GMT-9:00、GMT-8:00、GMT-7:00、GMT-6:00、GMT-5:00、GMT-4:30、GMT-4:00、GMT-3:30、GMT-3:00、GMT-2:00、GMT-1:00、GMT、GMT+1:00、GMT+2:00、GMT+3:00、GMT+3:30、GMT+4:00、GMT+4:30、GMT+5:00、GMT+5:30、GMT+5:45、GMT+6:00、GMT+6:30、GMT+7:00、GMT+8:00、GMT+9:00、GMT+9:30、GMT+10:00、GMT+11:00、GMT+12:00、GMT+13:00	GMT+9:00	◎
			サマータイム	Out、Auto	Out	◎
			開始・終了日時	曜日で指定、日付で指定	曜日で指定	◎
			開始/終了日時（曜日で指定）In/Out	1月第1週月曜日00:00 ～ 12月最終日曜日23:59	--	◎
			開始/終了日時（日付で指定）In/Out	1/1 00:00 ～ 12/31 23:59	--	◎
		レコーダー時刻自動調整（端子）	–	Off、Slave（本機の時刻を合わせる）、Master（他機器の時刻を合わせる）	Off	◎
			動作時刻	00:00 ～ 23:00	00:00	◎
	Language	Language		日本語、English、Français、Español、Deutsch、Italiano、Русский、Português、ไทย、中文（ウェブブラウザー：Japanese、English、Français、Español、Deutsch、Italiano、Russian、Português、Thai、Chinese）	日本語（ウェブブラウザー：Japanese）	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
カメラ	カメラ登録	品番		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		アドレス		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		圧縮方式		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		障害情報		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		登録情報の変更	品番／オプション	対応するカメラの品番／オプション	（空欄）	◎
			アドレス	（アドレス）	（空欄）	◎
			圧縮方式	H.265(1)、H.265(3)、H.265(4)、H.264(1)、H.264(3)、H.264(4)、MJPEG	（空欄）	◎
			認証方式	Digest、Digest or Basic、Basic	Digest	◎
			ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			ポート番号	（ポート番号）	80	◎
	カメラ設定	日時表示	設定項目（表示）	チェック　有／無		
			表示	Off、On		
			設定項目（位置）	チェック　有／無		
			位置	左上、左下、右上、右下		
			送信するカメラの選択	チェック　有／無		
		画像内文字表示	設定項目（表示）	チェック　有／無		
			表示	Off、On		
			設定項目（画像内文字）	チェック　有／無		
			画像内文字	（テキスト入力）		
			送信するカメラの選択	チェック　有／無		
		ランプ表示	ランプ表示	点灯、点灯（アクセス時）、消灯		
			送信するカメラの選択	チェック　有／無		
		配信モード	設定項目（配信モード）	フレームレート指定、アドバンスド可変ビットレート、可変ビットレート		
			ストリーム1	チェック　有／無		
			ストリーム2	チェック　有／無		
			設定項目（優先設定）	チェック　有／無		
			優先設定	画質優先、フレームレート優先		
			設定項目（最大ビットレート（バースト時））	チェック　有／無		
			最大ビットレート（バースト時）	高、中、低		
			設定項目（制御期間（可変ビットレート時））	チェック　有／無		
			制御期間（可変ビットレート時）	1時間、6時間、24時間、1週間		
			設定項目（スマートコーディング（GOP制御））	チェック　有／無		
			スマートコーディング（GOP制御）	Off、On (Advanced)		
			送信するカメラの選択	チェック　有／無		
		リフレッシュ間隔	リフレッシュ間隔	0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒		
			送信するカメラの選択	チェック　有／無		
		設置方法（上下反転）	設置方法（上下反転）	卓上設置（On）、天井設置（Off）、壁設置		
			送信するカメラの選択	チェック　有／無		
		画像回転	画像回転	0 °(Off)、90 °、180 °（上下反転）、270 °		
			送信するカメラの選択	チェック　有／無		

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）			設定範囲	初期設定	備考
カメラ	カメラ設定	パン・チルトフリップ	パン・チルトフリップ		Off、On		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		スーパーダイナミック(ワイドダイナミックレンジ)	スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）		Off、On、On（High）		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		暗部補正	暗部補正		Off、On、リセット、0、16、32、48、64、80、96、128、144、160、176、192、208、224、240、255		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		逆光補正（BLC）	逆光補正（BLC）		Off、On		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		光量制御モード	光量制御モード		屋外撮影、フリッカレス（50 Hz）、フリッカレス（60 Hz）、ELC		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		オートスローシャッター（最長露光時間）	オートスローシャッター（最長露光時間）		Off（1/30 s）、最大 2/30 s、最大 4/30 s、最大 6/30 s、最大 10/30 s、最大16/30 s		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		白黒切換／簡易白黒切換	白黒切換／簡易白黒切換		Off、On、On（IR Light On）、Auto1（Normal）／ Auto、Auto2（IR Light）、Auto3（SCC）		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		インテリジェントオート	インテリジェントオート		Off、On		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		動作検知アラーム	動作検知アラーム		Off、On		
			検出感度		1（低い）、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15（高い）		
			送信するカメラの選択		チェック　有／無		
		マイク感度	マイク感度		0 高感度、1、2、3 初期設定、4、5 低感度		
			送信するマイクの選択		チェック　有／無		
	高度な設定	接続方式			RTP、RTSP、インターネットモード	RTSP	◎
録画・イベント	録画設定	スケジュール1 録画する曜日	月、火、…、日		チェック　有／無	有	
		スケジュール1 録画する時間帯	タイムテーブル1	時間帯	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1：00:00 ～ 24:00 時間帯2 ～時間帯6：--:-- ～ --:--	
				スケジュール録画	チェック　有／無	有	
				イベント録画	チェック　有／無	有	
				メール	チェック　有／無	無	
				独自アラーム	チェック　有／無	無	
		録画設定（全カメラ同一設定）	フレームレート		1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、30 ips	10 ips	●
			画質		NQ、FQ、SF、XF	FQ	●
			推定録画日数（参考値）		（計算結果を表示）	（計算結果を表示）	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）			設定範囲	初期設定	備考
録画・イベント	録画設定	スケジュール1 詳細設定	録画する曜日（月、火、…、日）		タイムテーブル1、タイムテーブル2、Off	タイムテーブル1	◎
			イベント録画	イベント録画時間	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、5分、10分、15分、Manual、Ext.	30秒	◎
				プレ録画時間	0秒、5秒、10秒、15秒	0秒	◎
			録画する時間帯	タイムテーブル1-時間帯	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1：00:00 ～ 24:00 時間帯2 ～時間帯6：--:-- ～ --:--	◎
				タイムテーブル1-スケジュール録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル1-イベント録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル1-メール	チェック　有／無	無	◎
				タイムテーブル1-独自アラーム	チェック　有／無	無	◎
				タイムテーブル2-時間帯	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1 ～時間帯6：--:-- ～ --:--	◎
				タイムテーブル2-スケジュール録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル2-イベント録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル2-メール	チェック　有／無	無	◎
				タイムテーブル2-独自アラーム	チェック　有／無	無	◎
				スケジュール一覧を表示する	（表示のみ）	（表示のみ）	
		スケジュール2 ～スケジュール16 詳細設定	録画する曜日（月、火、…、日）		タイムテーブル1、タイムテーブル2、Off	タイムテーブル1	◎
			イベント録画	イベント録画時間	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、5分、10分、15分、Manual、Ext.	30秒	◎
				プレ録画時間	0秒、5秒、10秒、15秒	0秒	◎
			録画する時間帯	タイムテーブル1-時間帯	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1 ～時間帯6：--:-- ～ --:--	◎
				タイムテーブル1-スケジュール録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル1-イベント録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル1-メール	チェック　有／無	無	◎
				タイムテーブル1-独自アラーム	チェック　有／無	無	◎
				タイムテーブル2-時間帯	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1 ～時間帯6：--:-- ～ --:--	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）			設定範囲	初期設定	備考
録画・イベント	録画設定	スケジュール2～スケジュール16詳細設定	録画する時間帯	タイムテーブル2-スケジュール録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル2-イベント録画	チェック　有／無	有	◎
				タイムテーブル2-メール	チェック　有／無	無	◎
				タイムテーブル2-独自アラーム	チェック　有／無	無	◎
				スケジュール一覧を表示する	（表示のみ）	（表示のみ）	
		録画詳細設定（カメラ別）	品番		（登録情報を表示）	（登録情報を表示）	◎
			圧縮方式		（登録情報を表示）	（登録情報を表示）	◎
			解像度		[アスペクト比 4:3] VGA（640×480）／SVGA（800×600）／SXVGA（1280×960）／UXGA（1600×1200）／QXGA（2048×1536）／5M（2560×1920）／7M（3072×2304）／12M（4000×3000） [アスペクト比 16:9] HVGAW（640×360）／HD（1280×720）／FHD（1920×1080）／WQHD（2560×1440）／5M（3072×1728）／4KUHD（3840×2160） [アスペクト比 1:1] 1.6M（1280×1280）／4M（2048×2048）／5M（2192×2192）／8M（2816×2816）／9M（2992×2992） [アスペクト比 9:16] 0.2M（360×640）／1M（720×1280）／2M（1080×1920）／4M（1440×2560）／5M（1728×3072）	VGA（640x480）	◎
			レート		1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、25 ips、30 ips、50 ips、60 ips	10 ips	◎
			画質		NQ、FQ、SF、XF	FQ	◎
			録音		[カメラ] Off、On、On(G.711)*、On(AAC-LC) [全方位マイク] Off、カメラ1、...、カメラ24	Off	◎
			スケジュール		スケジュール1、スケジュール2、...、スケジュール16	スケジュール1	◎
			イベント録画		1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、25 ips、30 ips、基本と同じ	基本と同じ	◎
			緊急録画		1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、25 ips、30 ips、基本と同じ	基本と同じ	◎
			推定記録日数（参考値）		（計算結果を表示）	（計算結果を表示）	◎
	イベント設定	アラーム動作	出力時間		0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	◎
			ブザー鳴動時間		0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	◎
			自動復帰時間		2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、3分、5分、Ext.	Ext.	◎
			メッセージ表示		Off、On	On	◎
			メインモニター連動動作		Off、On、On（アラーム確認/復帰）	Off	◎

＊他社カメラを選択時のみ選択可能。

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
録画・イベント	イベント設定	アラーム動作	イベント種別選択	チェック　有／無	端子アラーム：有	◎
				チェック　有／無	カメラサイトアラーム：有	◎
				チェック　有／無	コマンドアラーム：有	◎
			画面表示	操作画面表示、全画面表示	操作画面表示	◎
		端子アラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画＋アラーム動作	録画＋アラーム動作	◎
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
			端子別設定（録画カメラ）	Off、カメラ1、…、カメラ24、全カメラ	端子番号と同じカメラ番号	◎
			端子別設定（プリセット）	001 ～ 256、---	---	◎
			端子別設定（端子出力）	Off、On	On	◎
			端子別設定（端子入力）	N.O.、N.C.	N.O.	◎
		カメラサイトアラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画＋アラーム動作	録画＋アラーム動作	◎
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
			カメラ別設定(録画カメラ)	Off、カメラ1、…、カメラ24	カメラ番号	◎
			カメラ別設定(プリセット)	001 ～ 256、---	---	◎
			カメラ別設定（端子出力）	Off、On	On	◎
		コマンドアラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画＋アラーム動作	録画＋アラーム動作	◎
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
			コマンド番号別設定（録画カメラ）	Off、カメラ1、…、カメラ24	コマンド番号と同じカメラ番号（カメラのライセンス数より大きいコマンド番号はOff）	◎
			コマンド番号別設定（プリセット）	001 ～ 256、---	---	◎
			コマンド番号別設定（端子出力）	Off、On	On	◎
	高度な設定	録画動作		Off、On	On	◎
		アラームマスク時間		2秒、3秒、5秒、10秒	2秒	◎
		サイトアラーム受信ポート番号		(ポート番号)	1818	◎
		緊急録画設定	録画時間	30秒、1分、3分、5分、10分、15分、30分、Manual、Ext.	30秒	◎
			緊急録音	Off、On、On (AAC-LC)	Off	◎
		SDメモリーバックアップ		Off、On	Off	◎
		スマートコーディング（GOP制御）		Off、On (Advanced)	Off	◎
		サブストリーム録画	サブストリーム録画	Off、On	Off	◎
			フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips	10 ips	◎
			ビットレート	64 kbps、128 kbps、256 kbps、384 kbps、512 kbps、768 kbps	768 kbps (H.264(2)) 512 kbps (H.265(2))	◎
		スペシャルデー		1/1 ～ 12/31 曜日：月、火、水、木、金、土、日	--	◎
		その他の設定	プレ録画のフレームレートをイベント録画のフレームレートにする	チェック　有／無	無	◎
			基本設定、イベント録画、緊急録画のフレームレートが同じ設定のカメラに対してビットレート設定を送信しない	チェック　有／無	無	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

詳細設定

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
モニター	メインモニター	カメラタイトル	表示	Off、On	On	◎
			位置	左上、左下、右上、右下	右上	◎
			カメラタイトル	（テキスト入力）	CAM1、…、CAM24	◎
		ライブシーケンス（全画面）	動作モード	1画ライブシーケンス、4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンス、16画ライブシーケンス	1画ライブシーケンス	◎
			アスペクト比を維持する	チェック　有／無	無	◎
			切換間隔	3秒、5秒、10秒	5秒	◎
			カメラ選択	チェック　有／無	有	◎
		その他の設定	全画面表示の操作パネルに表示する画面分割ボタンの選択			◎
			1画	チェック　有／無	有、固定	◎
			4画	チェック　有／無	有	◎
			6画	チェック　有／無	無	◎
			9画	チェック　有／無	有	◎
			16画	チェック　有／無	有	◎
			24画	チェック　有／無	無	◎
			1画（サイドパネル）	チェック　有／無	無	◎
			4画（サイドパネル）	チェック　有／無	無	◎
			9画（サイドパネル）	チェック　有／無	無	◎
			12画（サイドパネル）	チェック　有／無	無	◎
			16画（サイドパネル）	チェック　有／無	無	◎
			3画（非等分割）	チェック　有／無	無	◎
			9画（非等分割）	チェック　有／無	無	◎
			16画（非等分割）	チェック　有／無	無	◎
			3画（比率混在）	チェック　有／無	無	◎
			4画（比率混在）	チェック　有／無	無	◎
			2画（縦長）	チェック　有／無	無	◎
			3画（縦長）	チェック　有／無	無	◎
			4画（縦長）	チェック　有／無	無	◎
			5画（縦長）	チェック　有／無	無	◎
			6画（縦長）	チェック　有／無	無	◎
			7画（縦長）	チェック　有／無	無	◎
			4画（T字、4:3）	チェック　有／無	無	◎
			4画（T字、16:9）	チェック　有／無	無	◎
			その他の設定			
			全画面表示時の状態表示パネルと操作パネルを自動的に隠す	チェック　有／無	無	◎
			操作画面表示でアスペクト比が16:9の画像を拡大して表示する	チェック　有／無	無	◎
			HDMI出力を以下の信号形式に固定する	チェック　有／無	無	◎
			HDMI出力を以下の信号形式に固定する	4K、1080p	4K	◎
			時短再生を有効にする	チェック　有／無	無	◎
			全画面表示でアスペクト比を維持する（ライブシーケンス時除く）	チェック　有／無	無	◎
	サブモニター	カメラタイトル	表示	Off、On	On	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
モニター	サブモニター	表示設定	動作モード	1画ライブシーケンス、4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンス、16画ライブシーケンス、アラーム端子連動、24分割画面	1画ライブシーケンス	◎
			アスペクト比を維持する	チェック　有／無	無	◎
			切換間隔	3秒、5秒、10秒	5秒	◎
			表示するカメラの選択	チェック　有／無	無	◎
			シークレットビュー	Off、On	Off	◎
	ウェブブラウザー	カメラツリーのグループ表示	グループ表示	Off、On	Off	★
			グループタイトル	（テキスト入力）	G1：Group1、…、G8：Group8	★
			グループ分け	G1、G2、G3、G4、G5、G6、G7、G8	カメラ1 ～カメラ16：G1 カメラ17 ～カメラ24：G2	★
	高度な設定	音声出力カメラ選択		表示カメラ、カメラ1、…、カメラ24	表示カメラ	◎
		サブモニター (BNC)の映像方式		NTSC、PAL	NTSC	◎
		その他の設定	サブモニター（HDMI）の電源オフを検出する	チェック　有／無	有	◎
			モニターに1画面表示する時のライブ画像をストリーム2で表示する	チェック　有／無	無	◎
ネットワーク	基本	ネットワーク設定［カメラ/PCポート］	IPアドレス	（IPアドレス）	192.168.0.250	◎
			サブネットマスク	（IPアドレス）	255.255.255.0	◎
			デフォルトゲートウェイ	（IPアドレス）	192.168.0.1	◎
			通信速度	Auto、100M-Full、100M-Half、10M-Full、10M-Half	Auto	◎
		ネットワーク設定［PCポート］	IPアドレス	（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
			サブネットマスク	（サブネットマスク）	0.0.0.0	◎
			デフォルトゲートウェイ	（カメラ/PC ポートと共通設定）	192.168.0.1	◎
			通信速度	Auto、100M-Full、100M-Half、10M-Full、10M-Half	Auto	◎
		DNS設定	DNS	Off、Manual	Off	◎
			プライマリーサーバーアドレス	（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
			セカンダリーサーバーアドレス	（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
			ドメイン名	（テキスト入力）	localdomain	◎
		DDNS設定	DDNS	Off、みえますねっと、ダイナミックDNS Update	Off	◎
			本機のURL（みえますねっと）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			サービスへのリンク（みえますねっと）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			ホスト名（ダイナミックDNS Update）	（テキスト入力）	NWDR	◎
			アクセス間隔（ダイナミックDNS Update）	10分、20分、30分、40分、50分、1時間、6時間、24時間	1時間	◎
		その他の設定	HTTPポート番号	（ポート番号）	80	◎
			FTPポート番号	（ポート番号）	21	◎
			改ざん検出コードの付与（FTP）	Off、On	Off	◎
			インターネットモード（本機→PC）	Off、On、Auto	Off	◎
			ポートフォワーディング	Off、On	On	◎
			ポート設定	（ポート番号）	60001（カメラ1）～60024（カメラ24）	◎
			IP簡単設定有効期間	20分間、無制限	20分間	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
ネットワーク	基本	その他の設定	スタティックルート	Off、On	Off	◎
			アドレス	（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
			サブネットマスク	（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
			ゲートウェイ	（IPアドレス）	0.0.0.0	◎
	メール	メール設定	SMTPサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			SMTPポート番号	（ポート番号）	25	◎
			POPサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			認証方法	なし、POP before SMTP、SMTP	なし	◎
			ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			送信元メールアドレス	（テキスト入力）	NWDR	◎
			セキュリティ	Off、SMTP over SSL、STARTTLS	Off	◎
			送信先メールアドレス（通知先）	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			送信先メールアドレス(障害)	チェック　有／無	有	◎
			送信先メールアドレス（アラーム）	チェック　有／無	有	◎
	独自アラーム	独自アラーム設定	ポート番号（本機→PC）	（ポート番号）	1818	◎
			リトライ回数	0、…、8	2	◎
			送信先アドレス（通知先）	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	NTP/SNMP	NTP設定	レコーダー時刻自動調整（NTP）	Off、On	Off	◎
			プライマリーサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			セカンダリーサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	◎
		SNMP設定	コミュニティー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			機器名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			機器の物理的位置	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			連絡先	（テキスト入力）	（空欄）	◎
ユーザー管理	基本	本体操作	オートログイン	Off、On	On	◎
			オートログインユーザー	（登録済ユーザー名から選択）	（管理者）	◎
			簡易ログイン	Off、On	Off	◎
			オートログアウト	Off、1分後、3分後、5分後、30分後	Off	◎
		ネットワーク操作	ユーザー認証	Off、On	On	◎
			ホスト認証	Off、On	Off	◎
		ユーザーレベル設定	ライブ操作（表示カメラ切換）	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：（有、固定） ビューワー　：（有、固定） ログアウト時：有	◎
			カメラ制御	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	◎
			サーチ・再生	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：有 ログアウト時：（無、固定）	◎
			コピー	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：無 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
ユーザー管理	基本	ユーザーレベル設定	アラーム復帰	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	◎
			エラー復帰	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	◎
			設定	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：無 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	◎
			カメラ画像表示	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：有 ログアウト時：有	◎
	ユーザー登録	新規ユーザー情報の登録	ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー	オペレーター	◎
			スタートモニター＊	カメラ1、…、カメラ24、4分割画面（1）、…、4分割画面（6）、9分割画面（1）、…、9分割画面（3）、16分割画面（1）、16分割画面（2）、シーケンス（全画面）、1画面（全画面）、4分割画面（全画面）、9分割画面（全画面）、16分割画面（全画面）、24分割画面（全画面）	4分割画面（1）	◎
			カメラパーティショニング	共通設定、個別設定	共通設定	◎
			カメラパーティショニング（個別設定）	表示/操作、表示、Off	表示/操作	◎
	管理者設定	管理者情報の変更	管理者名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード（再入力）	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			レベル	管理者	管理者	◎
			スタートモニター＊	カメラ1、…、カメラ24、4分割画面（1）、…、4分割画面（6）、9分割画面（1）、…、9分割画面（3）、16分割画面（1）、16分割画面（2）、シーケンス（全画面）、1画面（全画面）、4分割画面（全画面）、9分割画面（全画面）、16分割画面（全画面）、24分割画面（全画面）	4分割画面（1）	◎
	ホスト登録	新規ホスト情報の登録	ホストIPアドレス	（IPアドレス）	（空欄）	◎
			レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー	マネージャー	◎
			スタートモニター＊	カメラ1、…、カメラ24、4分割画面（1）、…、4分割画面（6）	4分割画面（1）	◎
メンテナンス	システム情報	ソフトウェアバージョン		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		ハードウェアバージョン		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		シリアル番号		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		ネットワークポート［カメラ/PCポート］	MACアドレス	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			IPアドレス	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			通信速度	（表示のみ）	（表示のみ）	◎

＊スタートモニターの設定範囲はカメラのライセンス数によって異なります。

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
メンテナンス	システム情報	ネットワークポート[PCポート]	MACアドレス	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			IPアドレス	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			通信速度	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		本体内部現在温度		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		最高温度記録		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		カメラのSDカード情報	ソフトウェア	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			SDカード品番	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			稼働時間	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			上書回数	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			バックアップ進捗情報	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		オンラインユーザー情報	ログインユーザー数	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			FTPユーザー数	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
	HDD情報	容量		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		稼働時間		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		ステータス		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		録画画像の日時範囲		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		録画期間グループ		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		推定上書き周期		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		HDD残容量	残容量	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD残容量通知	Off、1%、2%、3%、4%、5%、6%、7%、8%、9%、10%	Off	◎
		HDDメンテナンス	HDDビューワー用パスワード設定	Off、On	Off	◎
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			パスワード確認	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			HDDビューワーの保存（USBメディアへ）	（なし）	（なし）	
			HDDビューワーダウンロード	（なし）	（なし）	★
			HDDのフォーマット	（HDD番号）	（HDD番号）	◎
			HDDの取り外し	（HDD番号）	（HDD番号）	◎
	システム管理	システム設定	障害出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	◎
			障害ブザー鳴動時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	◎
			HDD稼働時間警告	Off、10000時間、20000時間、30000時間、40000時間、50000時間	20000時間	◎
			データ自動消去	Off、1日、…、10日、14日、30日、45日、60日、90日、120日、150日、180日、184日	Off	◎
			カメラ時刻自動同期	Off、On	On	◎
		ログ情報	アクセスログ（発生日時、内容）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			操作ログ（発生日時、内容）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			ネットワークログ（発生日時、内容）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		キー管理システム入力情報	機器ID番号	（なし）	（機器固有番号）	◎
			起動ID番号	（なし）	起動情報案内カードに記載	
			暗号ID番号	（なし）	起動情報案内カードに記載	
		ライセンス登録	本機−解除キー番号	（テキスト入力）	（空欄）	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
メンテナンス	システム管理	カメラ拡張	解除キー番号1	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			解除キー番号2	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			解除キー番号3	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			解除キー番号4	（テキスト入力）	（空欄）	◎
		ビジネスインテリジェンス拡張	解除キー番号	（テキスト入力）	（空欄）	◎
		販売店・連絡先情報		（テキスト入力）	（空欄）	◎
		セキュア拡張	解除キー番号1 ～ 24	（テキスト入力）	（空欄）	◎
			総ライセンス数	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		保守・サービス用機能	設定データの保存（USBメディアへ）	（なし）	（なし）	◎
			設定データの読み込み（USBメディアから）	（なし）	（なし）	
			ソフトウェアの更新	（なし）	（なし）	◎
			設定の初期化	（なし）	（なし）	◎
			メンテナンス用データの保存（USBメディアへ）	（なし）	（なし）	
			カメラの日時を本機に合わせる	（なし）	（なし）	◎
			本機の設定情報に合わせてカメラを再設定する	（なし）	（なし）	◎
			SDメモリーバックアップのデータを取得する	（なし）	（なし）	◎
			本機を再起動する	（なし）	（なし）	◎
			基板交換モードで本機を起動する	シングルモード、ミラーリングモード	（なし）	◎
			最高温度記録情報をクリアする	（なし）	（なし）	◎
			ネットワーク送受信速度を測定する	（なし）	（なし）	◎
			端子出力のテスト（対象）	時刻合わせ出力端子、ネットワーク異常出力端子、カメラ異常出力端子、HDD異常/録画異常出力端子、機器異常出力端子、顔照合出力端子、アラーム出力端子	時刻合わせ出力端子	◎
			端子出力のテスト（テスト出力時間）	2秒、5秒、10秒	2秒	◎
HDD管理	全般	HDD情報	容量	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			稼働時間	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			ステータス	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			録画画像の日時範囲	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		HDDのフォーマット	HDD情報（容量）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（稼働時間）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（ステータス）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（フォーマット）	チェック　有／無	無	◎
			HDD情報（結果）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		HDDの取り外し	HDD情報（容量）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（稼働時間）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（ステータス）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（取り外し）	チェック　有／無	無	◎
			HDD情報（結果）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
HDD管理	全般	HDDの組み込み	HDD情報（容量）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（稼働時間）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（ステータス）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（組み込み）	チェック　有／無	有	◎
			HDD情報（結果）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
		HDD運用モードの変更	HDD情報（容量）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（稼働時間）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（ステータス）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD情報（結果）	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
			HDD運用モード	シングルモード、ミラーリングモード	ミラーリングモード	◎
拡張機能	セキュリティ	本機とPC間のセキュリティ	接続方法	HTTP & HTTPS、HTTPS	HTTP & HTTPS	◎
			HTTPSポート番号	（ポート番号）	443	◎
		本機とカメラ間のセキュリティ＊	接続方法	HTTP、HTTPS	HTTP	◎
			ポート番号	（ポート番号）	443	◎
			データ暗号設定	Off、On	Off	◎
	ビジネスインテリジェンス	顔照合	顔照合アラーム	Off、On	カメラ1：Off、 カメラ2：Off	◎
			顔照合出力	Off、On	カメラ1：On、 カメラ2：On	◎
			使用形態	専有、共有	カメラ1：専有、 カメラ2：専有	◎
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
		統計	統計処理	Off、On	カメラ1：Off、 カメラ2：Off	◎
			使用形態	専有、共有	カメラ1：専有、 カメラ2：専有	◎
		顔登録	顔照合登録リスト－照合感度	1(低)、2、3、4、5(高)	3	
			顔照合登録リスト－顔画像	（なし）	（なし）	
			顔照合登録リスト－登場日時	（なし）	（なし）	
			顔照合登録リスト－名称	（テキスト入力）	"Person01"、…、 "Person100"	
			顔照合登録リスト－照合	する、しない	しない	

＊セキュア拡張キット（別売り）のライセンス登録時。

エラー履歴・ネットワークログについて

エラー履歴について

ここでは、メインモニターの状態表示パネルの表示と、障害発生の履歴（エラー履歴）の表示およびその内容について説明します。
エラー履歴の表示は、障害履歴（メインモニター）とエラーログ（ウェブブラウザー）で共通です。

- 「y」はHDDの番号を表します。
- 「f」はFANの番号を示します。
- 「cc」はカメラ番号を示します。

エラーの内容	状態表示パネル表示	障害履歴/エラーログ	後面端子出力
温度異常警告	温度異常：MAIN	温度異常：MAIN	機器異常
FAN警告	ファン異常：MAIN f	ファン異常：MAIN f	機器異常
NWカメラ障害検出	通信エラー：カメラcc	通信エラー：カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害復旧	–	通信復旧：カメラcc	–
NWカメラ障害検出（音声）	音声通信エラー：カメラcc	音声通信エラー：カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害復旧（音声）	–	音声通信復旧：カメラcc	–
Videoロス （エンコーダーのカメラ接続断の通知）	ビデオロス：カメラcc	ビデオロス：カメラcc	カメラ異常
Videoロス復旧 （エンコーダーのカメラ接続断の通知）	–	ビデオ復旧：カメラcc	–
録画異常検出	録画異常	録画異常（RCA） 録画異常（AGT）：カメラcc 録画異常（WCT）：カメラcc	HDD異常／ 録画異常出力
SMART警告	SMART警告：MAIN- y	SMART警告：MAIN- y	HDD異常／ 録画異常出力
HDD応答遅延警告	応答遅延：MAIN- y	応答遅延：MAIN- y	HDD異常／ 録画異常出力
HDDアワーメーター警告	HDD稼動時間警告：MAIN- y	HDD稼動時間警告：MAIN- y	HDD異常／ 録画異常出力
HDDスキップ※	–	HDD書き込み先変更：MAIN- y	–
HDDライトエラー	–	書き込みエラー：MAIN- y	–
HDDリードエラー	–	読み込みエラー：MAIN- y	–
HDD自動リンク外し（HDD単位）	HDD故障：MAIN- y	HDD故障：MAIN- y	HDD異常／ 録画異常出力
HDDフォーマット失敗	フォーマット失敗：MAIN- y	フォーマット失敗：MAIN- y	HDD異常／ 録画異常出力
HDD取出エラー （正常認識HDDを正常操作なしで取り外し）	HDD取り外し警告：MAIN- y	HDD取り外し警告：MAIN- y	HDD異常／ 録画異常出力
再起動（CPU関連）	–	システム再起動（CPU関連）	–
再起動（DEC関連）	–	システム再起動（DEC関連）	–
コピーメディアライトエラー	コピー失敗	書き込みエラー：USB 書き込みエラー：DVD	–
コピーメディアリードエラー	–	読み込みエラー：USB 読み込みエラー：DVD	–
コピーメディアフル	–	残容量無し：USB 残容量無し：DVD	–

エラー履歴・ネットワークログについて（つづき）

エラーの内容	状態表示パネル表示	障害履歴/エラーログ	後面端子出力
コピーメディアのデータ件数超過	–	データ件数超過：USB データ件数超過：DVD	–
NWリンク外れエラー	NWリンクエラー	NWリンクエラー： カメラ/PCポート NWリンクエラー： PCポート	NW異常
通信速度警告（Auto設定時にHalfになったとき）	NW通信速度警告	NW通信速度警告： カメラ/PCポート NW通信速度警告： PCポート	–
NTPサーバーとの時差が1000秒以上のため時刻を合わせなかったとき	NTP日時調整失敗	NTP日時調整失敗	–
DNSから独自通知先解決できず	–	独自アラーム アドレス解決エラー	NW異常
独自通知先応答なし	–	独自アラーム 応答なし	NW異常
独自通知先その他のエラー	–	独自アラーム その他の エラー	NW異常
DNSからみえますねっと アドレス解決できず	–	みえますねっと アドレス解決エラー	NW異常
みえますねっと 応答なし	–	みえますねっと 応答なし	NW異常
みえますねっと その他のエラー	–	みえますねっと その他のエラー	NW異常
ミラーリング復旧開始	–	ミラー復旧開始	–
ミラーリング復旧完了	–	ミラー復旧完了	–
サブモニター未検出	サブモニター未検出	サブモニター未検出	–
カメラSD カードエラー	バックアップエラー： カメラcc	[SD]カード使用不可： カメラcc	カメラ異常
カメラSD 書き込み開始要求失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD]開始エラー： カメラcc	カメラ異常
カメラSD 書き込み終了要求失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD]終了エラー： カメラcc	カメラ異常
カメラSD リスト要求失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD]リスト取得エラー： カメラcc	カメラ異常
カメラSD 画像取得失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD]画像取得エラー： カメラcc	カメラ異常
カメラSD 画像削除失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD]画像削除エラー： カメラcc	カメラ異常
カメラSD 累積録画時間警告	SDカード長期使用警告： カメラcc	[SD]長期使用警告： カメラcc	カメラ異常
カメラSD 上書回数警告	SDカード上書回数警告： カメラcc	[SD]上書回数警告： カメラcc	カメラ異常
カメラSD アクセスエラー	SDカードアクセス警告： カメラcc	[SD]アクセス警告： カメラcc	カメラ異常
カメラのハードウェアエラー	ハードウェアエラー： カメラcc	ハードウェアエラー： カメラcc	カメラ異常
ワイパーゴム交換目安通知	ワイパーゴム交換時期： カメラcc	ワイパーゴム交換時期： カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害検出（映像）	映像通信エラー：カメラcc	映像通信エラー：カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害復旧（映像）	–	映像通信復旧：カメラcc	–
HDD残容量通知	–	HDD残容量：1% ～ HDD残容量：10%	–

※HDDスキップとは、HDDへの書き込みエラーなどが発生したときに、別のHDDに録画を継続する機能です。

ネットワークログについて

ここでは設定画面の［メンテナンス］–［システム管理］–［ネットワークログ］に表示される本機のネットワークに関する履歴表示とその内容について説明します。
表示内容はウェブブラウザーと共通です。

内容	ネットワークログ	後面端子出力
電子メール送信	<SMTP>MAIL_SEND	ー
SMTP認証エラー	<SMTP>SMTP_ATTEST_ERR	NW異常
POP3認証エラー	<SMTP>POP3_ATTEST_ERR	NW異常
DNSからPOP3サーバーアドレス解決できず	<SMTP>POP3_ADD_ERR	NW異常
POP3サーバー見つからず	<SMTP>POP3_SVR_ERR	NW異常
DNSからSMTPサーバーアドレス解決できず	<SMTP>SMTP_ADD_ERR	NW異常
SMTPサーバー見つからず	<SMTP>SMTP_SVR_ERR	NW異常
MAIL FROMコマンドエラー	<SMTP>MAIL_FROM_ERR	NW異常
RCPT TOコマンドエラー	<SMTP>RCPT_TO_ERR	NW異常
SMTPサーバーその他のエラー	<SMTP>OTHER_ERR	NW異常
FTPサーバー転送成功	<FTP>SVR_FWD_OK	ー
FTPその他エラー	<FTP>OTHER_ERR	NW異常
NTPサーバーの時刻への同期成功	<NTP>GET_TIME_OK	ー
DNSからNTPサーバーアドレス解決できず	<NTP>SVR_ADD_ERR	NW異常
NTP取得時刻異常（時計が同期していない）	<NTP>TIME_INVALID	NW異常
時刻設定失敗	<NTP>SET_TIME_ERR	NW異常
NTPサーバー見つからず	<NTP>SVR_ERR	NW異常
NTPその他のエラー	<NTP>OTHER_ERR	NW異常
SNMPユーザー名パスワードエラー	<SNMP>USER_PASS_ERR	NW異常
SNMPオブジェクト取得失敗	<SNMP>OBJ_ERR	NW異常
SNMPその他のエラー	<SNMP>OTHER_ERR	NW異常
HTTP ユーザー名パスワードエラー	<HTTP>USER_PASS_ERR	NW異常
HTTP ダウンロード失敗	<HTTP>DOWNLOAD_ERR	NW異常
HTTP 要求無効	<HTTP>REQUEST_ERR	NW異常
HTTP その他のエラー	<HTTP>OTHER_ERR	NW異常

運用画面について

ここでは、本機のマウス接続ポートに接続したマウス（付属品）から本機の操作を行う場合について説明します。
PCのウェブブラウザーから行う場合は、「ネットワーク操作」（☞160ページ）以降をお読みください。

メインモニター（ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです）

メインモニターは、操作画面表示と全画面表示の2種類の表示を切り換えて使用します。

操作画面表示

起動後は本画面が表示されます。本機の主な操作はこの画面で行います。

①画像表示部
カメラ画像を表示します（☞111ページ）。

②状態表示パネル
本機の状態を表示します。アラームやエラーの発生状態や対処操作も行います（☞106ページ）。

③操作パネル、日時操作パネル、カメラコントロールパネル
画像の切り換え、録画再生、カメラ操作などを行います。
現在の日付と時刻を表示します。

④［全画面表示］ボタン
メインモニターの表示を全画面表示に切り換えます。

運用画面について（つづき）

全画面表示

画像表示部が大きく、ライブ画像表示に特化した画面です。操作は限定されます。

①画像表示部
カメラ画像を表示します（☞111ページ）。

②状態表示パネル
本機の状態を表示します。アラームやエラーの発生状態や対処操作も行います（☞106ページ）。
アラームボタン、エラーボタンのクリック時には、操作パネルに重ねて表示される場合があります。

③操作パネル
画像の切り換えや画面分割の切り換え、録画再生などを行います。
現在の日付と時刻を表示します。

④［操作画面表示］ボタン
メインモニターの表示を操作画面表示に切り換えます。

画像表示部について

ライブ画像や再生画像を表示します。

運用画面について（つづき）

カメラタイトル・日時表示
設定したカメラタイトルを表示します。表示位置は左上・左下・右上・右下から選ぶことができます（初期設定：右上）。日時はカメラ側の設定により表示されます。全画面でズーム表示中はカメラタイトル付近にズーム倍率も表示されます。

カメラ選択枠
操作対象のカメラを表します。1画面表示／ 4画面表示（☞117、118ページ）のときは、マウス操作でカメラを操作できます。

画像表示部
操作画面表示と全画面表示では、多画面表示の画面数が異なります。

メモ
- 全画面表示の画面分割ボタンは表示／非表示を設定することができます。詳細は、「メインモニターの設定を行う」（☞52ページ）をお読みください。

ログインユーザーごとに、画面表示部へ最初に表示する画面（スタートモニター）を設定できます。
選択できる画面は以下です。スタートモニターの設定については、68ページをお読みください。

カメラ１、…、カメラ24	：各カメラの１画面表示
4分割画面（1）	：カメラ1 ～ 4の4画面表示
⋮	
4分割画面（6）	：カメラ21 ～ 24の4画面表示
9分割画面（1）	：カメラ1 ～ 9の9画面表示
⋮	
9分割画面（3）	：カメラ19 ～ 24の9画面表示
16分割画面（1）	：カメラ1 ～ 16の16画面表示
16分割画面（2）	：カメラ17 ～ 24の16画面表示
シーケンス（全画面）	：全画面のライブシーケンス表示
1画面（全画面）	：全画面の1画面表示
4分割画面（全画面）	：全画面の4画面表示
9分割画面（全画面）	：全画面の9画面表示
16分割画面（全画面）	：全画面の16画面表示
24分割画面（全画面）	：全画面の24画面表示

メモ
- スタートモニターで「カメラ1」～「カメラ24」、「4分割画面（1）」～「4分割画面（6）」以外が設定されている場合、PCのウェブブラウザーのスタートモニターは、自動的にカメラ1～4の4画面表示となります。

運用画面について（つづき）

状態表示パネルについて

通常時

アラーム・エラー発生時（各種ボタン表示時）

①状態表示部

本機の状態を以下の内容で表示します。複数の状態が重なったときは、優先順位によって表示します。優先順位が同じ状態では、後から発生した状態を表示します。

状態	内容	表示例	優先順位
ライブ中	ライブ画像を表示しています。	ライブ中	6（低）
再生中	録画画像を再生しています。	再生モード	6
SDメモリーデータ取得中	カメラからSDメモリーデータを取得しています。	SDメモリーデータ取得中	4
コピー中	データのコピーをしています。進行度合いを%で表示します。	コピー中：20.0%	3
DVDファイナライズ中※	DVDを取り出すためにファイナライズしています。	DVDファイナライズ中	3
USBフォーマット中	USBメディアをフォーマットしています。	USBフォーマット中	3
HDD自動フォーマット中	HDDを自動フォーマットしています。	HDD自動フォーマット中	3
HDD認識中	HDDを識別しています。	HDD認識中	3
アラーム発生中	アラームが発生しています。アラーム内容を表示します。	端子アラーム：1	2
緊急録画中	緊急録画を行っています。	緊急録画	2
エラー発生中	エラーが発生しています。エラー内容を表示します。	HDD故障：HDD1	1
サムネイル表示中	サムネイルサーチ画面を表示しています。	サムネイル表示中	0（高）

※DVDドライブ搭載モデルのみ

②アラームボタン

アラームの発生状況を示します。アラーム発生時は赤くなります。ボタンをクリックして、アラーム履歴表示ボタン、アラーム復帰ボタンなどの表示／非表示を切り換えます。

③エラーボタン

エラーの発生状況を表示します。エラー発生時は黄色になります。ボタンをクリックして、エラー履歴表示ボタン、エラー復帰ボタンの表示／非表示を切り換えます。

運用画面について（つづき）

④アラーム履歴表示ボタン
操作画面表示の操作パネルにアラーム履歴を表示します。アラーム履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると、古い履歴から上書きされます。

⑤アラーム復帰ボタン
アラーム動作を解除します。また、緊急録画設定の「録画時間」設定が「Ext.」に設定されている場合は、緊急録画を停止します。アラーム発生時および緊急録画時のみクリックすることができます。

⑥エラー履歴表示ボタン
操作画面表示の操作パネルにエラー（障害）履歴を表示します。エラー履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると、古い履歴から上書きされます。

⑦エラー復帰ボタン
エラー（障害）動作を解除します。エラー発生時のみクリックすることができます。

運用画面について（つづき）

サブモニター（ライブ画像のみを表示するモニターです）

重要

- サブモニターからは、本機の設定や操作はできません。

サブモニターには、あらかじめ設定したカメラのライブ画像を1画面、4画面、9画面、16画面、24画面で表示することができます。1画面、4画面、9画面、16画面では表示カメラに複数のカメラを設定していると、あらかじめ設定した切換間隔でカメラ画像を順次切り換えて表示します（シーケンス表示）。また、端子アラームの信号入力でカメラ画像を切り換えることができます。（☞55ページ）

メモ

- カメラ画像内の日時や文字表示はサブモニターにも表示されますが、一部が欠ける場合があります。
- 画像を表示するためには、設定メニューであらかじめ表示するカメラを選択しておく必要があります。初期設定のままではカメラ画像は表示されません。
- 切り換わるタイミングによって、カメラ画像が表示される前に黒画が表示されることがあります。
- シークレットビュー機能が設定されている場合、メインモニターで1画面表示しているカメラ画像または多画面表示時に選択しているカメラ画像は表示されません。
- 1画ライブシーケンス動作時は、シークレットビューの画像はスキップ（非表示）されます。
- 9画/16画ライブシーケンス動作時は、カメラ画像が切り換わるタイミングに黒画が表示されます。
- カメラ異常が発生しているカメラの画像は表示されません。
- 初期設定では、画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。サブモニター（BNC）のアスペクト比が4:3の場合は、サブモニター（HDMI）の表示に比べて縦長に表示されます。
- 再エンコード配信の有無によって、サブモニターのカメラ画像のフレームレートが変化したり、一瞬黒画が表示されたりします。

基本的な操作のしかた

本機の操作は、本機に接続したマウスを使ってメインモニター上に表示されるマウスカーソルを移動させ、画面上のボタンやタブを左クリックして行います。（以降、本書では左クリックをクリックと表記します。）

［▲］／［▼］ボタンのある設定欄では、カーソルの位置の値をマウスホイールで変更できます。例えば、時刻の設定では、時、分、秒の単位で変更します。

マウスカーソルの形状は、表示画面やマウス操作によって以下のようになります。

：通常時

：カメラ番号パネルのドラッグ時（全画面表示）

メモ

- 10秒間、何も操作しないとマウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。
- マウス接続ポートはコネクターを差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクターの向きを確認してください。

ログアウトする

［ログアウト］ボタンをクリックします。表示された確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、ログアウトします。

メモ

- 「オートログイン」の設定（☞65ページ）が「On」の場合、ログアウトしたあとは「オートログインユーザー」に設定しているユーザーで自動的にログインします。

起動時のログイン操作について

「オートログイン」の設定（☞65ページ）が「Off」の場合、システムチェック終了後、本機はログアウトした状態で起動します。
メインモニターに操作画面が表示されたら、以下の手順でユーザー名とパスワードを入力します。

STEP1

操作画面上の［ログイン］ボタンをクリックします。
→ログイン画面が表示されます。

STEP2

ユーザー名とパスワードを入力します。入力のしかたは「ソフトキーボードを使って文字を入力する」（☞取扱説明書　設置編　11ページ）をお読みください。

- ユーザー登録のしかたは、67ページをお読みください。

メモ

- 「簡易ログイン」の設定が「On」の場合はユーザー名をプルダウンリストから選択します。入力したパスワードは「＊」で表示されます。
- ログアウト時、または、管理者/マネージャー権限以外のユーザーがログイン中は、許可されている操作以外の操作をしようとした場合、ログイン画面が表示されます。

STEP3

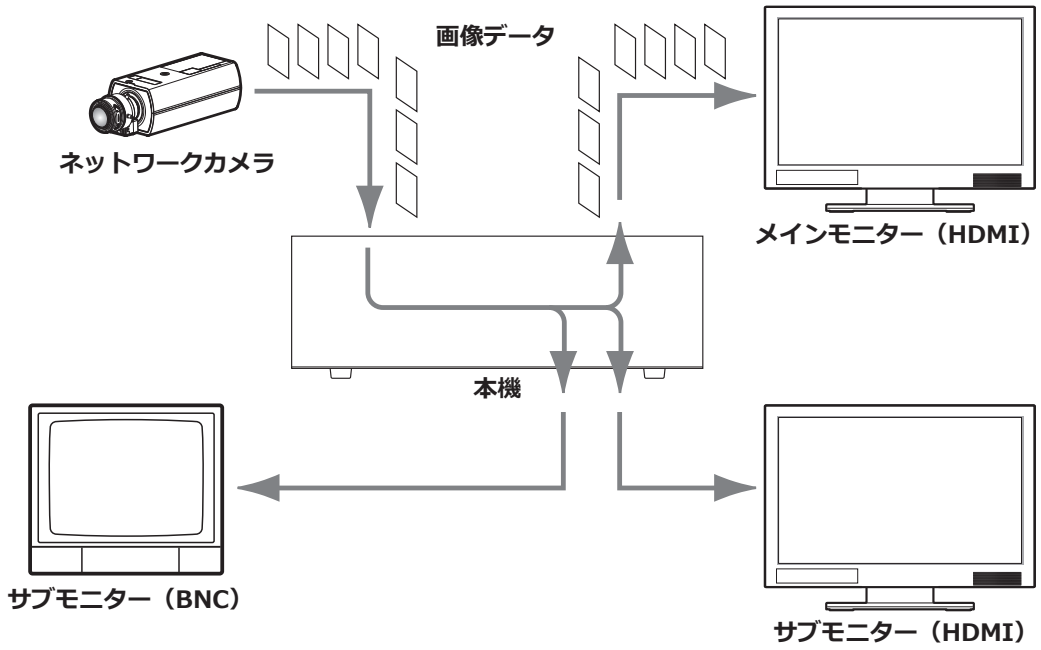
［OK］ボタンをクリックします。
→入力したユーザー名、パスワードが正しいと、ログイン画面が消え、ログインボタンがログアウトボタンに変わります。入力したユーザー名、パスワードが間違っていると、エラー画面が表示されます。エラー画面を閉じて再度ログインしてください。

メモ

- お買い上げ時は管理者が登録されていません。初回起動時にはメインモニターに「管理者登録」画面が表示されますので、画面に従って管理者名、パスワード、およびパスワード確認を入力し、［登録］ボタンをクリックしください。
- セキュリティを確保するために、管理者名およびパスワードは定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、67ページをお読みください。
- ログアウトするときは、操作画面上の［ログアウト］ボタンをクリックします。
- コピー動作中にログアウトすると、コピーを中止します（ウェブブラウザーの場合は、画面を閉じてから中止まで90秒程度かかります）。なお、オートログアウトはコピー終了後から設定した時間経過後に実行されます。
- ログアウト状態のときの画像表示について
  オートログインOffで起動した直後は、4分割画面（1）を表示します。
  ログイン中からログアウト操作をしたときは、ログアウト直前の画面を継続表示します。
  （どのカメラ画像表示を許可するかはユーザーレベルの設定に従います。）
- 「オートログイン」が「On」の場合は、本ページの操作は不要です。

カメラのライブ画像を見る

本機を起動すると、設定された内容に従ってカメラのライブ画像がモニターに表示されます。
カメラ画像は本機を経由してライブ表示します。



ライブ画像はメインモニターに1画面または多画面で表示することができます。また、サブモニターは設定によって、自動的にカメラを切り換えて1画面または多画面で表示することができます。（☞55ページ）
録画設定で「録音」を「On」に設定しているカメラ（☞44ページ）の画像を表示しているときはそのカメラの音声がメインモニターで出力されます。多画面で表示しているときは選択しているカメラの音声が出力されます。

メモ

- ご使用のカメラやネットワーク環境によっては、カメラのライブ音声が遅延することがありますが、再生画像の音声には影響ありません。
- ライブ画像と音声を同期させるため音声データの更新処理を行っています。
  この処理によりカメラのライブ音声が一瞬途切れますが、再生画像の音声には影響ありません。

操作パネルについて

ライブ画像の操作は、操作画面表示時と全画面表示時で操作方法や表示が異なります。

操作画面表示　操作パネル

カメラのライブ画像を見る（つづき）

画面分割ボタン
1画面ボタン／ 4画面ボタン／ 9画面ボタン／ 16画面ボタンを表示します。

デジタルズームボタン
1画面または4画面で表示しているとき、画像を拡大／縮小表示することができます。（☞119ページ）

ミュートボタン
クリックするたびに、カメラの音声をミュート⇔ミュート解除と切り換えます。

魚眼画像補正表示ボタン
魚眼表示ボタン
　魚眼画像の表示に戻します。
1画PTZ表示ボタン
　魚眼画像を1画PTZに補正して表示します。
4画PTZ表示ボタン
　魚眼画像を4画PTZに補正して表示します。
操作画面表示の映像表示部にカメラ画像が1画面で表示中のみ魚眼画像補正表示ボタンが表示されます。

カメラ番号タブ
：表示するカメラ番号パネルを切り換えます。
1-16：カメラ1 ～ 16のパネルを表示します
17-24：カメラ17 ～ 24のパネルを表示します
1-24：カメラ1 ～ 24のパネルを表示します

カメラ番号パネル
カメラ番号
：（文字色）
　白色　：カメラ登録済み
　グレー：カメラ未登録
（背景色）
　水色　：画像表示部に画像表示中
　青色　：カメラ登録済み、画像非表示
　グレー：録画不可またはカメラ未登録
カメラタイトル
：あらかじめ設定されたカメラタイトルの先頭から8文字を表示します。
（文字色）
　カメラ番号と同じ
（背景色）
　赤色　：イベント録画中
　黒色　：カメラ未登録

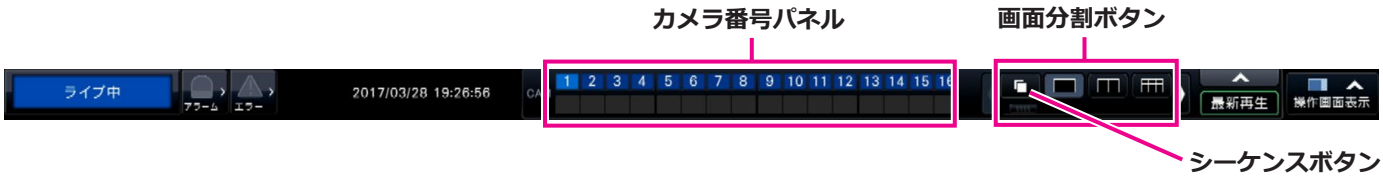
録画ランプ
：録画中は赤く点灯します。接続エラーの場合は、 が表示されます。

メモ
- カメラ番号タブ「1-24」の場合、カメラ番号は表示せず、カメラタイトルと録画ランプのみの表示に変わります。

カメラタイトル
：あらかじめ設定されたカメラタイトルの先頭から5文字を表示します。
（文字色）
　白色　：カメラ登録済み
　グレー：カメラ未登録
（背景色）
　水色　：画像表示部に画像表示中
　青色　：カメラ登録済み、画像非表示
　グレー：録画不可またはカメラ未登録
　赤色　：イベント録画中

カメラのライブ画像を見る（つづき）

全画面表示　操作パネル



カメラ番号パネル

カメラ番号［CAM］
：（文字色）
白色　：カメラ登録済み
グレー：カメラ未登録
（背景色）
水色　：画像表示部に画像表示中
青色　：カメラ登録済み、画像非表示
グレー：録画不可またはカメラ未登録
赤色　：イベント録画中

画面分割ボタン

メモ

- 操作パネルに表示する画面分割ボタンを追加・削除することができます。この設定については「モニターの設定を行う」（☞53ページ）をお読みください。
- 画面分割ボタンを5つ以上表示する場合は、左右のボタンやスライダーで表示する画面分割ボタンの表示を切り換えることができます。

シーケンスボタン

：シーケンスボタンをクリックするとシーケンスを開始します。シーケンスボタンを除くいずれかの画面分割ボタンをクリックするとシーケンスは終了します。

メモ

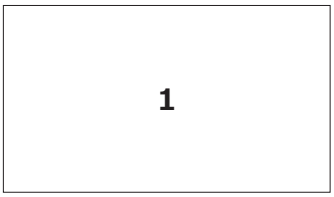
- シーケンス中は、カメラ番号パネルをライブ画像上にドラッグ＆ドロップしてもカメラ画像を切り換えることができません。
- シーケンス中は音声が出力されません。（［モニター］－［高度な設定］の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定している場合は音声が出力されます）
- 再生中はシーケンスを開始することができません。
- 「ユーザー管理＞ユーザー登録」および「ユーザー管理＞管理者設定」の「スタートモニター」で「シーケンス（全画面）」を設定すると、ログイン後にシーケンスが開始されます。
- 9画/16画ライブシーケンス（4K出力時は4/9/16画ライブシーケンス）は、カメラ画像が切り換わるタイミングに黒画が表示されます。
- サブモニターを使用する場合は、圧縮方式がJPEG（全方位カメラの4ストリームモードはH.264/H.265も）、解像度が0.4M（640×640）より高い解像度に設定されているカメラは、9画ライブシーケンスと16画ライブシーケンスでカメラ画像を表示することができません。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

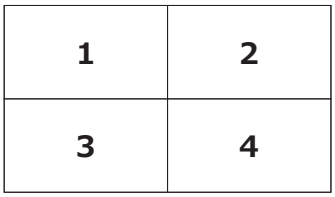
全画面表示のカメラ表示位置を変更する

初期設定では以下のように、カメラが割り当てられています。

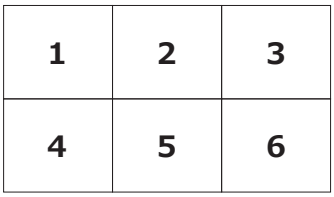
1画面（16:9）



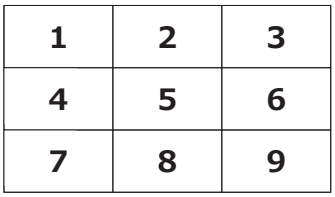
4画面（16:9）



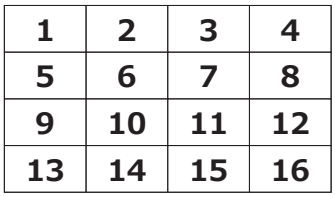
6画面（4:3）



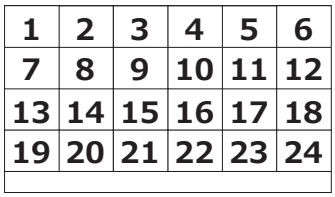
9画面（16:9）



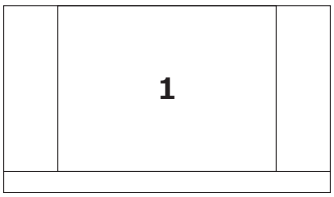
16画面（16:9）



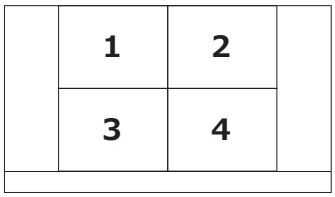
24画面（4:3）



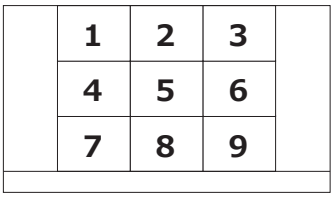
1画面（4:3）



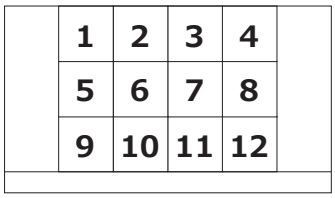
4画面（4:3）



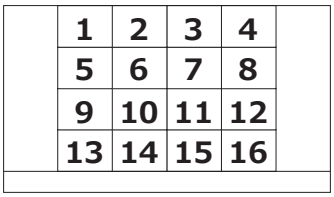
9画面（4:3）



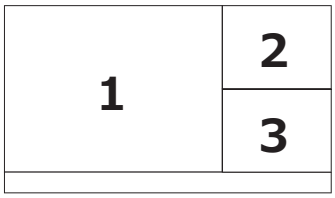
12画面（4:3）



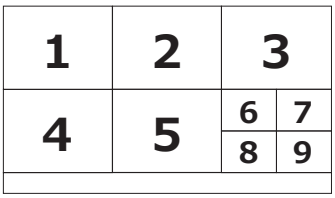
16画面（4:3）



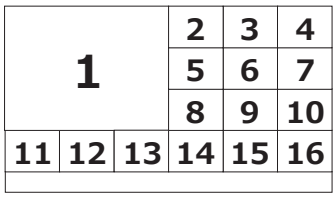
3画面（4:3）



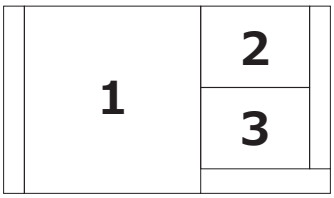
9画面（4:3）



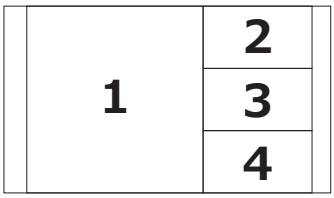
16画面（4:3）



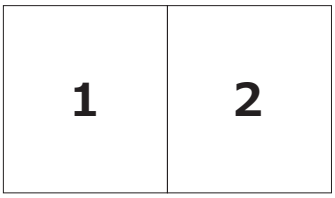
3画面



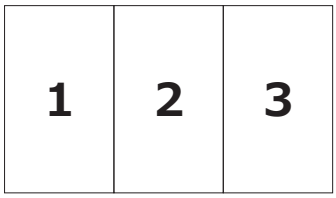
4画面



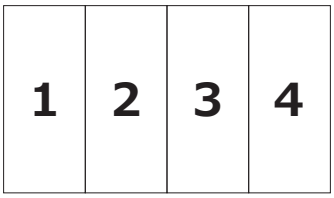
2画面



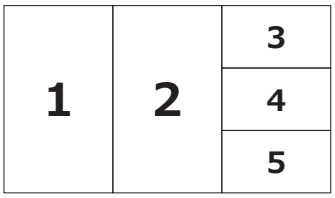
3画面



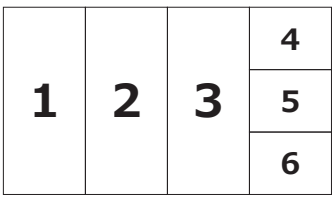
4画面



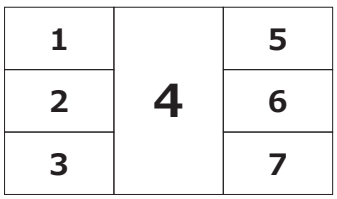
5画面



6画面



7画面



カメラ番号パネルを画像表示部の表示したい位置にドラッグ＆ドロップすると、カメラ表示位置を入れ換えることができます。画像上で右クリックして表示されるメニューでもカメラ表示位置を入れ換えることができます。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

メモ

- すでに割り当てられているカメラを他の表示位置に割り当てると、もともと割り当てられていた位置のカメラは非表示になります。
- 割り当てたカメラ位置は電源を切ったり、再起動したりしても記憶されています（設定の初期化を行うと、カメラ位置の情報も初期化されます）。
- 画面左上のカメラの音声が出力されます。
- 操作画面表示でミュートが選択されていると、音声は出力されません。
- 元画像のアスペクト比が4:3または16:9の場合は、画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。
- 接続モニターの対応解像度、または、登録カメラの圧縮方式や解像度の設定によっては、多画面で表示できないことがあります。

【4Kモニター接続、H.264/H.265、サブモニター表示無し、再エンコード配信無し】

解像度 / 多画面表示	HVGAW (640×360) ～ FHD (1920×1080)	QXGA (2048×1536) ～ 4KUHD (3840×2160)	9M (2992×2992)	12M (4000×3000)
1画～ 4画表示	○	○	○	○
5画/6画表示	○	○	○	×
7画表示/4画シーケンス	○	○	×	×
9画～ 16画表示	○	×	×	×
24画表示	○	○	○	○

【4K/1080pモニター接続、JPEG、サブモニター表示無し、再エンコード配信無し】

解像度 / 多画面表示	SVGA (800×600) ～ SXVGA (1280×960)	1.6M (1280×1280)	QXGA (2048×1536) ～ 9M (2992×2992)	12M (4000×3000)
1画～ 4画表示	○	○	○	○
4画シーケンス、5画～ 7画表示	○	○	○	×
9画～ 16画表示	○	○	×	×
24画表示	○	×	×	×

【4K/1080pモニター接続、JPEG、サブモニター表示または再エンコード配信有り】

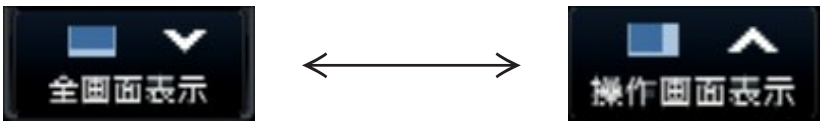
解像度 / 多画面表示	SVGA (800×600) ～ SXVGA (1280×960)	1.6M (1280×1280)	QXGA (2048×1536) ～ 9M (2992×2992)	12M (4000×3000)
1画/2画表示	○	○	○	○
3画/4画表示	○	○	○	×
4画シーケンス、5画表示～ 24画表示	○	×	×	×

カメラのライブ画像を見る（つづき）

操作画面表示と全画面表示を切り換える

カメラ画像を画面全体に表示します。

操作画面表示の全画面表示ボタン　　全画面表示の操作画面表示ボタン



STEP1

操作画面で［全画面表示］ボタン（☞103ページ）をクリックします。
→カメラ画像が画面全体に表示されます。初期設定では1画面が表示されます。

STEP2

全画面表示から操作画面表示に戻すには、［操作画面表示］ボタンをクリックします。
→操作画面表示に戻ります。画像表示部はログインユーザーのスタートモニター設定に従います。スタートモニター設定が全画面の場合は、4分割画面（1）になります。

メモ

- 再度、［全画面表示］ボタンをクリックすると、前回表示していた画面分割で表示します。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

1画面で表示する

カメラ画像を1画面で表示します。

操作画面で表示中

STEP1

多画面で表示中は、画面分割の1画面ボタンをクリックします。
→画像表示部が1画面で表示されます。

STEP2

表示したいカメラ画像のカメラ番号パネルをクリックします。
→選択したカメラ番号の背景色が水色に変わり、ライブ画像が表示されます。

操作画面表示のカメラ番号パネル

表示したいカメラがカメラ番号パネルに表示されていない場合は、カメラ番号タブで選択してからSTEP2を実施してください。

メモ

- 画像表示部で選択中のカメラのカメラ番号パネルをダブルクリックして、1画面表示することもできます。
- 多画面表示の画像表示部でカメラ選択枠をダブルクリックして1画面表示することもできます。
- 表示中のカメラの音声が出力されます。（[モニター] – [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）
- 初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については53ページをお読みください。

全画面で表示中

STEP1

多画面で表示中は、画面分割の1画面ボタンをクリックします。
→画像表示部が1画面で表示されます。

STEP2

表示したいカメラ画像のカメラ番号パネルをドラッグして、ライブ画像上にドロップします。
→選択したカメラ番号の背景色が水色に変わり、ライブ画像が表示されます。

全画面表示のカメラ番号パネル

メモ

- 画像表示部で右クリックして表示されるメニューでカメラを選択することもできます。
- 表示中のカメラの音声が出力されます。（[モニター] – [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）

カメラのライブ画像を見る（つづき）

多画面で表示する

カメラ画像を多画面分割して表示します。

操作画面で表示中

STEP1

画面分割ボタンのいずれかをクリックします。
→ライブ画像が多画面で表示されます。

操作画面表示の画面分割ボタン

- 4画面ボタン
  選択中のカメラを含む4画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、カメラ1 ～ 4→カメラ5 ～ 8→カメラ9 ～ 12→カメラ13 ～ 16のように、4画面ずつ切り換えて表示します。
- 9画面ボタン
  選択中のカメラを含む9画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、カメラ1 ～ 9→カメラ10 ～ 18→カメラ19 ～ 24のように9画面ずつ切り換えて表示します。
- 16画面ボタン
  選択中のカメラを含む16画面で表示します。ボタンをクリックするたびにカメラ1 ～ 16→カメラ17 ～ 24→カメラ1 ～ 16のように16画面ずつ切り換えて表示します。

メモ

- 多画面表示から1画面表示に切り換えた場合、画像表示部をダブルクリックすると、直前の多画面表示に戻すことができます。
- 4画面／ 9画面／ 16画面表示の状態でカメラ番号パネルをクリックして、表示する4画面／ 9画面／ 16画面を切り換えることもできます。
  （1 ～ 4表示中にカメラ5のパネルをクリックすると5 ～ 8が表示されます）
- 選択中のカメラの音声が出力されます。（[モニター] – [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）
- 初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については53ページをお読みください。

全画面で表示中

STEP1

画面分割ボタンのいずれかをクリックします。
→ライブ画像が多画面で表示されます。

全画面表示の画面分割ボタン

メモ

- 多画面で表示するカメラは変更することができます。「1画面で表示する」の「全画面で表示中」に記載しているSTEP2をお読みください。
- シーケンスボタンをクリックすると、カメラの画像を自動的に切り換えて表示（ライブシーケンス表示）することができます。ライブシーケンス表示に関する設定は、[モニター] – [メインモニター] の「ライブシーケンス(全画面)」で行います。
- 画面左上のカメラの音声が出力されます。（[モニター] – [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）

カメラのライブ画像を見る（つづき）

デジタルズームを使用する

操作画面で1画面または4画面、全画面で1画面表示しているとき、デジタルズームを使って画像をズームします。また、ズームした画像の表示領域を移動することができます。

操作画面で表示中

メモ

- 9画面／ 16画面表示時はデジタルズームを使用できません。
- 4画面表示中に使用するときは、対象とするカメラ画像を選択してから操作を行ってください。カメラの選択は、カメラ番号パネル、またはカメラ画像をクリックします。カメラが選択されると、カメラ画像の周囲に選択枠が表示されます。

STEP1

画像表示部が1画面または4画面で表示されていることを確認します。
（4画面表示時は、操作対象のカメラを選択します）

STEP2

デジタルズームボタン をクリックします。
→画面中央を中心として×1, ×1.25, ×1.50, ×1.75, ×2, ×2.5, ×3, ×3.5, ×4, ×5, ×6, ×7, ×8ズームで表示されます。

デジタルズームボタン

メモ

- ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。
- カメラコントロールパネル（☞122ページ）上の「カメラをマウスで操作する」にチェックが入っていない場合のみ、デジタルズームをマウスのホイール操作で行えます。その場合、マウスカーソル位置を中心としてズーム表示されます。
- 画像表示部のサイズに対して、画像の解像度が小さいと、デジタルズームが頭打ちになり、ズーム倍率どおりにズームされない場合があります。

STEP3

デジタルズームボタン をクリックすると、STEP2と逆方向の倍率でズームアウトします。

メモ

- 他カメラの選択、画面分割切り換えなどの操作を行うと、デジタルズームは自動的に解除されます。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

全画面画面で表示中

STEP1

画像表示部が1画面で表示されていることを確認します。

STEP2

マウスのホイール操作を行います。
→マウスカーソル位置を中心として、1倍から2倍までは0.25倍ずつ、2倍から4倍までは0.5倍ずつ、4倍から8倍までは1倍ずつ、ズーム表示が切り換わります。
ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。

メモ

- ズーム表示中はカメラタイトル付近にズーム倍率が表示されます。カメラタイトルが表示されていない場合は、ズーム倍率も表示されません。カメラタイトルをメインモニターに表示するかどうかはモニターページの［メインモニター］タブで設定できます。（☞52ページ）
- 他カメラの選択、画面分割切り換えなどの操作を行うと、デジタルズームは自動的に解除されます。
- 画像表示部のサイズに対して、画像の解像度が小さいと、デジタルズームが頭打ちになり、ズーム倍率どおりにズームされない場合があります。

魚眼画像を補正する

操作画面の画像表示部に魚眼画像を１画面で表示中は、魚眼画像を補正して表示することができます。

メモ

- 全画面表示および4画／ 9画／ 16画表示時は魚眼画像の補正表示は使用できません。魚眼画像補正表示ボタンも表示されません。

STEP1

操作画面で、画像表示部が魚眼画像の1画面表示になっていることを確認します。

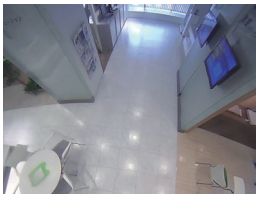
STEP2

1画PTZ表示／ 4画PTZ表示ボタンをクリックします。
→1画PTZ ／ 4画PTZで補正表示されます。それぞれ以下の画角の画像を表示します。

■1画PTZ表示

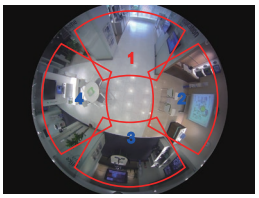
魚眼

1画補正後



■4画PTZ表示

魚眼



4画補正後

魚眼画像補正表示ボタン

カメラのライブ画像を見る（つづき）

メモ

- 魚眼画像上でマウスの右ボタンをダブルクリックすると、カーソル位置を中心とした1画PTZで補正表示することもできます。
- 1画PTZで補正表示中に画像上をクリックすると、その位置が表示の中心となります。4画PTZで補正表示中は表示位置を変更したい画像をクリックして選択してから、画像上をクリックしてください。
- クリックする位置によっては、表示する画像の中心とならない場合があります。
- 4画PTZで補正表示中に選択している画像上をダブルクリックして1画PTZの補正表示に切り換えることもできます（逆も可能です）。
- 高解像度、高フレームレートの画像は、元のフレームレートで補正表示できない場合があります。

STEP3

魚眼表示ボタンをクリックすると、補正機能を解除します。

メモ

- 魚眼画像の補正表示位置は、本機の電源を切っても記憶されます。
- 本機の電源を入れた後に魚眼画像を１画面表示すると、電源を切る直前に表示していた補正表示位置で表示されます。
- 4画PTZで補正表示から補正機能を解除すると、分割線が画像上に一瞬残って表示されます。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を1画面または4画面で表示しているとき、本機から以下のカメラ操作を行うことができます。

メモ

- 接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない機能があります。
- 操作は操作画面で行います。全画面表示をしている場合は、画面右下の［操作画面表示］ボタンをクリックして、操作画面を表示し、1画面または4画面表示にしてください。
- 固定カメラの場合は、カメラコントロールパネルのボタンなどが操作不可になります。

カメラコントロールパネル

画像表示部で選択状態（選択枠表示）のカメラを操作します。1画面表示時は、表示されているカメラが対象となります。4画面表示時は、操作パネルでカメラ番号パネルをクリックするか、または画像表示部でカメラ画像をクリックして選択してください。

コントロールボタン

コントロールボタン
クリックした方向に、カメラの向きが移動（パン／チルト）します。ボタンを押し続けると動作を継続します。

ズームボタン
ズームを調整します。

ホームポジション［移動］ボタン
カメラの向きをホームポジションに移動します。

カメラをマウスで操作する
チェックを入れると、選択しているカメラの画像上で、マウスによるパン／チルト（クリック）、ズーム（マウスホイール）操作ができます。

メモ

- チェックを入れているときは、デジタルズーム（☞119ページ）のマウスのホイール操作はできません。固定カメラでカメラコントロールパネルが操作できない場合は、チェックのあり／なしにかかわらずマウスのホイール操作でデジタルズームを行えます。

［詳細］ボタン
詳細カメラコントロールパネルを表示し、さらに以下のカメラ操作を行うことができます。

●フォーカスボタン
カメラの焦点を調整します。

●明るさボタン
レンズの絞りを調整します。

●自動モード
カメラに設定された自動モード機能を動作させます。

カメラを操作する（つづき）

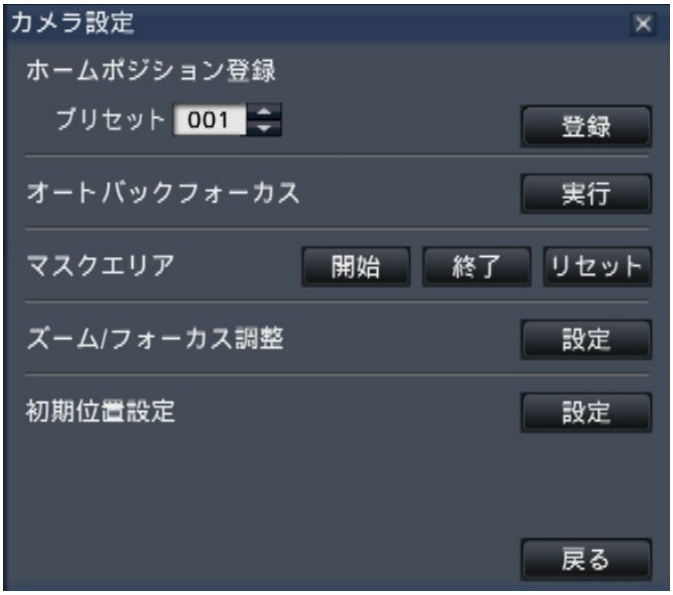
●[プリセット]
カメラの向きをプリセットポジションに登録します。また、登録したプリセットポジションにカメラの向きを移動します。

詳細コントロールパネルの右上にあるボタンでページを2/2に切り換えると、さらに以下のカメラ操作を行うことができます。

●AUXボタン
カメラのAUX端子に接続された機器をオープン状態／クローズ状態にします。
AUX1,2,3は、ネットワークカメラの場合はカメラのAUX1のみで操作します。
エンコーダGXE500の場合はこれに繋がる端末のアナログカメラ各々に対してAUX1,2というカメラまたはレシーバ（WV-RC150）の制御端子が対象となります。
AUX3はGXE500のAUX出力端子（1系統のみ）が制御対象となります。

●ワイパーボタン
WV-SUD638のウォッシャー／ワイパーを操作します。

●[設定] ボタン
カメラ設定画面を表示し、ホームポジションの登録（☞129ページ）、オートバックフォーカス（☞129ページ）などを実行します。



●[戻る] ボタン
詳細カメラコントロールパネルを閉じて、カメラコントロールパネルに戻ります。

メモ
- 全画面表示時および9 ／ 16画面表示時はカメラを操作することができません。

カメラを操作する（つづき）

パン／チルト操作

カメラ画像の水平／垂直位置を調整します。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

コントロールボタンをクリックします。
または、カメラ画像内で画角の中心としたい位置をクリックします。クリックした位置が中心となるようにカメラの向きが移動します。

メモ

- 本機からのカメラ画像内でのカメラ操作は、カメラコントロールパネルの「カメラをマウスで操作する」にチェックが入っている場合に可能です。

ズーム操作

カメラレンズのズームを操作し、カメラ画像を拡大／縮小表示します。ズーム倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[－] ボタンまたは [＋] ボタンをクリックします。
または、カメラ画面内でマウスホイールを操作してズームを調整します。
[x1] ボタンをクリックすると、ズームの倍率は1倍に戻ります。

メモ

- 本機からのカメラ画像内でのカメラ操作は、カメラコントロールパネルの「カメラをマウスで操作する」にチェックが入っている場合に可能です。
- マウスのドラッグ操作で表示したい範囲を選択すると、選択したエリアを中心とする位置にカメラの向きが移動し、ズーム倍率が自動的に調整されます。

カメラを操作する（つづき）

ホームポジション移動

あらかじめ登録されたホームポジションにカメラの向きを移動します。ホームポジションは事前に登録してください。（☞129ページ）

STEP1
4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2
ホームポジションの［移動］ボタンをクリックします。

フォーカス操作

カメラ画像の焦点を調整します。自動で焦点を調整（オートフォーカス）することもできます。

STEP1
4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2
［詳細］ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。
（☞122ページ）

STEP3
フォーカスの［近］ボタンまたは［遠］ボタンを押します。
［オート］ボタンをクリックすると、焦点を自動調整します。

明るさ操作

レンズの絞りを調整します。

STEP1
4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2
［詳細］ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。
（☞122ページ）

STEP3
明るさの［暗（−）］ボタンまたは［明（+）］ボタンを押します。
［標準］ボタンをクリックすると、明るさの設定を標準に戻します。

カメラを操作する（つづき）

自動モード

カメラに設定された自動モード機能を動作させます。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

［詳細］ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。
（☞122ページ）

STEP3

自動モードの［▼］ボタンをクリックして、以下からカメラの自動モードを選択します。

自動追従　：カメラが画面上の動く物体を自動で追いかけます。
オートパン　：カメラであらかじめ設定したパンのスタート位置とエンドの位置の範囲を自動的に旋回します。
プリセットシーケンス
：カメラであらかじめ登録してあるプリセットポジションをプリセット番号の小さい方から順番に移動します。
パトロール　：カメラであらかじめ記録した手動操作を実行します。

STEP4

［開始］ボタンをクリックして、カメラの自動モードを開始します。
自動モードを終了するには、［終了］ボタンをクリックします。

メモ

- カメラの自動モードは、お使いのカメラの取扱説明書をお読みのうえ、あらかじめカメラのメニューで設定してからご使用ください。

カメラを操作する（つづき）

プリセット登録

現在のカメラの向きを指定するプリセットポジションに登録します。プリセットポジションの登録は、プリセットポジション機能に対応しているカメラで使用できます。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

［詳細］ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。
（☞122ページ）

STEP3

カメラのパン／チルト操作を行い、カメラを登録したい向きへ移動します。（☞124ページ）

STEP4

「プリセット」の［▲］／［▼］ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号を選択します。プリセット番号は1 ～ 256で設定できます。

STEP5

［登録］ボタンをクリックします。
→確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、選択したプリセット番号にカメラの向きが登録されます。

プリセット移動

プリセット登録で設定されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。あらかじめプリセット登録を行ってください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

［詳細］ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。
（☞122ページ）

STEP3

「プリセット」の［▲］／［▼］ボタンをクリックして、プリセット番号を選択します。プリセット番号は0 ～ 256から選択できます。プリセット番号0を選択すると、ホームポジションに移動します。

STEP4

［移動］ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号へカメラの向きが移動します。

メモ

- 登録されていないプリセット番号も選択できますが、［移動］ボタンをクリックしてもカメラは動きません。

カメラを操作する（つづき）

AUX操作

カメラのAUX端子に接続された機器をオープン状態／クローズ状態にします。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[詳細] ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。
（☞122ページ）

STEP3

画面右上のページ切り換えボタンをクリックします。
→ページが2/2に切り換わります。

STEP4

AUXの端子番号を選択してから［Open］／［Close］ボタンをクリックします。
［Open］ボタンをクリックすると、カメラのAUX端子がオープン状態になります。
［Close］ボタンをクリックすると、カメラのAUX端子がクローズ状態になります。

メモ

- AUXの端子番号選択はWJ-GXE500のみ有効です。WJ-GXE500以外のカメラに対しては、オープン/クローズ操作のみ可能です。

ワイパー操作

ウォッシャー／ワイパーを操作します。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[詳細]ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。
（☞122ページ）

STEP3

画面右上のページ切り換えボタンをクリックします。
→ページが2/2に切り換わります。

STEP4

操作を選択し、[開始]または[終了]ボタンをクリックします。

高速	：連続でふき取り動作を行います。（4秒に1回）
低速	：連続でふき取り動作を行います。（8秒に1回）
一時制御	：高速（4秒に1回）のふき取り動作を5回行います。
ウォッシャー	：規定のウォッシャー／ワイパー動作を行います。

詳しくは、WV-SUD638の取扱説明書をお読みください。
［開始］ボタンをクリックすると、選択した動作を開始します。
［終了］ボタンをクリックすると、動作が終了します。

メモ

- ウォッシャー動作中は以下の操作ができません。
  - ・「 ワイパー」の［開始］操作と［終了］操作
  - ・パン･チルト･ズーム･フォーカスの制御
  - ・「自動モード」の［開始］操作
  - ・「プリセット」の［移動］操作
- カメラ側にウォッシャー動作設定が必要です。詳しくは、WV-SUD638の取扱説明書をお読みください。

カメラを操作する（つづき）

ホームポジション登録

あらかじめ登録されたプリセットポジションから、ホームポジションを設定します。

STEP1

詳細カメラコントロールパネルで、プリセット登録を行います（☞127ページ）。

STEP2

［設定］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。（☞123ページ）

STEP3

「プリセット」の［▲］／［▼］ボタンをクリックして、ホームポジションとして登録するプリセット番号を選択します。プリセット番号は1 ～256から選択できます。

メモ

- 弊社製の一部のカメラの場合、プリセット番号0がホームポジションとして登録できます。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。

STEP4

［登録］ボタンをクリックします。
→確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、選択したプリセット番号がホームポジションに登録されます。

STEP5

［戻る］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じ、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。

オートバックフォーカス実行

カメラのオートバックフォーカスが働き、画面の中心領域の被写体に自動でバックフォーカスを調整します。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

詳細カメラコントロールパネルを表示し（☞122ページ）、［設定］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面（☞123ページ）が表示されます。

STEP3

［オートバックフォーカス］で、［実行］ボタンをクリックします。

STEP4

［戻る］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じ、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。

カメラを操作する（つづき）

マスクエリア設定

カメラのマスクエリアを設定します。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1
4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2
詳細カメラコントロールパネルを表示し（☞122ページ）、[設定] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面（☞123ページ）が表示されます。

STEP3
[マスクエリア] で、[開始] ボタンをクリックします。
→映像表示部に格子状の境界線が表示され、マスクエリア設定されているマスは白色半透明になります。

STEP4
映像表示部のマスをクリックします。
→クリックするたびにそのマスのマスク設定のOn ／ Offを切り換えます。

STEP5
[終了] ボタンをクリックします。
→マスクエリア設定を終了し、格子状の境界線が消去されます。

STEP6
[戻る] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じ、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。

メモ
- [リセット] ボタンをクリックすると、すべてのマスク設定をクリアします。

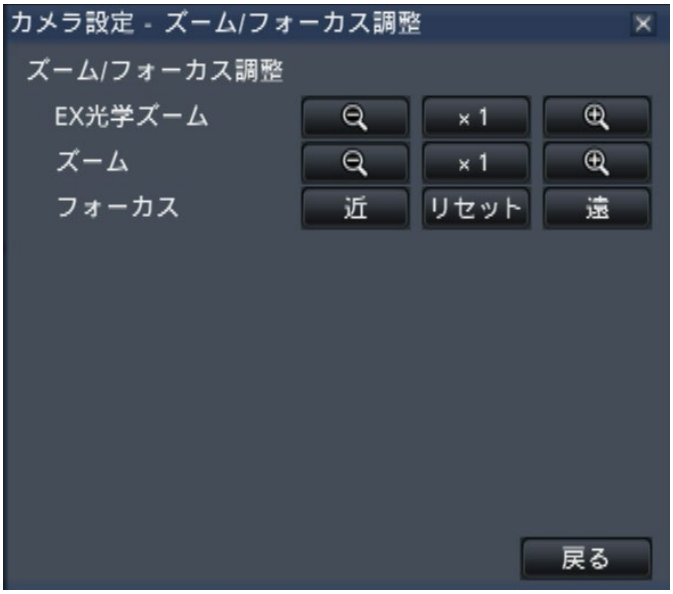
ズーム/フォーカス調整

カメラのズームやフォーカスを調整します。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1
4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2
詳細カメラコントロールパネルを表示し（☞122ページ）、[設定] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面（☞123ページ）が表示されます。

STEP3
[ズーム/フォーカス調整] で、[設定] ボタンをクリックします。
→ズーム/フォーカス調整画面が表示されます。



カメラを操作する（つづき）

STEP4
[－] [x1] [＋] ボタンをクリックしてズームを調整します。
また [近] [リセット] [遠] ボタンをクリックしてフォーカスを調整します。

STEP5
[戻る] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面に戻ります。

初期位置設定

全方位カメラの傾き、上下の角度調整、画像切り出し位置の左右調整を行います。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1
4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2
詳細カメラコントロールパネルを表示し（☞122ページ）、[設定] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面（☞123ページ）が表示されます。

STEP3
[初期位置設定] で、[設定] ボタンをクリックします。
→初期位置設定画面が表示されます。

STEP4
各種ボタンや画像上を直接クリックして位置を調整します。

STEP5
[設定保存] ボタンをクリックします。
→調整した画像位置がカメラに保存されます。

STEP6
[戻る] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面に戻ります。

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。
- ●端子アラーム　　：ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力される
- ●カメラサイトアラーム：カメラで検出したアラーム（カメラ端子アラームなど）
- ●コマンドアラーム　　：ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。

動作モードについて

本機では、イベント発生時の動作は以下の動作モードのいずれかになります。動作モードは設定メニューで設定します。（☞46ページ）

録画＋アラーム動作　：すべてのイベント動作を設定に従って行います。（下表のA）
録画のみ　：録画とアラーム履歴の記録、カメラのプリセット移動のみを行います。（下表のB）
Off　：アラーム履歴の記録のみを行います。（下表のC）

設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。詳しくはシステムの管理者へご確認ください。

イベント動作		説明	動作モード※1		
			A	B	C
録画	イベント録画を開始する	設定メニューの録画時間設定に従って録画を開始します。	●	●	×
	プレ録画を確定する	イベントが発生した時間よりも前のカメラ画像を、発生したイベントと関連づけてHDDに保存します。	●	●	×
アラーム動作	カメラの向きをプリセットポジションに移動する	あらかじめ登録したプリセットポジションへカメラの向きを移動させます。	●	●	×
	アラームランプを点滅する	本機前面のアラームランプを点滅させます。	○	×	×
	ブザーを鳴らす	設定メニューで設定した時間でブザーを鳴らします。	●	×	×
	アラーム信号を出力する	本機後面のアラーム／コントロール端子から信号を送出します。	●	×	×
	メインモニター上にイベント情報を表示する	イベント種別と端子／カメラ番号を状態表示パネルに表示します。同時にアラームボタンを赤くします。	○	×	×
	ウェブブラウザー上にアラームアイコンを表示する	ウェブブラウザーのイベント・エラー表示部にアラームアイコンを表示します。	○	○	×
	ウェブブラウザー上にアラームメッセージを表示する	イベント発生を通知する画面をウェブブラウザー上に表示します。 ※アラームメッセージは、後から表示されたものが優先です。画面は、[×] ボタンをクリックして閉じます。	●	×	×
	アラーム履歴を記録する※2	イベントが発生した日時とイベント情報を履歴に記録します。	●	●	●
	イベント発生をメールで通知する	イベントの発生と日時を知らせる電子メール（アラームメール）を、登録したメールアドレス（最大4件）に送信します。	●	×	×

イベント機能について（つづき）

イベント動作		説明	動作モード ※1		
			A	B	C
アラーム動作	独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知する	イベント発生時、「独自アラーム」の設定に従って、発生したイベントをPC に通知します。（☞42、63ページ）	●	×	×
	アラーム発生時に1画で表示する	アラーム番号に割り当てられている録画カメラを1画面で表示する	●	×	×

※1　○：設定にかかわらず動作する、●：設定に従い動作する、×：動作しない

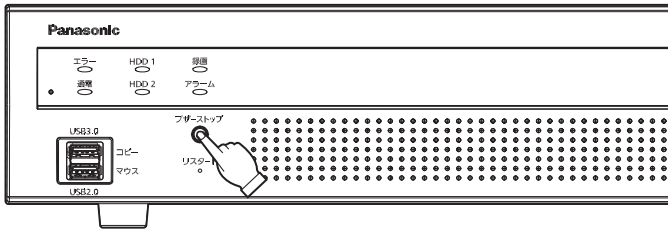
※2　カメラの「アラームエリア情報付加」設定を「On」にしたときは、i-VMD種別情報がアラーム履歴に表示されます。詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

ブザーを停止する

アラーム発生、エラー発生により、ブザーが鳴動した場合、本機前面パネルからブザーのみ停止することができます。

STEP1

ブザーストップボタンを押します。



→ブザーが鳴り止みます。

メモ

- アラーム動作の解除操作、エラー動作の解除操作（☞134ページ）でも、ブザーを止めることができます。ブザーストップボタンでは、他のアラーム動作は解除されません。

イベント機能について（つづき）

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。メインモニターの状態表示パネルには、発生したアラームの情報が表示されます（☞106ページ）。アラーム動作を解除するには状態表示パネルのアラームボタンをクリックし、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。
設定メニュー［基本設定］の［録画・イベント］－［イベント設定］タブの「自動復帰時間」（☞45ページ）が「Ext.」以外に設定されているときは、アラーム復帰ボタンをクリックしてアラーム動作を解除しない場合でも、以下の動作は自動的に行われます。

- 前面パネルのアラームランプが点滅から点灯に変わる
- メインモニターのアラーム状態表示が消える
- ブザー鳴動が終了する、アラーム出力を停止する

STEP1

メインモニターに表示されるアラームボタンをクリックして、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。

→アラーム動作が解除され、アラームランプが消灯します。

メモ

- アラーム動作を解除すると、イベント録画が停止し、アラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

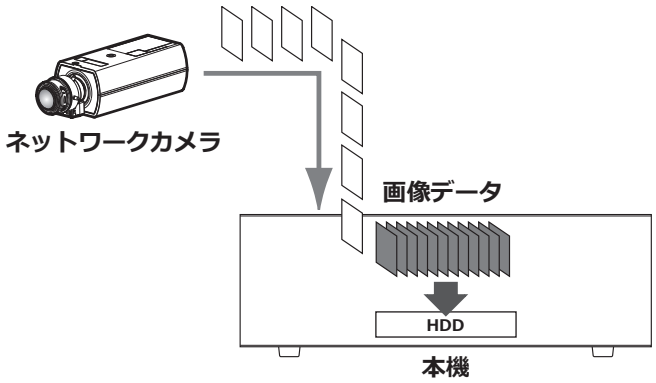
本機にエラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。メインモニターの状態表示パネルには、発生したエラー情報が表示されます。（☞106ページ）エラー動作を解除するには、状態表示パネルのエラーボタンをクリックして、表示されたエラー復帰ボタンをクリックします。

メモ

- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネル（☞145ページ）に表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。
- エラーの原因が自動的に解消された場合は、以下の動作が自動的に行われます。
  - ・前面パネルのエラーランプが点滅から点灯に変わる
  - ・メインモニターのエラー状態表示が消える
  - ・ブザー鳴動が終了する、エラー出力を停止する
- エラー復帰ボタンをクリックすると、エラーボタンおよびエラーランプが消灯します。

録画する

カメラ画像を本機に録画します。本機に最大24台のカメラの画像を録画できます。



録画する（スケジュール録画）

あらかじめ設定したスケジュールによって、録画の開始と停止を自動的に行います。スケジュール録画の設定は、40ページをお読みください。

メモ

- スケジュール録画中に、アラーム発生によるイベント録画を開始した場合、イベント録画が優先されます。録画モードの優先度については、以下の「録画モードと優先度」をお読みください。
- スケジュール録画を停止する場合は、設定メニューの録画停止の操作を行います。詳しくは48ページをお読みください。
- ネットワークに異常があり、通信できていないカメラの画像は録画されません。ネットワーク通信が復旧すると、録画を開始します。カメラと通信できない状態が、約40秒以内で復旧した場合は、エラー履歴に記録が残らない場合があります。
- スケジュール録画は毎正時、自動的にレコード分割されます。その際、約1秒間録画が途切れることがあります。

録画モードと優先度

本機には4種類の録画モードがあります。録画モードとその優先度は次のとおりです。
複数の録画モードで同時に録画が始まった場合、優先度の高い録画モードで録画されます。

録画モード	優先度
緊急録画	1
イベント録画	2
スケジュール録画	3
プレ録画	4

録音

録音は録画と同時に行います。カメラごとに録音をするかどうか設定できます。詳しくは、43ページをお読みください。

メモ

- 録音は録画と同時に行います。音声のみを録音することはできません。

録画する（つづき）

緊急録画

緊急事態が発生したときに、本機後面の「アラーム／コントロール端子」の「緊急録画入力」端子に接続されたスイッチなどを使用して、録画を手動で行います。例えば、店舗の受付窓口にスイッチを設置し、不審者が現れたときにスイッチを押して緊急録画を行う運用ができます。

重要

- 緊急録画は接続しているすべてのカメラの録画を行います。

STEP1

「緊急録画入力」端子に接続されたスイッチを押します。
→緊急録画が開始されます。

STEP2

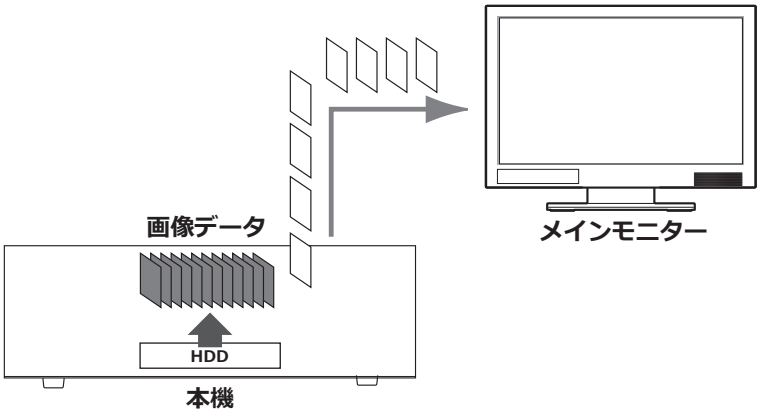
設定した緊急録画の録画時間が過ぎると、自動的に録画を終了します。
緊急録画の録画時間は、設定メニュー［録画・イベント］–［高度な設定］タブの緊急録画設定の「録画時間」（☞49ページ）で設定します。

メモ

- 緊急録画は最も優先度の高い録画モードです。他の録画モードで録画が行われている場合でも、緊急録画が行われます。
- 緊急録画設定の「録画時間」設定（☞49ページ)が「Ext.」の場合、録画を停止するには［アラーム復帰］ボタンを押してください。

再生する

本機のHDDに録画したカメラ画像をメインモニターに表示します。
再生操作は録画中も行えます。カメラ画像の再生は、操作画面表示または全画面表示から行います。
具体的な再生方法については、141ページ以降をお読みください。



メモ

- 操作画面表示では、1画面と4画面で再生できます。サブストリーム録画が設定されていると、9画面と16画面でも再生できます（圧縮方式がJPEGで録画されているカメラを除く）。
- 全画面表示では、1画面～ 4画面で再生できます。サブストリーム録画が設定されていると、16画面まで再生できます（圧縮方式がJPEGで録画されているカメラを除く）。
- 操作画面の1画面表示中は、表示している画像の音声が、多画面で表示中は、選択中のカメラの音声が出力されます。
- 全画面で表示しているときは、画面左上のカメラの音声が出力されます。
- 早送り／早戻し再生中は、音声は出力されません。
- 再生中にカメラ番号（1 ～ 24）をクリックすると、カメラを変更できます。
- 再生中も画面分割ボタン、デジタルズーム、ミュートボタンなどの操作は有効です。詳しくは、「カメラのライブ画像を見る」（☞111ページ）をお読みください。
- 以下の設定（解像度、フレームレート）で録画された画像を各多画面で表示すると、設定されたリフレッシュ間隔に従って再生します。

【サブモニター表示無し、再エンコード配信無し】

表示 / 解像度	3画面/4画面
HD (1280×720) FHD (1920×1080)	50 ips以上

再生する（つづき）

【サブモニター表示有り、または、再エンコード配信有り】

表示 / 解像度	3画面/4画面
HD (1280×720) **FHD (1920×1080)**	50 ips以上
QXGA (2048×1536)~ **9M (2992×2992)**	25 ips以上
12M (4000×3000)	10 ips以上（H.264/H.265） 表示不可（MJPEG）

【サブモニター表示有り、かつ、再エンコード配信有り】

表示 / 解像度	1画面	3画面/4画面
FHD (1920×1080) **HD (1280×720)**	（該当なし）	50 ips以上
QXGA (2048×1536)	（該当なし）	25 ips以上
WQHD (2560×1440)~ **9M (2992×2992)**	（該当なし）	10 ips以上
12M (4000×3000)	10 ips以上	3 ips以上（H.264/H.265） 表示不可（MJPEG）

- 解像度やフレームレート設定の違いにより、多画面表示の各再生画像のデータサイズの差が大きいと、同期して再生できないことがあります。その場合は、再生を一時停止し（☞139ページ）、再度再生してください。
- 操作画面表示の再生は、初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については53ページをお読みください。
- 全画面表示の再生では、アスペクト比が16：9の画像を画面に合わせて表示します。

再生する（つづき）

再生操作パネルについて

再生中は、再生操作パネルに操作用のボタンが表示されます。ここで再生操作を行うほか、再生状態が表示されます。

通常状態（ライブ画表示中）

再生画像表示中

再生一時停止中

全画面再生状態（再生画像表示中）

全画面再生状態（再生一時停止中）

全画面再生状態（最小化モード、再生画像表示中）

全画面再生状態（最小化モード、再生一時停止中）

最小化モードにするには、全画面再生状態で、再生操作パネルの最小化ボタン をクリックします。
再生操作は、以下のとおりです。

機能	表示例	操作
再生ボタン		録画画像を再生します。 一時停止中にクリックすると、一時停止を解除します。 早送り中、早戻し中にクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
停止ボタン		再生中、一時停止中にクリックすると、再生を停止し、ライブ画像が表示されます。
一時停止ボタン		再生中にクリックすると、再生を一時停止します。 再生一時停止中にクリックすると、一時停止を解除します。
スナップショットボタン		再生一時停止中画像をUSBメディアに保存します。※ 1画面表示で再生一時停止中のみクリックできます。クリックするとボタンがグレーになり、保存が行われます。ボタンが使用可能になったら、USBメディアを取り出すことができます。 スナップショットの画像サイズは録画時の解像度ではなく、再生時の解像度になります。

再生する（つづき）

機能	表示例	操作
コマ送り/逆コマ送りボタン		一時停止中にコマ送りボタンをクリックすると、1つコマを進めて、一時停止します。 一時停止中に逆コマ送りボタンをクリックすると、1つコマを戻して、一時停止します。 **メモ** ●再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されている画像すべては表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で逆コマ送りされます。
早送り／早戻しボタン		再生中に早送りボタンをクリックするたびに、再生速度がx2（約2倍）、x4（約4倍）、x8（約8倍）、x16（約16倍）、x32（約32倍）、x48（約48倍）と切り換わります。 再生中に早戻しボタンをクリックするたびに、逆再生速度が等倍逆再生（約1倍）、x2（約2倍）、x4（約4倍）、x8（約8倍）、x16（約16倍）、x32（約32倍）、x48（約48倍）と切り換わります。 再生状態表示には、再生倍率が表示されます。 **メモ** ●再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されている画像すべては表示されません。1画面表示のx2の早送り以外は、カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で早送り／早戻しされます。
スキップ/逆スキップボタン		スキップボタンをクリックすると、次の時刻の録画画像を再生します。 逆スキップボタンをクリックすると、1つ前の時刻の録画画像を再生します。 スキップ先が存在しない場合は再生を続けます。
最新再生ボタン		録画された画像のうち、最新の録画日時の画像の約10秒前から再生を開始します。
再生状態表示		再生状態、一時停止状態などを表示します。 早送り／早戻し中は、再生倍率を表示します。
全画面表示ボタン／操作画面表示ボタン		再生中にクリックすると、再生を停止し、全画面／操作画面でライブ画像を表示します。
再生操作パネル表示切り換えボタン（全画面再生中）		再生操作パネル表示中は再生操作パネルを非表示にします。もう一度クリックすると、元の表示に戻します。 ライブ画像表示中にクリックすると再生を開始して、再生操作パネルを表示します。

スナップショットについて

スナップショットボタンをクリックしてUSBメディアに保存したスナップショット画像は本機では表示できません。
PCで見る場合、データ形式と保存先は以下のとおりです。

記録画像ファイル形式　：JPEG（DCF準拠、Exif 2.21準拠）／ DPOF対応
保存先　　：USBストレージ DCIM¥100_PANA¥P1000001.jpg
　　P1000002.jpg、…

※フォルダーは、100_PANA～999_PANAまで作成されます。フォルダー内にP1000999.jpgが保存されていると新しい番号のフォルダーが作成されます。

頭出し再生する

見たい録画画像の日時を指定したり、最新日時の録画画像を指定したりして再生します。

日時を指定して再生する

日時操作パネルで、見たい録画画像の日時を指定して再生します。

日時操作パネル（通常表示）

STEP1

「再生時刻」の［▲］／［▼］ボタンをクリックして、再生したい時刻に設定します。

STEP2

カレンダーで、再生したい日付がある月を選択します。［<<年］／［年>>］ボタンで年を、［<月］／［月>］ボタンで月を切り換えることができます。

メモ

- 今日の日付は、青色で表示されています。
- HDDに録画画像がある日付は、白色で表示されます。

STEP3

カレンダーで、再生したい日付をクリックします。
→選択された日付の背景が緑色になり、指定した日付と再生時刻で再生が開始します。
また、日時操作パネルが再生中表示（☞143ページ）に切り換わり、日時操作パネルの下部に再生操作パネル（☞139ページ）が表示されます。

メモ

- カレンダー上で日付を変更しない場合は、再生ボタンをクリックします。

STEP4

再生を停止してライブ画像に戻るには、［現在時刻］ボタン、または再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。
→再生が停止し、ライブ画像を表示します。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［×］ボタンをクリックしたとき
  - 再生メディアを変更したとき
- 指定した日時に録画画像が無いときは、次のような動作になります。
  - 指定日時以降に録画画像がある場合、指定日時以降のもっとも古い画像から再生します。
  - 指定日時以降に録画画像がない場合、指定日時以前のもっとも新しい画像から再生します。

頭出し再生する（つづき）

最新の録画画像を再生する

録画された画像のうち、最新の録画日時の画像の約10秒前から再生を開始します。

日時操作パネル（通常表示）

操作パネル（全画面表示）

STEP1

［最新再生］ボタンをクリックします。

→最新の録画画像の再生が開始します。日時操作パネルが再生中表示（☞143ページ）に切り換わります。また、日時操作パネルの下部に、再生操作パネル（☞139ページ）が表示されます。

STEP2

再生を停止してライブ画像に戻るには、［現在時刻］ボタン、または再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像を表示します。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［×］ボタンをクリックしたとき
  - 再生メディアを変更したとき
- 4画面表示時に［最新再生］ボタンをクリックすると、タイミングによっては再生画像が表示されないことがあります。その場合は、再度［最新再生］ボタンをクリックしてください。
- 全画面表示でライブシーケンス表示中は再生を開始することができません。ライブシーケンス表示以外の画面に切り換えてから［最新再生］ボタンをクリックしてください。

頭出し再生する（つづき）

タイムラインから指定して再生する

再生を開始すると、日時操作パネルが再生中表示に切り換わります。
ここでは、タイムライン表示を目安に、再生スライダーを操作して再生時刻を指定し再生する方法について説明します。

日時操作パネル（再生中表示）

再生中表示では、録画の有無と種別をタイムラインで表示します。タイムラインに表示する録画の種類やタイムラインのスケールを変更して、再生する録画画像を指定することができます。

[録画種別]
チェックを入れた録画種別をタイムラインに表示します。再生中に変更すると、再生を一時停止し、再度検索を実行します。
スケジュール：スケジュール録画をピンク色で表示
イベント　　：イベント録画を赤色で表示

[情報表示]
チェックを入れると、タイムラインに動作検知（画像内に動きのあった個所）で録画された時間帯を青色で表示します（再生は一時停止します）。
録画のない時間帯は、黒色で表示されます。

メモ
- 動作検知の結果表示を行うには、動作検知サーチに対応したカメラが必要です。
  対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。

[時短再生する]
チェックが入っていると、再生時の録画画像に動きがない間は自動で最大4倍速で再生します。通常の再生をしたい場合は、チェックを外します。
時短再生を有効に設定（☞54ページ）すると、再生のたびにチェックが入った状態で表示されます。

メモ
- 時短再生を行うには、動作検知サーチに対応したカメラが必要です。
  対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。
  （動作検知情報付加設定がOffになっていたり、時短再生に対応していない弊社製カメラで録画した場合は、動きの有り無しに関わらず、高速再生になります。）
- 時短再生は1画面～ 4画面の等倍再生時のみ機能します。また、魚眼画像補正表示中は機能しません。
- 時短再生の高速再生中は ▶ ⏩ が表示されます。このとき、音声は出力されません。
- 現在時刻に近い日時を再生中は、高速再生になりません。

頭出し再生する（つづき）

- 録画画像の解像度やフレームレートが高いと高速再生にならない場合があります。また、多画面再生時は各録画画像の解像度やフレームレートの設定値によって、それぞれの画像の進み方が一律にならない場合があります。
- 時短再生は時短再生に対応したソフトウェアで録画された画像データで使用できます。

［詳細設定］ボタン
詳細設定パネルが表示され、タイムラインに表示するイベントの種別などを変更できます。再生は一時停止します。

［スケール切換］ボタン
タイムラインを一覧表示する時間を2h（2時間）／ 8h（8時間）／ 24h（24時間）から選択します。

［表示範囲切換］ボタン
スケール切換ボタンの設定に従い、タイムラインの表示範囲を切り換えます。

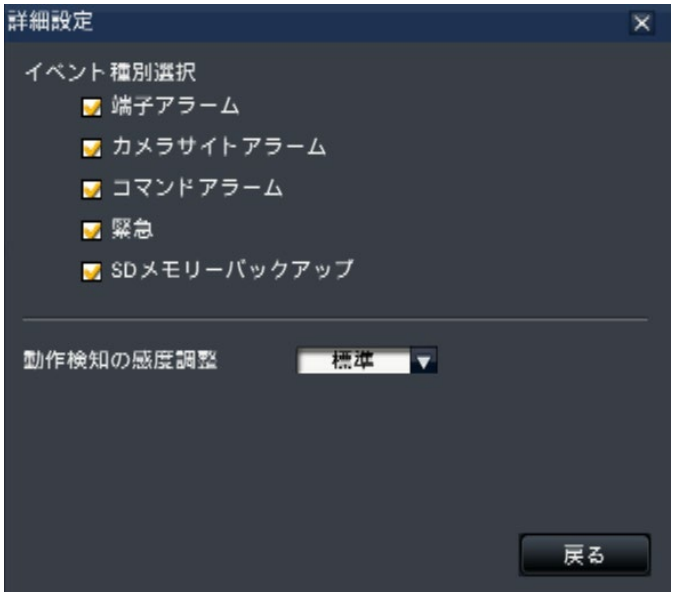
［再生スライダー］
再生中の時刻を表しています。タイムライン上で再生したい時刻にドラッグ&ドロップすると、その時刻から再生を開始します。

メモ
- 再生スライダーは、ドロップした位置にすぐに移動しないことがあります。

［ジャンプ間隔］／［ジャンプ］ボタン
一定の間隔で再生時刻をジャンプして再生します。
［<］／［>］ボタンをクリックすると、［ジャンプ間隔］で設定した時間に従い、再生時刻をジャンプして再生します。
設定範囲：10秒／ 15秒／ 30秒／ 60秒／ 180秒／ 300秒

［再生画像の音声を出力する］
この項目は、音声を出力するカメラを固定する設定の場合に表示されます。チェックを入れると表示している画像の音声を出力します。（☞56ページ）

タイムラインに表示するイベントなどを変更する［詳細設定］



［イベント種別選択］
タイムラインに表示するイベント種別を設定します。チェックを入れるとタイムラインにイベント録画として表示されます。
各アラームについては132ページをお読みください。

［動作検知の感度調整］
タイムラインに表示する動作検知の感度を設定します。感度は以下の順に高くなります。
低い→標準→高い→すべて

［戻る］ボタン／［×］ボタン
クリックすると、日時操作パネル（再生中表示）に戻ります。

検索して再生する

見たい録画画像を検索して再生します。検索には次の3とおりがあります。
- アラーム履歴・エラー履歴から選択して再生する（履歴サーチ）
- サムネイル画面を表示して再生する（サムネイルサーチ）
- 録画画像内に動きのあった日時を検索して再生する（動作検知サーチ）

履歴から選択して再生する（履歴サーチ）

アラーム履歴、エラー履歴を表示し、その中から再生したい日時を選択して再生します。

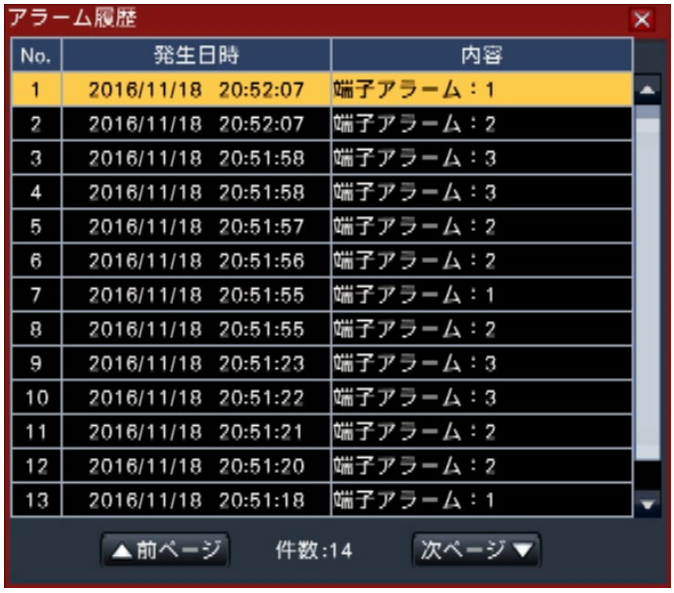
メモ
- 選択した履歴の録画データが、すでに上書きなどにより消去されている場合は、正しいデータを再生できません。
- カメラの動作検知アラームで録画した画像は、アラーム履歴から選択して再生してください。

STEP1

状態表示パネルの［アラーム］ボタンまたは［エラー］ボタンをクリックします。
→それぞれの［履歴表示］ボタンが表示されます。

STEP2

［履歴表示］ボタンをクリックします。
→アラーム履歴パネルまたはエラー履歴パネルが表示されます。［前ページ］／［次ページ］ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。



メモ
- アラーム履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると古い履歴から上書きされます。

メモ
- エラー履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると古い履歴から上書きされます。

STEP3

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネル（☞139ページ）の再生ボタンをクリックします。
→選択した日時の約5秒前から再生を開始します。

メモ
- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。
- アラーム履歴のプレ録画時間を5秒より長く設定している場合に、プレ録画の先頭から再生するには、再生ボタンをクリックしてから、逆スキップボタンをクリックしてください。
- 発生日時の約5秒までの間に録画画像がない場合は、発生日時から再生します。

検索して再生する（つづき）

STEP4

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネル（☞139ページ）の停止ボタンをクリックします。
→再生が停止し、ライブ画像が表示されます。

メモ

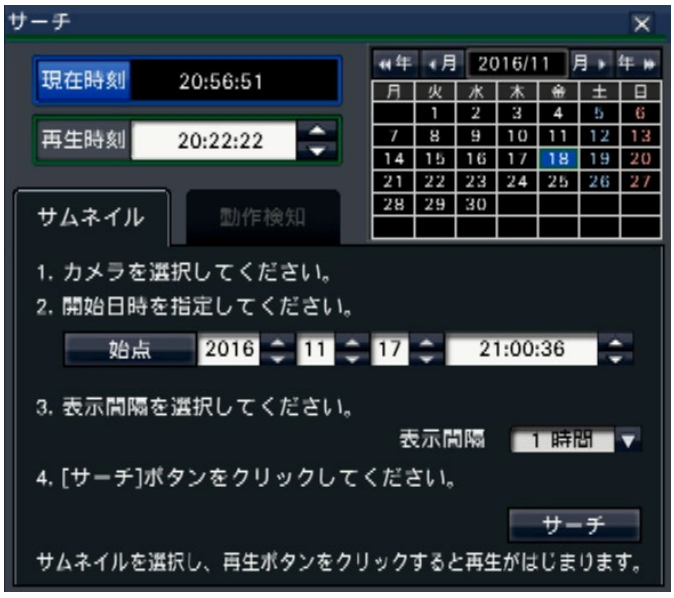
- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［×］ボタンをクリックしたとき
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［現在時刻］ボタンをクリックしたとき
  - 再生メディアを変更したとき

サムネイル画面を表示して再生する（サムネイルサーチ）

録画した画像のサムネイル画面から検索して再生します。
サムネイル表示画面から再生したい画像を選択して再生します。

STEP1

再生操作パネルの［サーチ］ボタンをクリックします。
→サムネイルサーチパネルが表示されます。



STEP2

カメラ番号パネルで検索したいカメラを選択します。

STEP3

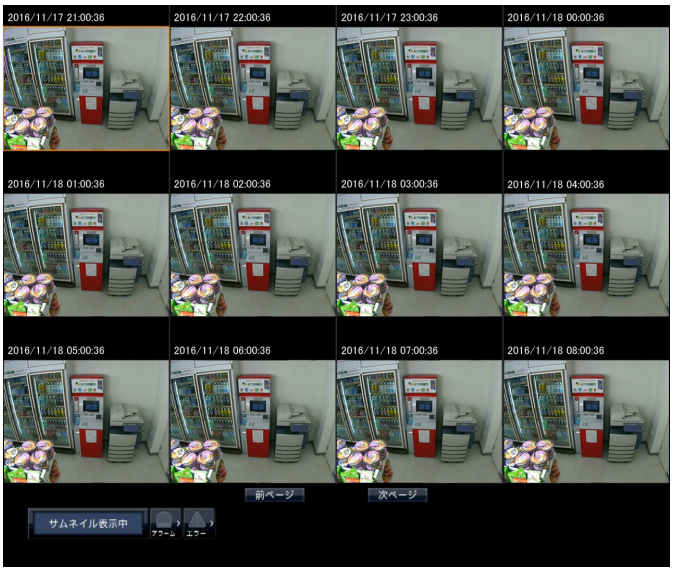
開始日時(始点)を指定します。
始点は年月日時刻の［▲］／［▼］ボタンをクリックして設定します。

STEP4

サムネイル画像を表示間隔を指定します。表示間隔に従って録画画像からサムネイルを検索して表示します。
表示間隔：5分、15分、30分、1時間、2時間

STEP5

［サーチ］ボタンをクリックします。
→指定した開始日時から表示間隔ごとにサムネイルを検索して、画像表示部に表示します。
サムネイルは最大12枚表示されます。［前ページ］／［次ページ］ボタンでサムネイル画像を切り換えることができます。



検索して再生する（つづき）

メモ

- サムネイル画像がすべて表示されるまで時間がかかる場合があります。
- サムネイル画像が表示されるまでの日時表示は開始日時と表示間隔から算出した仮の日時です。サムネイル画像が表示されると、サムネイル画像の実際の日時に更新されます。
- 指定した日時に録画画像が見つからない場合は、指定日時以降のサムネイル画像を表示します。

STEP6

再生したいサムネイル画像をクリックして選択し、再生操作パネルの再生ボタンをクリックします。
→選択したサムネイル画像の日時から再生を開始します。

メモ

- 再生したいサムネイル画像をダブルクリックして再生を開始することもできます。

STEP7

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。
→再生が停止し、ライブ画像を表示します。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［×］ボタンをクリックしたとき
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［現在時刻］ボタンをクリックしたとき
  - 再生メディアを変更したとき

検索して再生する（つづき）

録画画像に動きのある日時を検索して再生する（動作検知サーチ）

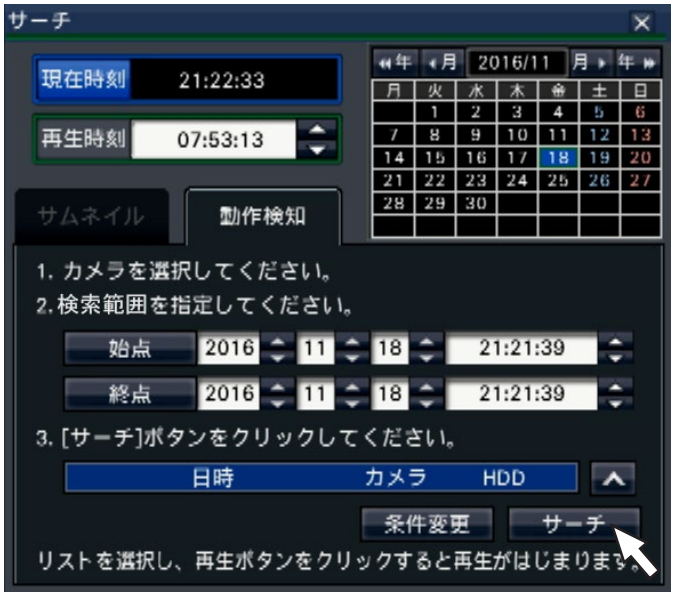
動作検知サーチに対応したカメラで録画した画像の中から、動作検知された日時を検索して再生します。検索結果のリストから再生したい日時を選択して再生します。

重要

- 動作検知サーチを行うには、動作検知サーチに対応したカメラと、あらかじめカメラ側の設定が必要です。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。

STEP1

再生操作パネルの［サーチ］ボタンをクリックし、［動作検知］タブをクリックします。
→動作検知サーチパネルが表示されます。



STEP2

カメラ番号パネルで検索したいカメラを選択します。

STEP3

検索する範囲を日時で指定します。
始点、終点について、それぞれ年月日時刻の［▲］／［▼］ボタンをクリックして設定します。

メモ

- カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、［始点］／［終点］ボタンをクリックして、検索範囲の始点と終点を設定することもできます。

STEP4

［サーチ］ボタンをクリックします。
→指定した検索範囲で動作検知サーチを行い、結果を以下のようにリスト表示します。［前ページ］／［次ページ］ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。

リスト伸縮ボタン

検索して再生する（つづき）

[リスト伸縮] ボタン
リストを表示／非表示にします。

メモ
- リストには100件まで表示されます。サーチ結果が100件を超えている場合は、件数に［> 100］と表示されます。
- 動作検知サーチは、初期設定ではカメラ画像全体が検索対象となっています。検索対象エリアを指定する場合は、［条件変更］ボタンをクリックし、条件変更パネルで設定します。（☞150ページ）
- 検索結果表示までに時間がかかる場合があります。

STEP5

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネル（☞139ページ）の再生ボタンをクリックします。
→選択した日時から再生を開始します。

メモ
- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。

STEP6

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。
→再生が停止し、ライブ画像を表示します。

メモ
- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［×］ボタンをクリックしたとき
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［現在時刻］ボタンをクリックしたとき
  - 再生メディアを変更したとき

検索して再生する（つづき）

動作検知のエリアなどを設定する［条件変更］

検索範囲の指定や、画像中の動作検知対象エリアの設定、マスク期間を設定します。

STEP1

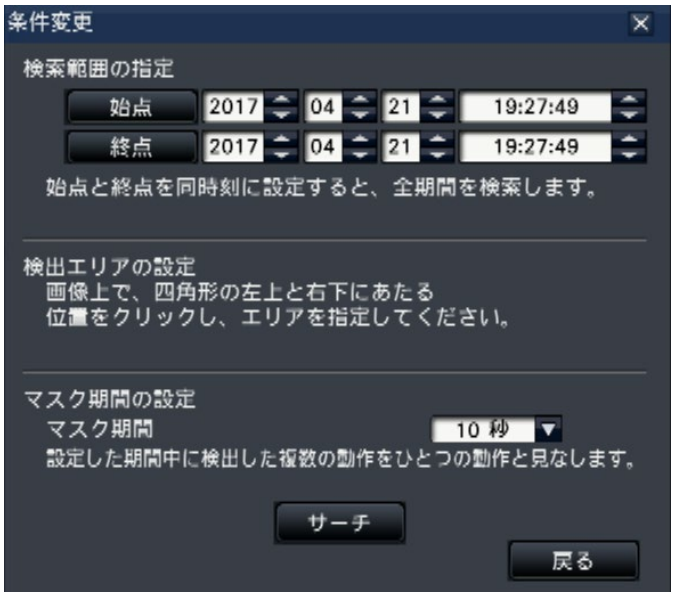
再生操作パネルの［サーチ］ボタンをクリックし、［動作検知］タブをクリックします。（☞148ページ）

STEP2

カメラ番号パネルで検索したいカメラを選択します。

STEP3

［条件変更］ボタンをクリックします。
→条件変更パネルが表示されます。



［検索範囲の指定］

検索する範囲を日時で指定します。
始点、終点について、それぞれ年月日時刻の［▲］／［▼］ボタンをクリックして設定します。

［検出エリアの設定］

画像表示上でエリアとなる四角形の左上と右下にあたる位置をクリックします。
→設定したエリアがグレー表示になり、動作検知サーチの対象となります。

メモ

- 検出エリアは、画像表示部を16×16分割した状態に合わせて設定されるため、左上と右下で指定した位置とずれることがあります。
- 設定したエリアを削除することはできません。エリアを変更する場合は、再度STEP3の操作をしてください。

［マスク期間の設定］

動作検知サーチに時間がかかる場合や検索結果が多すぎる場合、マスク期間を設定して検知頻度を低くすることができます。マスク期間を設定すると、動作検知してから設定した期間、同じエリア内での動作検知を行いません。
詳細設定パネルの「マスク期間の設定」の［▼］ボタンをクリックして設定します。
マスク期間：1秒／ 5秒／ 10秒／ 30秒／ 1分／ 5分／ 10分
初期設定：10秒

STEP4

［サーチ］ボタンをクリックすると、指定した条件で動作検知サーチを行うことができます。

コピーする

本機に録画された画像を外部記憶装置（外付けHDD、USBメモリー）やDVD（DVD-R、+R）にコピーします。
また、コピーした画像には「個人情報」となる内容が含まれています。情報を漏えいさせないためにもメディアの管理に十分ご注意ください。
コピーは本機が以下の状態のときには実施できません。
- ネットワーク経由で他のユーザーがコピー画面を開いているとき
- ネットワーク経由で他のユーザーがメディア（外部記憶装置／DVD）を選択しているとき
- 再生メディアとしてメディア（外部記憶装置／DVD）を選択しているとき

コピーした画像の再生は、本機または専用のビューワーソフトで行います。ビューワーソフトはコピーを行うと、各メディア（外部記憶装置／DVD）に自動的にコピーされます。ビューワーソフトの操作方法については、195ページをお読みください。本機での再生方法は156ページをお読みください。
本機では、外部記録装置やDVDにコピーした独自形式（n3r：映像、n3a：音声）ファイルまたはMP4形式ファイルを再生することができます。

メモ
- DVDを使用できるのは、DVDドライブ搭載モデルのみです。
- 外部記憶装置に画像をコピーする場合、あらかじめフォーマットしてください。
- コピーにかかる時間は録画データの大きさにより変動します。同じカメラ数、期間を設定した場合でも、高解像度や高画質、高フレームレートにするほど、コピーにかかる時間は長くなります。
- 日時設定や時刻合わせなどにより、同時刻の画像が記録された場合、コピーが正常に行われない場合があります。
- 以下の場合、作業中のコピーが中止されます。
  - コピー中に設定が変更されたとき
  - コピーをはじめたユーザーがログアウトしたとき（ウェブブラウザーの場合は閉じてからコピー中止までは90秒程度かかります）
  - コピー元のデータが消失したとき（データの上書きやHDD故障）

重要
- DVDにコピーした場合、ディスクを取り出すとそのDVDには再度コピーすることはできません。

STEP1

本機のコピーポート［COPY］に外部記憶装置を接続する、または本機にDVDを挿入します。

STEP2

メインモニターの操作画面表示で操作パネルの［コピー］ボタンをクリックします。

→コピーパネルが表示されます（再生中の場合は一時停止します）。

メモ
- ウェブブラウザーから他のユーザーがコピーパネルを表示しているときは、コピーパネルを表示することができません。すでにコピーが実行されている場合は、コピー中画面が表示されます。

コピーする（つづき）

STEP3

画面の指示に従って、コピーする条件を設定します。
[次へ] ／ [戻る] ボタンを押すことでページが切り替わります。[×]ボタンをクリックすると画面が閉じます。

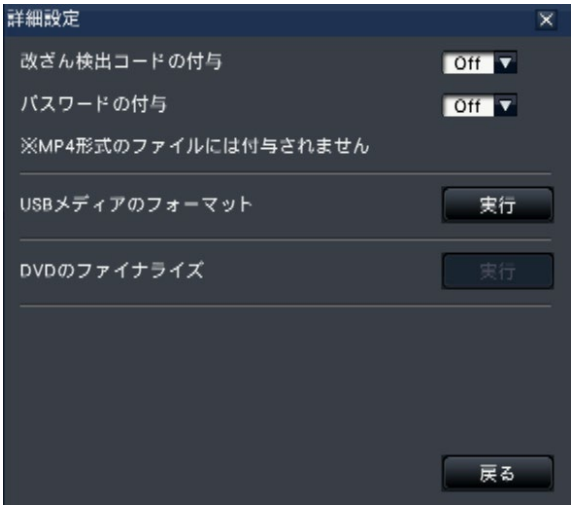
項目	内容
コピー先	コピー先を選択します。（DVDドライブ搭載モデルのみ）
カメラ選択	コピーしたい録画データのカメラ番号にチェックを入れます。[すべて] にチェックを入れるとすべてのカメラを対象とします。
コピー範囲設定	録画データのコピー範囲を日時で設定します。始点、終点をそれぞれ年月日時刻で設定します。 カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、[始点] ／ [終点] ボタンをクリックして、コピー範囲を設定することもできます。
ファイル形式選択	コピーする録画データのファイル形式（独自形式（n3r/n3a）、MP4形式）をチェックを入れます。

残容量：
　コピー先メディアの残容量が表示されます。
データ容量：
　コピー対象とした全録画データの目安のサイズ（ビューワーソフト含む）が表示されます。
　※ データ容量計算中は、*.** GBと表示されます。
　※ 計算中に残容量よりサイズが大きくなると、容量の前に「＞」印が表示され、計算が終了します。
　※ 残容量よりサイズが小さいにも関わらず、「＞」印が表示される場合は、対象とした録画データが10000件以上あることを示しています。

メモ

- H.264またはH.265で録画された画像をMP4形式でコピーすることができます。また、AAC-LCで録音されている場合は、音声付きのMP4形式でコピーされます。
- MP4形式のコピーやダウンロード（☞190ページ）は同時に2ユーザーまで実施可能です。

- コピーする録画データに改ざん検出用のコードを付与する場合、[詳細設定] ボタンをクリックして、表示された詳細設定画面で [改ざん検出コードの付与] を「On」に設定しておきます。



- コピーするデータにパスワードを付与する場合、[詳細設定]ボタンをクリックして、表示された詳細設定画面で[パスワードの付与]を「On」に設定しておきます。
- [戻る] ボタンをクリックするとコピーパネルに戻ります。

STEP4

[コピー実行] ボタンをクリックします。
→ [パスワードの付与] が「On」に設定されている場合、パスワード入力画面が表示されます。
　それ以外はSTEP6に進みます。

コピーする（つづき）

STEP5

パスワードを入力して［次へ］ボタンをクリックします。入力のしかたは「ソフトキーボードを使って文字を入力する」（☞取扱説明書　設置編　11ページ）をお読みください。

- パスワードは5文字以上8文字以内で設定します。
- 確認のため、パスワード確認欄にも同じパスワードを入力してください。
- 入力したパスワードを保存するには、「パスワードを一時的に記憶する」にチェックを入れます。次のデータをコピーする際、すでにパスワードが入力された状態でパスワード入力画面が開きます。パスワードは本機の電源を切るまで記憶されます。

→コピー開始確認画面が表示されます。

STEP6

コピー開始確認画面で、［OK］ボタンをクリックします。

→コピー中の画面に切り換わり、コピーの進捗状況が表示されます。

重要

- コピー中は外部記憶装置を抜かないでください。メディア内のデータが壊れることがあります。
- コピー先の残容量が足りない場合でもメディアの容量がいっぱいになるまでコピーを実行します。コピーできないデータが残らないよう、残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。
- コピーはビューワーソフト→画像→音声の順に行われます。コピーの設定時間やメディアの空き容量によっては、画像や音声がコピーされないことがあります。
- コピー中に、［コピー］ボタンをクリックすると、コピー中画面が表示され、［コピー中止］ボタンをクリックするとコピー中止確認画面が表示されます。コピー中止確認画面表示中もコピーは継続しています。
- コピー中は本機の電源を切らないでください。コピー中に電源を切ると、そのメディアが使用できなくなることがあります。
- 外部記憶装置には最大100万件のデータをコピーすることができます。DVDには最大2万4500件のデータをコピーすることができます。残容量がある場合でもこれらの件数を超えてコピーすることはできません。
- 外部記憶装置（DVDを除く）へ一度にコピーする録画データの個数が多くなればなるほど、ファイルシステムの特性上、極端にコピー時間が長くなります。大量のファイルをコピーする場合は、１回のコピー件数を10000件未満にし、コピーが終了するたびに、外部記憶装置をいったん抜いて再度挿入することをお勧めします。
- コピーの進行度合いは、データ容量に表示されたサイズを元に算出します。10000件以上コピーする場合は、正しい値が表示されません。

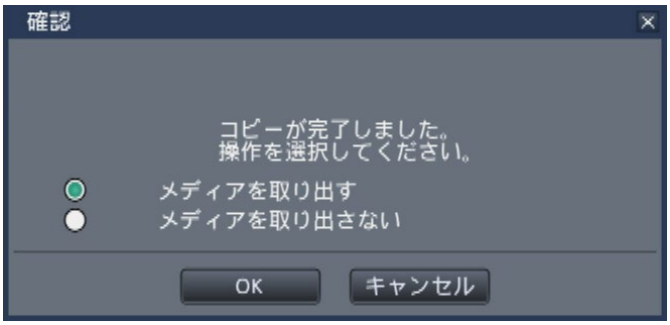
メモ

- 外部記憶装置の容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。外部記憶装置が認識されない場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。

STEP7

コピーが終了すると、コピー終了画面が表示されます。「閉じる」をクリックして外部記録装置を取り外してください。

コピー先がDVDの場合、コピー終了時に確認画面が表示されます。



DVDへのコピーを続ける場合は、「メディアを取り出さない」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

STEP8

必要なデータをコピーし終わったら、確認画面で「メディアを取り出す」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

→ファイナライズの確認画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、DVDのファイナライズ（取り出し処理）が行われ、処理が終了するとDVDが取り出せる状態になります。取り出しボタンを押してください。

コピーする（つづき）

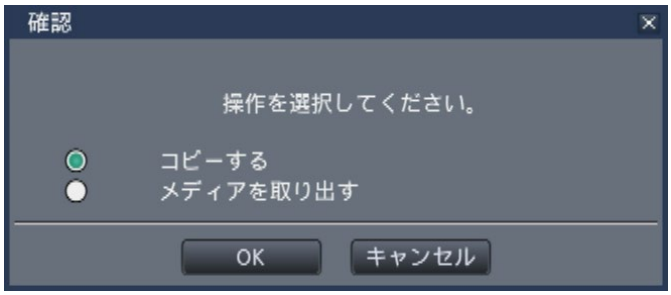
重要

- この操作を行わなければ、DVDドライブの取り出しボタンを押してもトレイは出てきません。
- 一度コピーを行い取り出したDVDは、再度コピーに使用することはできません。
- 「ファイナライズに失敗しました。」と表示された場合は、ディスクは取り出せますが、データを再生することはできません。別のディスクに再度コピーを行ってください。

STEP8の手順以外にもDVDを取り出すには、次のような方法があります。

［コピー］ボタンをクリックする

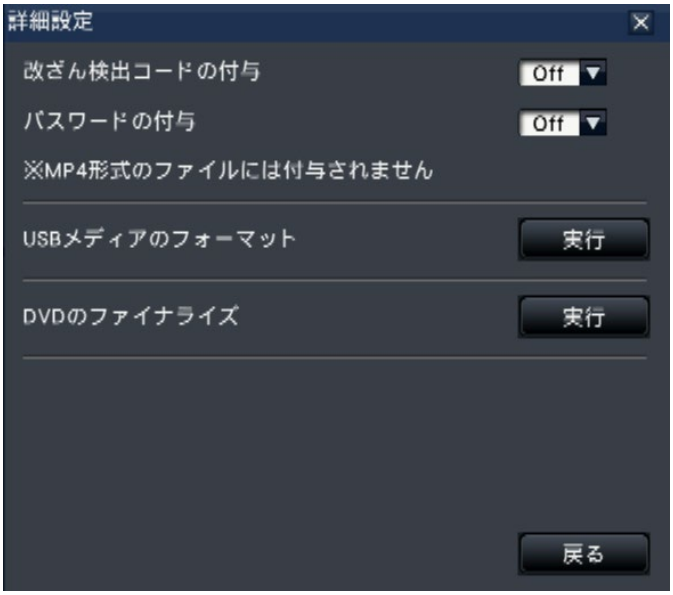
コピー終了後に、メインモニター操作パネルの［コピー］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



「メディアを取り出す」を選択し［OK］ボタンをクリックするとDVDのファイナライズ（取り出し処理）が行われます。処理が終了すると完了画面が表示され、DVDが取り出せる状態になります。取り出しボタンを押してください。

コピーウィンドウからコピー終了処理を行う

コピー終了後に、コピーパネルの［詳細設定］ボタンをクリックし、詳細設定画面で「DVDのファイナライズ」の［実行］ボタンをクリックします。



→確認画面が表示され、［OK］ボタンをクリックするとDVDのファイナライズ（取り出し処理）が行われます。処理が終了すると完了画面が表示され、DVDが取り出せる状態になります。取り出しボタンを押してください。

コピーする（つづき）

USBメディアをフォーマットする

本機で認識できるUSBメディアは、本機でフォーマットすることができます。

重要

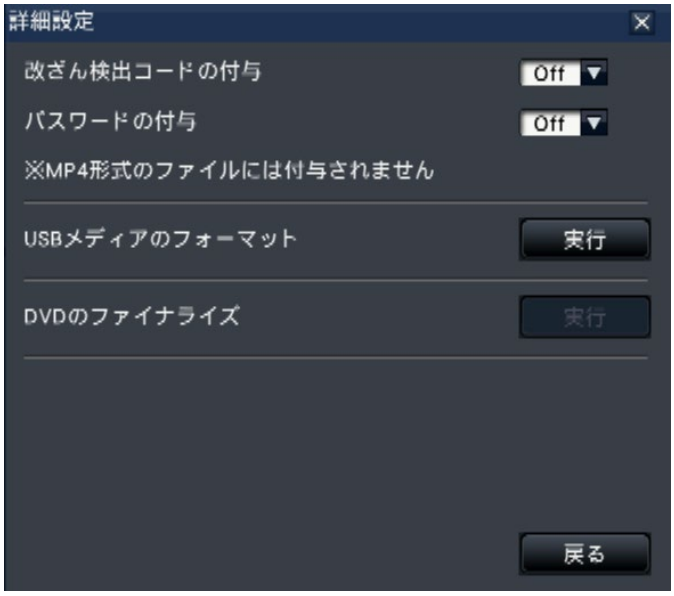
- フォーマットすると記録されていたデータや設定データはすべて消去されてしまいます。消去した画像は復元できません。
- 本機が認識できるファイルシステムはexFATまたはFAT(FAT16)、FAT32です。
- NTFSなど本機で認識できないファイルシステムのUSBメディアをフォーマットすることはできません。
- 本機は、USBメディアの容量に応じてFAT(FAT16)、FAT32、exFATでフォーマットします。

STEP1

メインモニターの操作パネルの［コピー］ボタンをクリックします。（☞151ページ）
→コピーパネルが表示されます。

STEP2

［詳細設定］ボタンをクリックします。（☞151ページ）
→詳細設定画面が表示されます。



STEP3

「USBメディアのフォーマット」の［実行］ボタンをクリックします。
→確認画面が表示されます。

STEP4

［OK］ボタンをクリックします。
→USBメディアのフォーマットが開始され、実行中画面が表示されます。
終了すると、完了画面が表示されます。

重要

- フォーマット中は本機の電源を切らないでください。

コピーデータを本体で再生する

外部記憶装置またはDVD※にコピーした録画画像（コピーデータ）をリストに表示し、その中から選択して再生します。コピーデータは条件を絞り込んで検索することができます。
※DVDドライブ搭載モデルのみ

重要
- 外部記録装置やDVDにコピーしたn3r（映像）／n3a（音声）ファイルまたはMP4ファイルを再生することができます。

STEP1

本機に録画データがコピーされた外部記録装置やDVDを挿入します。

STEP2

再生操作パネルの再生メディアで［USB］または［DVD］を選択します。
→メディア再生パネルが表示されます。リストには10000件まで表示されます。10000件を超えている場合は、件数に［> 10000］と表示されます。

メモ
- コピーデータが多いとリスト表示に時間がかかります。

STEP3

コピーデータリストの表示件数を絞り込む場合、［条件変更］ボタンをクリックします。条件変更パネルが表示されます。
絞り込みをしない場合は、STEP5に進んでください。

カメラで絞り込む場合

「メインモニターに表示中のカメラ番号で絞り込む」を選択します。対象が画像表示されているカメラになります。

日時指定で絞り込む場合

絞り込み範囲を日時で指定します。始点、終点について、それぞれ年月日時刻の［▲］／［▼］ボタンをクリックして、絞り込む範囲を設定します。

ファイル形式の指定

絞込みを行う形式を選択します。

メモ
- STEP2において、カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、［始点］／［終点］ボタンをクリックして、絞り込み範囲の始点と終点を設定することもできます。

コピーデータを本体で再生する（つづき）

STEP4

［サーチ］ボタンをクリックします。
→設定した絞り込み条件で検索した結果がリスト表示されます。［前ページ］／［次ページ］ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。

メモ

- コピーデータが多いとリスト表示に時間がかかります。

STEP5

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネルの再生ボタンをクリックします。
→選択した日時から再生を開始します。多画面表示にしていた場合は、1画面表示に切り換わります。

メモ

- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。
- 選択したコピーデータにパスワードが付与されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。付与したパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。パスワードが一致しないと、そのコピーデータの再生はできません。入力のしかたは「ソフトキーボードを使って文字を入力する」（☞取扱説明書　設置編 11ページ）をお読みください。
- 外部記憶装置の容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。外部記憶装置が認識されない場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。
- 複数のデータを連続して再生すると、音声がずれて出力される場合があります。その場合は、再生を一時停止して、もう一度再生し直してください。

STEP6

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。
→再生が停止し、ライブ画像が表示されます。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
  - メディア再生パネルの［×］ボタンをクリックしたとき
  - 日時操作パネル（再生中表示）の［現在時刻］ボタンをクリックしたとき
  - 再生メディアを変更したとき

操作項目一覧

下記の「大項目」は主に操作、「中項目」、「小項目」、「詳細」は主にメインモニターやブラウザーの各操作メニューを表しています。

○は操作可能、△は一部制限あり、×は操作不可を表しています

大項目	中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
ライブモニタリング	メインモニター	操作画面表示	画像表示部		○	○
			状態表示パネル		○	○
			操作パネル	※ブラウザーはツリー表示が可能。	○	○
			［全画面表示］ボタン		○	○
		全画面表示	画像表示部		○	○
			状態表示パネル		○	×
			操作パネル	※ブラウザーはマウス右クリックで表示されます。	○	○
			［操作画面表示］ボタン	※ブラウザーはマウス右クリックで表示されます。	○	○
	サブモニター	−	−	※サブモニターの設定は出来ますが、実際のサブモニターの映像はブラウザーでは表示出来ません。	○	×
	操作パネルについて	画面分割ボタン	−	※ブラウザーは4画表示しか出来ません。	○	△
		デジタルズームボタン	−	※本体はx1, x1.25, x1.5, x1.75, x2, x2.5, x3, x3.5, x4, x5, x6, x7, x8、ブラウザーはx1, x2, x4 ※本体は1画／ 4画面表示のとき、ブラウザーは1画表示のときのみ ※本体はマウスホイールでも操作可能	○	△
		ミュートボタン	−	※ブラウザーはPCの設定でミュート出来ます。	○	×
		魚眼補正（1PTZ／4PTZ）ボタン	−		○	×
		全画面表示でカメラ表示位置の変更	−	※ブラウザーはカメラ番号順で固定	○	×
		全画面表示でデジタルズーム	−	※本体は1画表示のときのみホイール操作で可能	○	×
カメラ操作	カメラ操作	カメラ操作	−	※本体は1画／ 4画時、ブラウザーは1画時のみ	○	○
		パンチルト	PTボタン		○	○
			PTパッド		×	○
			クリックセンタリング		○	○
		ズーム	ズームボタン		○	○
			マウスホイールズーム		○	○
			ドラッグズーム		○	○
		フォーカス	−		○	○
		明るさ	−		○	○
		自動モード	−		○	○
		プリセット	プリセット登録		○	○
			プリセット移動		○	○
			ホームポジション移動		○	○
		カメラをマウスで操作する	−	※HDMIモニターの画像上でのマウス操作の可／不可の切換のため、ブラウザーからは設定出来ません。	○	×
	カメラ設定	ホームポジション登録	−		○	○
		オートバックフォーカス実行	−	※カメラのブラウザーで設定して下さい。	○	×
		マスクエリア設定	−	※カメラのブラウザーで設定して下さい。	○	×
		ズーム／フォーカス調整	−	※カメラのブラウザーで設定して下さい。	○	×
		初期位置設定	−	※全方位カメラの傾き、上下の角度調整、画像切り出し位置の左右調整を行います	○	×

操作項目一覧（つづき）

大項目	中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
アラーム動作	イベント発生時の動作	−	−		○	○
	ブザーのみ停止する	−	−		○	×
	アラーム動作を解除する	−	−		○	○
	エラー動作を解除する	−	−		○	○
	アラーム履歴を表示する				○	○
	エラー履歴を表示する				○	○
録画	録画する（スケジュール録画）	−	−		○	○
検索・再生	再生する	再生操作パネル	再生		○	○
			停止		○	○
			一時停止		○	○
			コマ送り／逆コマ送り		○	○
			早送り／早戻し		○	○
			スキップ／逆スキップ		○	○
			最新再生		○	○
			ジャンプ再生		○	×
			スナップショット		○	×
			再生状態表示		○	○
			全画面表示		○	○
		メディア選択	−		○	○
		メディア再生	−		○	×
	検索して再生する	日時を指定して再生する	−		○	○
		最新の録画画像を再生する	−		○	○
		タイムラインで指定して再生する	−	※ブラウザーでは、タイムラインの表示がありません、録画イベントのリストから再生して下さい。	○	×
		録画・イベントリストで指定して再生する	−		×	○
		アラーム/エラー履歴から選択して再生する（履歴サーチ）	−		○	○
		録画画像に動きのある日時を検索して再生する（動作検知サーチ）	−		○	○
		サムネイルを指定して再生する	−		○	×
コピー・ダウンロード	コピー	−	−	※ビューワーソフトは録画画像と一緒にコピーされます。	○	○
	USBメディアをフォーマットする	−	−		○	×
	DVDをファイナライズする	−	−		○	○
	データダウンロード(PCへ)				×	○
	ビューワーダウンロード（PCへ）				×	○

ネットワーク設定を行う

本機の操作は、マウスを接続して操作する以外に、PCのウェブブラウザーから行うことができます（一部の機能や設定を除きます）。本ページ以降では、ウェブブラウザーからの操作方法とPCの事前準備などを説明します。

ウェブブラウザーから本機を操作する場合、まず、本機やPCのネットワーク設定を行う必要があります。
PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。接続完了後、ウェブブラウザーから本機の設定および操作を行うことができます。
IPアドレス: 192.168.0.2～192.168.0.249、192.168.0.251～192.168.0.254
サブネットマスク: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1
上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークの設定を行ってください。

本機のネットワーク設定を行う

本機のネットワーク設定は、設定メニュー［詳細設定］の［ネットワーク］の［基本］タブで行います。
操作方法など詳細については、57ページの設定メニュー［ネットワーク］–［基本］タブの項をお読みください。

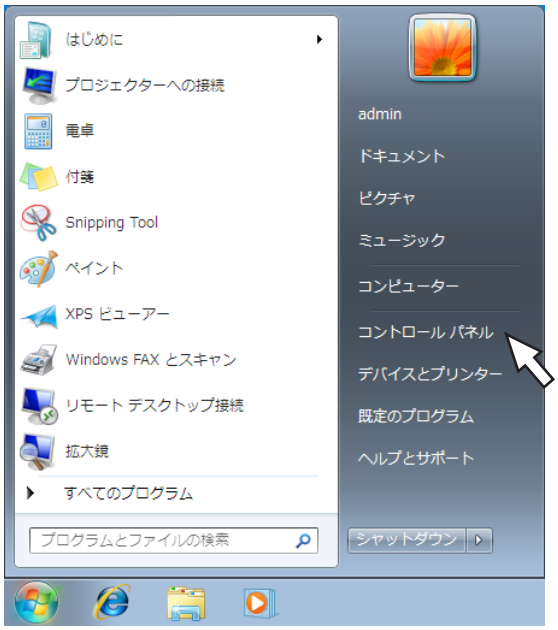
PCのネットワーク設定を行う

PCのTCP/IPの設定を本機の設定に合わせて変更します。本機を初期設定値（IPアドレス：192.168.0.250）で使用する場合は、PCのIPアドレスを「192.168.0.xxx（xxxは2～254。ただし、250（本機）を除く）」に設定します。
本書では、Windows 7の標準設定を例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

ネットワーク設定を行う（つづき）

STEP1

スタート画面からコントロールパネルを選択します。



→コントロールパネルが表示されます。

重要

- 「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

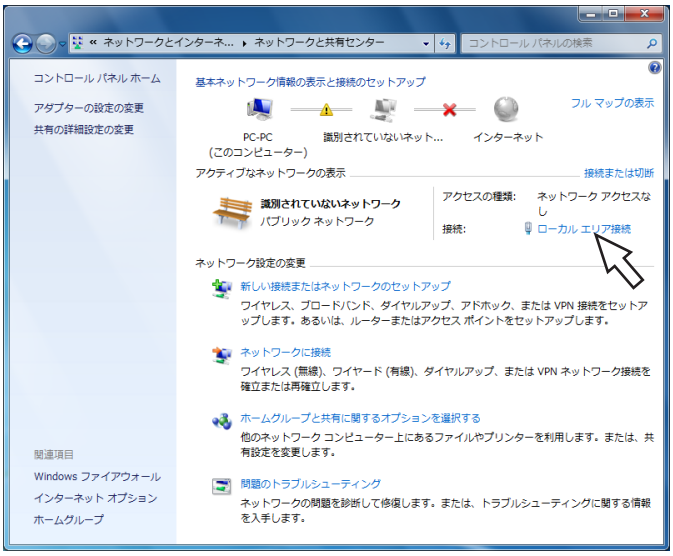
STEP2

「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

→ネットワークと共有センター画面が表示されます。

STEP3

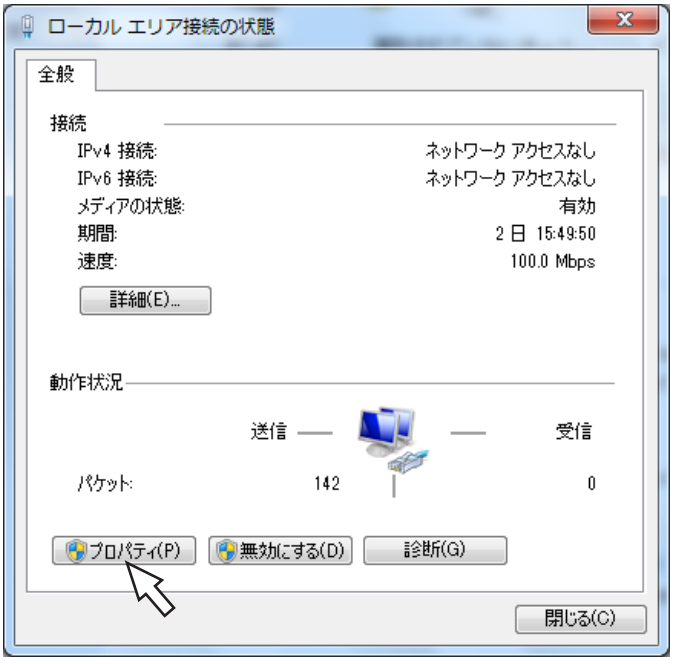
「ローカルエリア接続」をクリックします。



→ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。

STEP4

[プロパティ (P)] をクリックします。

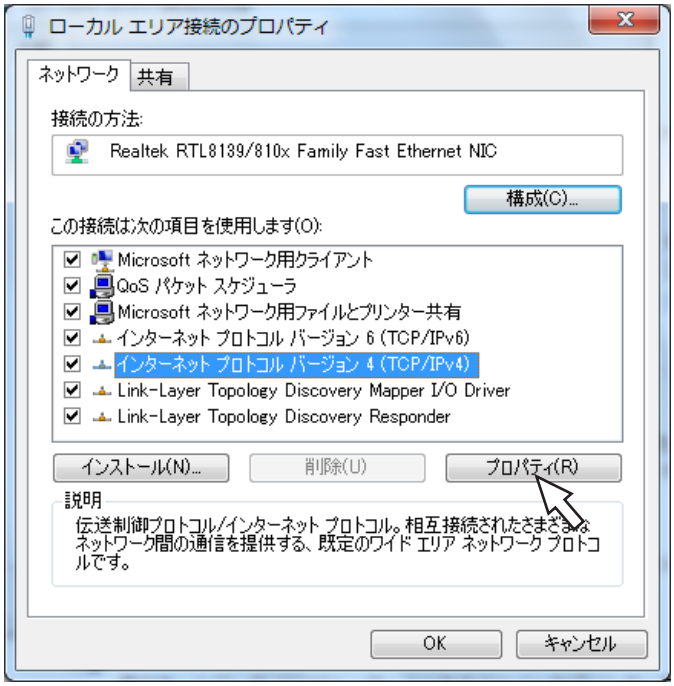


→ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

ネットワーク設定を行う（つづき）

STEP5

「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」をクリックし、[プロパティ (R)] をクリックします。

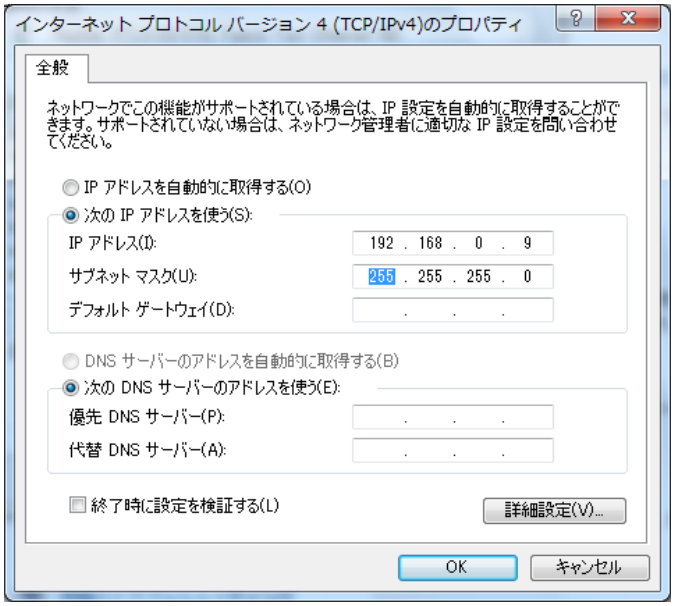


→インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ画面が表示されます。

STEP6

[次のIPアドレスを使う(S):] をクリックし、「IPアドレス(I):」と「サブネットマスク(U):」を以下のように設定します。

- IPアドレス：192.168.0.9
- サブネットマスク：255.255.255.0



ネットワークの構成によっては「デフォルトゲートウェイ(D):」の設定が必要です。設定については、システムの管理者にご確認ください。

STEP7

[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

本機のネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

①ユーザー認証によるアクセスの制限
ユーザー認証の設定を「On」にすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。
(☞66ページ)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限
HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャニングなどの不正アクセスを防止することができます。
(☞60ページ)

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのウェブブラウザーを閉じてください。
- 管理者のパスワードは、セキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

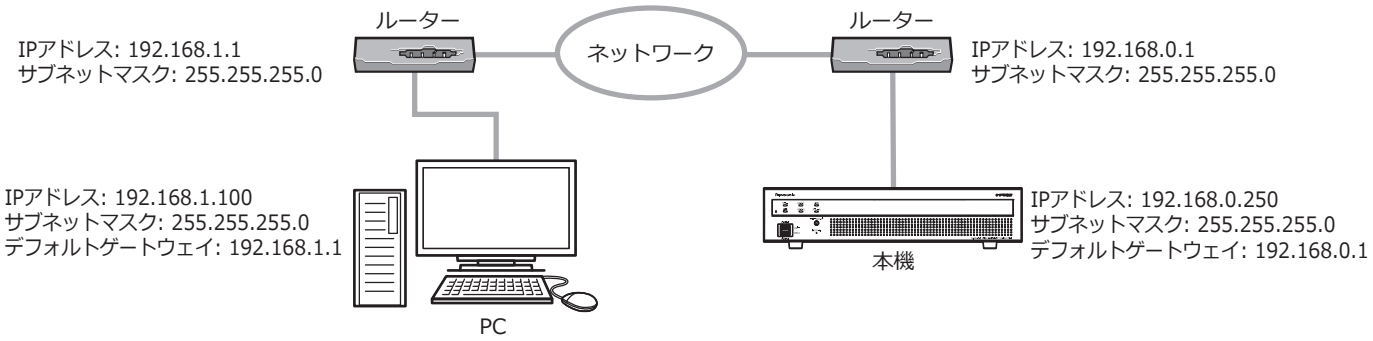
セキュリティ強化のために

セキュア拡張のライセンスを追加登録することで、本機とカメラ間の通信を暗号化し、ネットワークセキュリティを強化します。また、録画データを暗号化することで、さらにセキュア性を向上することができます。
セキュア拡張の追加はお買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。設定の詳細については、CD-ROM内の「取扱説明書　セキュア拡張キット」をお読みください。
また、下記の対策によりネットワークセキュリティを強化することも可能です。
ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を2重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。本機をセキュリティの確保されていないネットワークに接続する場合、本機とホストPCの間にVPN（Virtual Private Network）機器を挿入するなどして、セキュリティを確保してから接続してください。

重要

- ネットワークのセキュリティの設定は、本機が接続される社内LAN（Local Area Network）やサービスプロバイダーなどの設定により異なります。各ネットワークのセキュリティについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。

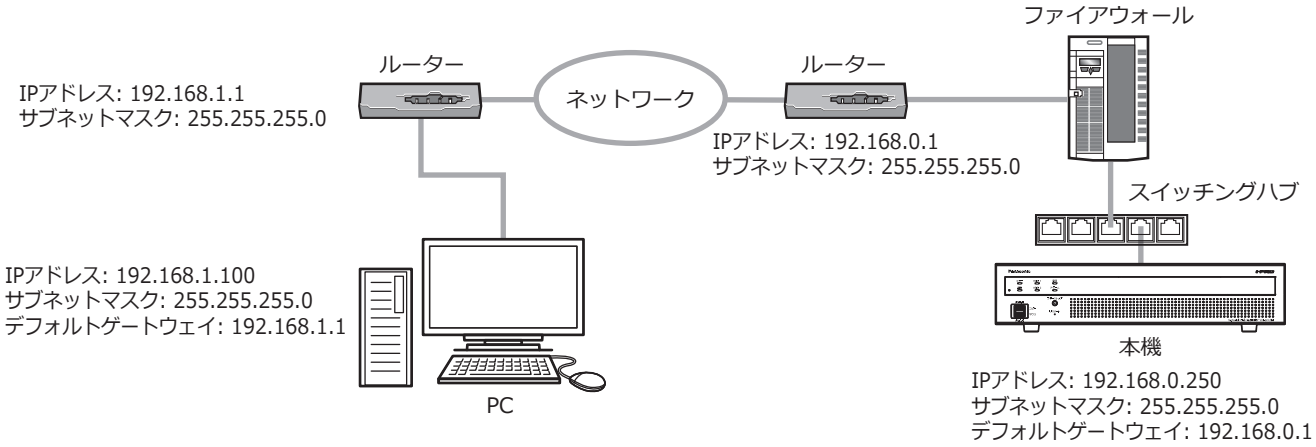
[接続例]



本機のネットワークセキュリティについて（つづき）

さらにファイアウォールなどを使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

[接続例]



操作画面を表示する

PCを起動して、インストールされているウェブブラウザーから本機を操作します。

STEP1

ウェブブラウザーを起動します。

STEP2

本機に設定されたIPアドレス、または本機のURLを［アドレス］ボックスに入力し、Enterキーを押します。

→認証画面が表示されます。設定メニュー［詳細設定］の［ユーザー管理］－［基本］タブの「ユーザー認証」が「Off」に設定されている場合、この画面は表示されません。

重要

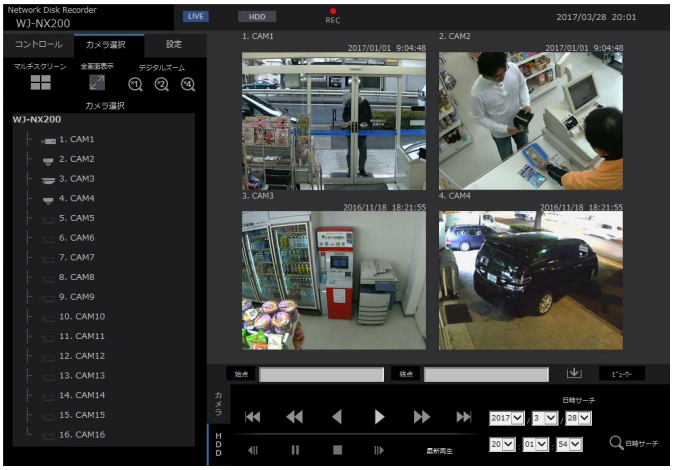
- 設定してあるIPアドレスについてはネットワークの管理者にご確認ください。
- IPアドレスを入力するときは、先頭に「0」を付けないでください。
  例：○　192.168.0.50
  　　×　192.168.0.050
- 情報バーにメッセージが表示される場合は214ページをお読みください。
- 文字が表示されない場合は、IEの互換表示設定と信頼済みサイトに、本機に設定されたIPアドレスを追加してください。

メモ

- 最初に本機のトップページをPCに表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveXのインストールは「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし、ウェブブラウザーを管理者として実行する必要があります。
- ActiveXをインストールすると、ビューワーソフト（☞193ページ）も同時にインストールされます。
- 本機以外の弊社製レコーダーのActiveXがインストール済みの場合、「プログラムのアンインストール」で［WebVideo ActiveX］を削除した後、本機のActiveXをインストールしてください（☞193ページ）。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
- ActiveXは、PCごとにライセンスが必要です。本機はPC1台分のライセンスを保有しています。ライセンスについては、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

STEP3

本機に登録されているユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
→トップページが表示されます。



重要

- 設定してあるユーザー名、パスワードについてはシステムの管理者にご確認ください。
- ユーザー登録のしかたは67ページをお読みください。
- パスワードは定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、67ページをお読みください。
- 情報バーにメッセージが表示される場合やポップアップ表示された画面に不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される場合は214ページをお読みください。

操作画面について

トップページ

[コントロール] タブ
録画画像の検索やコピーなどの操作、検索結果およびログ情報を表示します。
また、カメラのライブ画像の多画面表示（マルチスクリーン）や、全画面表示など、カメラ画像の切り換えができます。

[カメラ選択] タブ
表示するカメラ画像の切り換えなど、カメラの操作ができます。

[設定] タブ
本機の設定ができます。
各種設定項目や設定内容の詳細については14ページ以降の「本体設定」をお読みください。また、基本的な操作方法については、199ページをお読みください。

ステータス表示部
録画画像の再生状況や録画状態など、本機の状態を表示します。

現在日時表示部
現在の日時を表示します。

画像表示部
ライブ画像や再生画像を表示します。画像の左上にはカメラタイトル、右上には日時（ライブ画像はカメラの現在日時、再生画像は録画日時）を表示します。多画面表示中にカメラタイトルをクリックすると、クリックしたカメラの画像を1画面表示します。

ダウンロード操作部
再生画像やビューワーソフトをダウンロードします。

[カメラ] タブ
ズームやフォーカス、自動モードなどのカメラ操作ができます。

[HDD] タブ
録画画像の再生操作ができます。

操作画面について（つづき）

コントロールパネル

［コントロール］タブをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。

［マルチスクリーン］ボックス
最大4台のカメラ画像を同時に多画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、カメラ1-4→カメラ5-8→カメラ9-12→カメラ13-16のように、4画面ずつ切り換えて表示します。

［全画面表示］ボックス
カメラのライブ画像、再生画像を画面全体に表示します。（☞174ページ）

［デジタルズーム］ボックス
クリックしたボタンの倍率で1画面表示のカメラ画像を表示します。
［x1］：1倍　［x2］：2倍　［x4］：4倍

［サーチ］ボックス
録画画像を検索再生する場合に使用します。検索結果はリスト表示部に表示されます。

●［録画イベント］ボタン
［ディスク／メディア］で「HDD」を選択すると表示されます。録画イベントサーチ画面を表示します。

●［動作検知］ボタン
［ディスク／メディア］で「HDD」を選択すると表示されます。動作検知サーチ画面を表示します。

●［コピーデータ］ボタン
［ディスク／メディア］で「USB」または「DVD」を選択すると表示されます。コピーデータサーチ画面を表示します。

ディスク／メディア
再生画像の保存先を選択します。
HDD ／ USB ／ DVD

［コピー］ボタン
［ディスク／メディア］で「HDD」を選択すると操作できます。
コピー画面を表示します。録画画像を外部記憶装置にコピーする場合に使用します。

［履歴表示］ボックス
表示するログを選択します。
各ボタンをクリックすると、該当する履歴情報をリスト表示部に表示します。
表示する内容：アラーム履歴、エラー履歴

●［閉じる］ボタン
表示された履歴情報を閉じます。

操作画面について（つづき）

リスト表示部

件数　　：リストアップされたデータのトータル件数を表示します。
No.　　：発生順に番号を表示します。
発生日時：イベントや障害が発生した日時を表示します。
内容　　：発生イベントや障害内容を表示します。記録できる件数は、それぞれ以下のとおりです。上限を超えると、古い履歴、ログから上書きされます。
　アラーム履歴　　：1000件
　エラー履歴　　：1000件

リストの日時をクリックすると、その日時から（履歴／ログ情報の場合は約5秒前から）再生を開始できます。

検索結果およびコピーデータのリスト表示については、それぞれ「検索して再生する」（☞184ページ）、「コピーした画像リストを確認する」（☞191ページ）をお読みください。

メモ

- アラーム履歴のプレ録画時間を5秒より長く設定している場合に、プレ録画の先頭から再生するには、再生ボタンをクリックしてから、逆スキップボタンをクリックしてください。
- 選択した履歴の録画データが、すでに上書きなどにより消去されている場合は、正しいデータを再生できません。

カメラ選択パネル

［カメラ選択］タブをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。画像表示部の切り換えやカメラ画像を選択します。

［マルチスクリーン］ボックス、［全画面表示］ボックス、［デジタルズーム］ボックスについては、「コントロールパネル」（☞167ページ）をお読みください。

カメラ選択ボックス

カメラタイトルをクリックすると、選択したカメラの画像を画像表示部に1画面で表示します。［モニター］–［ウェブブラウザー］の［グループ表示］設定を「On」（☞200ページ）にすると、カメラをグループ表示することができます。

操作画面について（つづき）

設定パネル

［設定］タブをクリックすると、以下の設定パネルが表示されます。本機の日時表示などの設定を変更することができます。
各種設定項目や設定内容の詳細については14ページ以降の「本体設定」をお読みください。また基本的な操作方法については199ページをお読みください。

［日時・Language］ボタン
日時・Language（言語）ページを表示します。日時の設定やサマータイム設定などを行います。

［カメラ］ボタン
カメラページを表示します。
ネットワークカメラの登録を行います。

［録画・イベント］ボタン
録画イベントページを表示します。録画のスケジュールやアラームに関する設定を行います。

［モニター］ボタン
メインモニターやサブモニターに関する設定を行います。

［ネットワーク］ボタン
ネットワーク接続に関する設定を行います。

［ユーザー管理］ボタン
ユーザーの登録、変更、削除や管理者設定を変更します。

［メンテナンス］ボタン
本機のシステム情報を表示します。ライセンスの登録やソフトウェアの更新を行います。

［HDD管理］ボタン
HDDをフォーマットしたり、HDDの運用モードを変更したりします。

［拡張機能］ボタン
セキュリティ機能を設定します。

操作画面について（つづき）

ステータス表示部

ライブ／再生状態表示部

ライブ画像、再生画像の状態を表示します。表示される情報は以下のとおりです。

- LIVE ：ライブ画像を表示中です。
- ▶ ：録画画像を再生中です。
- ◀ ：逆再生中です。
- ▶▶ ：高速再生中です。
- ◀◀ ：高速逆再生中です。
- ⏸ ：一時停止中です。
- DL ：録画画像・音声をダウンロード中です。
- END ：録画画像・音声のダウンロードが終了しました。

［Step 1］～［Step 7］

：再生速度を表示します。

- Step1 ：1倍速
- Step2 ：約4倍速
- Step3 ：約8倍速
- Step4 ：約16倍速
- Step5 ：約32倍速
- Step6 ：約48倍速
- Step7 ：約96倍速

HDD ：再生メディアとしてHDDを選択中です。

DVD ：再生対象メディアとしてDVDを選択中です。

FINALIZE ：ファイナライズ中です。

USB ：USBメディアを選択中です。

FORMAT ：HDDまたはUSBメディアをフォーマット中です。

SD ▶ HDD ：SDメモリーデータを取得中です。

FILTERING ：録画イベントを絞り込み検索中です。

録画ランプ

録画状態を表示します。

- REC ：録画中です。
- REC ：録画していません。

その他状態表示部

以下の状態を表示します。

- BUSY ：優先度の高いユーザーがカメラを操作しているため、カメラを操作できません。
- COPY ：コピー動作中です。
- DELETE ：画像データを消去中です。（自動消去処理中のみ）

アラームボタン［ALM］

イベント発生時に表示されます。クリックすると、アラーム動作を解除できます。

エラーボタン［ERR］

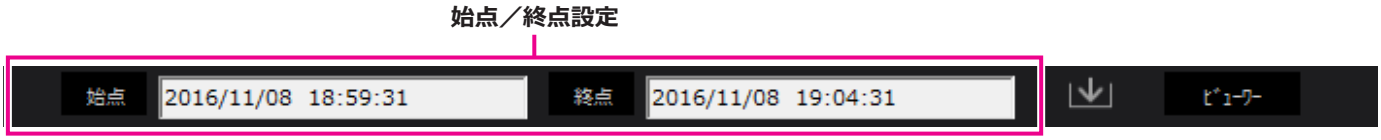
エラー発生時に表示されます。クリックすると、エラー動作を解除できます。

メモ

- 緊急録画中に［ALM］ボタンをクリックしても、緊急録画は停止されません。ただし、緊急録画の録画時間設定が「Ext.」に設定されている場合は、録画を停止します。

操作画面について（つづき）

ダウンロード操作部



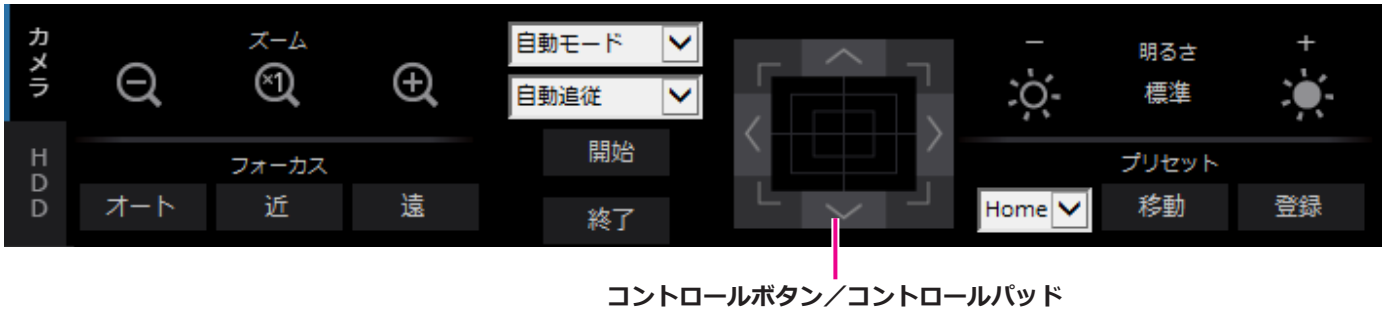
始点／終点設定
ダウンロードする画像と音声の範囲を、始点／終点の日時で設定します。1画面で再生中のみ設定できます。（☞190ページ）

［ダウンロード］ボタン
指定した日時の画像・音声をダウンロードできます。

［ビューワー］ボタン
ダウンロードした画像と音声を再生するビューワーソフトをダウンロードできます。

［カメラ］タブ

回転機能付きカメラのライブ画像を1画面で表示しているとき、カメラの操作ができます。接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。



［ズーム］ボックス
［－］ボタンまたは［＋］ボタンをクリックしてズームを調整します。［x1］ボタンをクリックするとズームの倍率は1 倍に戻ります。

［フォーカス］ボックス
［近］ボタンまたは［遠］ボタンをクリックして、カメラ画像の焦点を調整します。［オート］ボタンをクリックすると、自動で焦点を調整（オートフォーカス）します。

［自動モード/AUX/ワイパー］ボックス
ボックス内の操作モードを切り換えて使用します。詳細は177ページ参照。

コントロールボタン／コントロールパッド
パッド周囲にあるボタンをクリックすると、クリックした方向にカメラの向きが移動（パン／チルト）します。また、コントロールパッド内をクリックしても、画像の水平位置／垂直位置を調整（パン／チルト）できます。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの移動量が多くなります。

［明るさ］ボックス
［暗（－）］ボタンまたは［明（＋）］ボタンをクリックして、レンズの絞りを調整します。［標準］ボタンをクリックすると、明るさの設定をリセットできます。

操作画面について（つづき）

[プリセット] ボックス
●[登録] ボタン
カメラの向きを指定するプリセットポジションに登録します。
カメラを登録したい方向へ向け、[▼] ボタンをクリックして登録したいプリセット番号 (1 ～ 256) を選択し、[登録] ボタンをクリックします。([Home] への登録はできません)

●[移動] ボタン
あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。
[▼] をクリックしてプリセット番号（[Home]、1 ～ 256）を選択し、[移動] ボタンをクリックします。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録してください。

[HDD] タブ

[再生] ／ [逆再生] ボタン
録画画像を再生／逆再生します。

[高速再生] ／ [高速逆再生] ボタン
録画画像を順方向／逆方向に高速再生します。
ボタンをクリックするたびに、速度がStep2（約4 倍)、Step3（約8 倍)、Step4（約16 倍)、Step5（約32 倍)、Step6（約48 倍)、Step7（約96 倍）と切り換わります。

[スキップ] ／ [逆スキップ] ボタン
順方向／逆方向にスキップして次の録画画像を再生します。

[コマ送り] ／ [逆コマ送り] ボタン
再生中や一時停止中にクリックすると、順方向／逆方向に1コマ再生し、一時停止します。

[一時停止] ボタン
再生中にクリックすると、再生を一時停止します。一時停止中にクリックすると、再生を開始します。

[停止] ボタン
再生を停止して、カメラのライブ画像を表示します。

[最新再生] ボタン
表示しているカメラの最新の録画日時の約10秒前の画像から再生を開始します。記録の設定によっては、10秒以上前から再生される場合があります。

[日時サーチ] ボックス
見たい画像の日時を指定して再生します。[▼] ボタンをクリックして再生したい画像の日時を選択します。
[日時サーチ] ボタンをクリックすると選択した日時の画像を再生します。

カメラのライブ画像を見る

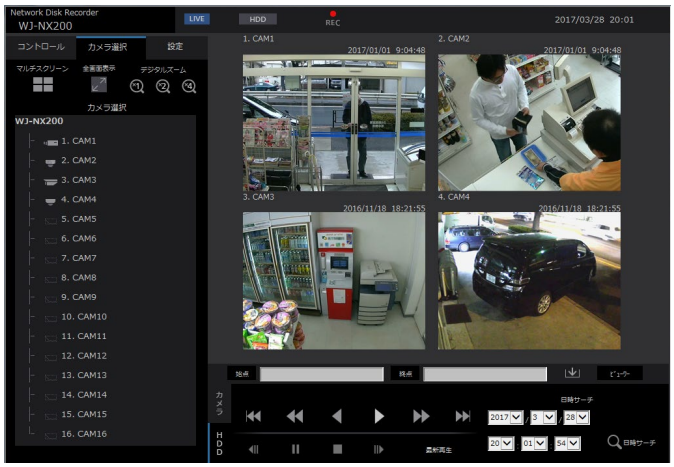
カメラのライブ画像をウェブブラウザーに表示します。1画面または4画面分割での表示や画像表示部を画面全体に拡げて表示することができます。

1画面で表示する

1画面でカメラのライブ画像を表示します。

STEP1

［カメラ選択］タブをクリックします。
→［カメラ選択］ボックスにカメラのリストが表示されます。（☞168ページ）



STEP2

カメラタイトルを選択します。
→選択したカメラのライブ画像が1画面で表示されます。

メモ

- カメラ画像上で右クリックし表示されたメニューからカメラを選択しても、カメラ画像を切り換えることができます。
- ライブ画像を表示しているときに、［HDD］タブの［最新再生］ボタンをクリックすると、表示しているカメラの最新の録画日時の約10秒前の画像から再生を開始します。記録の設定によっては、10秒以上前から再生される場合があります。

デジタルズームを使用する

ライブ画像を拡大表示します。
1画面表示しているとき、［デジタルズーム］ボックスのボタンをクリックします。
［x1］ボタン：1倍で表示します。
［x2］ボタン：2倍で表示します。
［x4］ボタン：4倍で表示します。
ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

全画面表示にする

ライブ画像を画面全体に拡げて表示します。1画面表示しているときに、[全画面表示]ボックスのボタンをクリックします（操作パネルは非表示となります）。
全画面表示から通常表示に戻すには、画像上で右クリックし、表示されたメニューの［操作画面表示］を選択します。

メモ

- カメラ画像上で右クリックし、表示されたメニューの［全画面表示］を選択して、全画面表示にすることもできます。

4分割画面で表示する（マルチスクリーン）

カメラの画像を4画面に分割して表示します。

STEP1

[カメラ選択]タブをクリックします。
→［カメラ選択］ボックスにカメラのリストが表示されます。（☞168ページ）

STEP2

[マルチスクリーン]ボックスのボタンをクリックします。
→カメラ画像が4画面で表示されます。

STEP3

ボタンをクリックするたびに、カメラ1-4→カメラ5-8→カメラ9-12→カメラ13-16…とカメラ画像が切り換わって4画面表示されます。カメラが4台とも登録されていない4画面はスキップされます。

STEP4

[カメラ選択]ボックスのカメラタイトル、または画像に表示されたカメラタイトルをクリックします。
→1画面表示に戻ります。

メモ

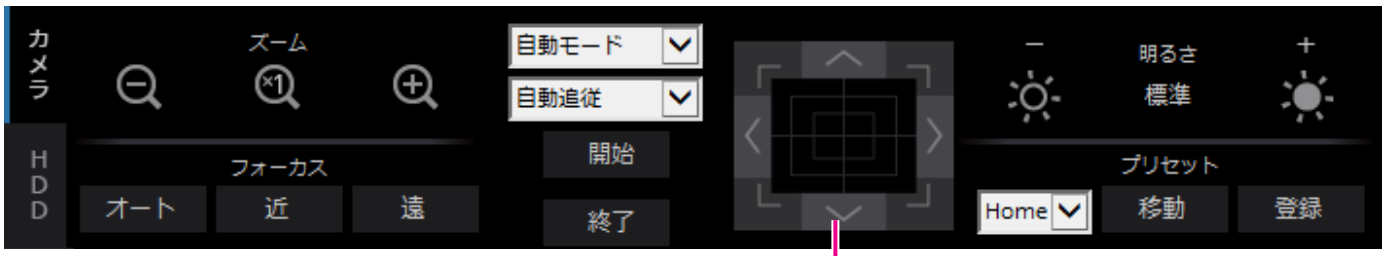
- カメラ画像上で右クリックし、表示されたメニューから多画面表示に切り換えることができます。
- 4画面表示で右クリックし表示されたメニューから［全画面表示］を選択すると、4画面で拡大表示します。
- FHD（1920×1080）を超える解像度を設定した場合、リフレッシュ間隔に従って表示します。
- 録画設定の解像度が高い場合は、表示画像が粗くなります。全画面や1画面で表示すると鮮明に表示されます。
- ライブ画像を表示しているときに、[HDD]タブの［最新再生］ボタンをクリックすると、表示しているカメラの最新の録画日時の約10秒前の画像から再生を開始します。記録の設定によっては、10秒以上前から再生される場合があります。
- 4画面で表示しているときは、左上のカメラの音声が流れます。
- 4画面で表示中に動作検知サーチの操作をすると、左上のカメラの画像が検索の対象となります。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を1画面で表示しているとき、以下のカメラ操作ができます。接続されたカメラの機種によってはカメラの操作ができないか、一部動作しない機能があります。

- ●パン／チルト　：カメラ画像の水平・垂直位置を調整します。
- ●ズーム　：カメラ画像を拡大／縮小表示します。
- ●フォーカス　：カメラ画像の焦点を調整します。
- ●明るさ　：レンズの絞りを調整します。
- ●プリセット動作　：カメラの向きを指定するプリセットポジションに登録し、カメラの向きを移動します。
- ●自動モード／ AUX ／ワイパー　：カメラに設定された自動モード機能／ AUX機能／ワイパー機能を動作させます。

カメラ操作は、トップページで［カメラ］タブを表示して行います。



パン／チルト操作

ライブ画像が1画面表示のときに、以下のいずれかの操作でカメラ画像の水平位置・垂直位置を調整します。

コントロールボタン
クリックしてカメラの向きを調整します。

コントロールパッド
クリックしてカメラの向きを調整します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの移動量が多くなります。

メモ
- ●カメラ画像内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置が中心となるようにカメラの向きが移動します。

カメラを操作する（つづき）

ズーム操作

カメラ画像を拡大／縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
[－] ボタンまたは［＋］ボタンをクリックしてズームを調整します。[x1] ボタンをクリックするとズームの倍率は1倍に戻ります。

メモ
- マウスホイールの操作でもズームを調整できます。
- マウスのドラッグ操作で表示したい範囲を選択すると、選択したエリアを中心とする位置にカメラの向きが移動し、ズーム倍率が自動的に調整されます。

フォーカス操作

カメラ画像の焦点を調整します。自動で焦点を調整（オートフォーカス）することもできます。
[近] ボタンまたは［遠］ボタンをクリックしてカメラ画像の焦点を調整します。
[オート] ボタン（オートフォーカス）をクリックすると、自動で焦点を調整できます。

明るさ操作

レンズの絞りを調整します。
[暗（－)] ボタンまたは［明（＋)］ボタンをクリックして、レンズの絞りを調整します。[標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定をリセットできます。

プリセットポジション登録

現在のカメラの向きを選択したプリセットポジションに登録します。プリセットポジション機能に対応しているカメラで使用できます。

STEP1
パン／チルト操作を行い、カメラを登録したい方向に向けます。

STEP2
プリセットボックスの［▼］ボタンをクリックし、プリセット番号（1 ～ 256）を選択します。「Home」には登録できません。

STEP3
[登録] ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号に登録されます。

メモ
- 接続されたカメラの機種によっては登録できないプリセット番号があります。カメラのプリセット登録機能についてはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

カメラを操作する（つづき）

プリセットポジション移動

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。事前にカメラのプリセットポジションを登録してください。

STEP1

プリセットボックスの［▼］ボタンをクリックし、プリセット番号（Home、1 ～ 256）を選択します。

STEP2

［移動］ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号に登録されているプリセットポジションにカメラの向きが移動します。

自動モード／ AUX ／ワイパー

カメラに設定された自動モード機能／ AUX機能／ワイパー機能を選択し、動作させます。

自動モード機能

STEP1

操作モードに「自動モード」を選択します。［▼］ボタンをクリックして、以下から動作させたい自動モードを選択します。

自動追従　：カメラが画面上の動く物体を自動で追いかけます。
オートパン　：カメラであらかじめ設定したパンのスタート位置とエンドの位置の範囲を自動的に旋回します。
プリセットシーケンス
：カメラであらかじめ登録してあるプリセットポジションをプリセット番号の小さい方から順番に移動します。
パトロール　：カメラであらかじめ記録した手動操作を実行します。

STEP2

［開始］ボタンをクリックして、カメラの自動モード機能を開始します。
自動モードを終了するには、［終了］ボタンをクリックします。

メモ

- カメラの自動モードは、お使いのカメラの取扱説明書をお読みのうえ、あらかじめカメラのメニューで設定してからご使用ください。

AUX機能

STEP1

操作モードを「自動モード」から「AUX」に変更し、AUXの端子番号を選択します。

STEP2

Open　：AUX端子がオープン状態になります。
Close　：AUX端子がクローズ状態になります。

カメラを操作する（つづき）

ワイパー機能

WV-SUD638のワイパー／ウォッシャーを操作できます。

STEP1

操作モードを「自動モード」から「ワイパー」に変更し、下記ワイパー機能を選択します。

高速　　：連続でふき取り動作を行います。（4秒に1回）
低速　　：連続でふき取り動作を行います。（8秒に1回）
一時制御　：高速（4秒に1回）のふき取り動作を5回行います。
ウォッシャー：規定のウォッシャー /ワイパー動作を行います。

詳しくは、WV-SUD638の取扱説明書をお読みください。

STEP2

[開始] ボタンをクリックすると、選択した動作を開始します。
[終了] ボタンをクリックすると、動作が終了します。

メモ

- ウォッシャー動作中は以下の操作ができません。
  - 「ワイパー」の［開始］操作と［終了］操作
  - パン･チルト･ズーム･フォーカスの制御
  - 「自動モード」の［開始］操作
  - 「プリセット」の［移動］操作
- カメラ側にウォッシャー動作設定が必要です。詳しくは、WV-SUD638の取扱説明書をお読みください。

イベント機能について

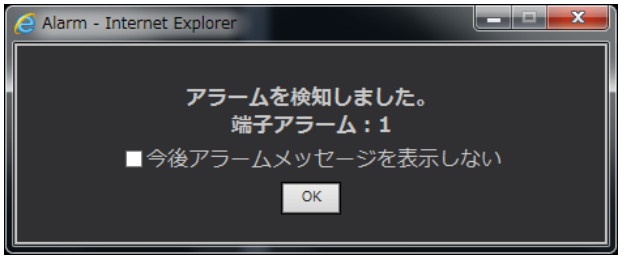
本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。
- ●端子アラーム　　：ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力される
- ●カメラサイトアラーム：カメラで検出したアラーム（カメラ端子アラームなど）
- ●コマンドアラーム　　：ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。
イベント動作、動作モードについては、「イベント発生時の動作」（☞132ページ）をお読みください。
ここでは、PCから設定・確認できるイベント発生時の動作について説明します。

アラームメッセージを表示する

イベント発生を通知する画面を表示します。



［OK］ボタンをクリックするか、［×］ボタンをクリックすると画面を閉じます。複数のイベントが同時に発生した場合は、後から発生したイベントの内容を表示します。「今後アラームメッセージを表示しない」にチェックを入れると、ウェブブラウザーを起動しなおすまで、イベントが発生しても、アラームメッセージは表示されません。

アラームボタンを表示する
ステータス表示部にアラームボタンを表示します。アラームボタンをクリックすると、アラーム動作を解除できます。（☞180ページ）

エラーボタンを表示する
ステータス表示部にエラーボタンを表示します。エラーボタンをクリックすると、エラー動作を解除できます。（☞180ページ）

イベント発生をメールで通知する
イベントが発生すると、イベントの発生と日時を知らせる電子メール（アラームメール）を、登録したメールアドレスに送信して通知します。
アラームメールの通知先は4件まで登録できます。

独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知する
イベントやエラー発生時、［独自アラーム］の設定に従って、発生したイベントやエラー情報をPC に自動的に通知します。発生したイベントやエラー情報を受信し内容を表示する場合は、通知先のPC に専用ソフトウェア（別売り）をインストールしてください。
専用ソフトウェアについては、本機付属のCD-ROM 内「readme.txt」をお読みください。

イベント機能について（つづき）

アラーム動作を解除する

アラーム動作を手動で解除するには、ステータス表示部に表示された［ALM］ボタンをクリックします。

→アラーム動作が解除されます。イベント録画が停止し、アラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

エラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。ウェブブラウザー上にエラー画面が表示され、発生したエラーの情報が表示されます。エラー動作を手動で解除するには、エラー画面を閉じ、ステータス表示部に表示された［ERR］ボタンをクリックします。

→エラー動作が解除されます。

メモ

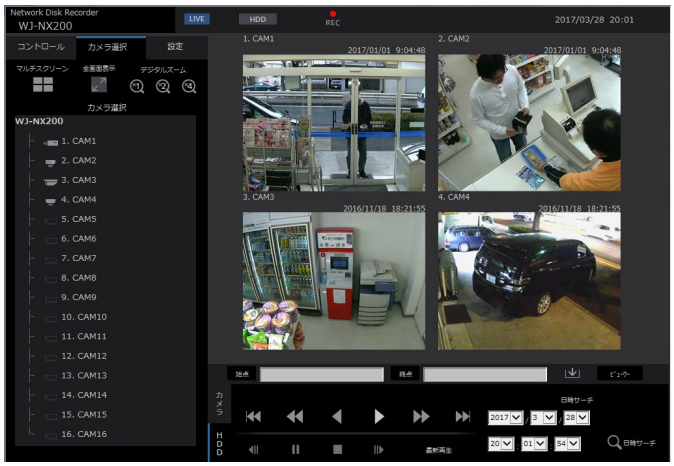
- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネル（☞145ページ）に表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。
- エラーの原因が自動的に解消されても、［ERR］ボタンの表示は継続されます。［ERR］ボタンをクリックすると、［ERR］ボタンは消えます。

再生する

本機のHDDに録画したカメラ画像を表示します。再生には、日時を指定して再生する方法と、条件検索をして再生する方法があります。再生操作は録画中も行えます。

STEP1

操作画面のトップページで［HDD］タブをクリックします。
→［HDD］タブが表示されます。



STEP2

［再生］ボタンをクリックします。
→録画画像が再生されます。ステータス表示部に「再生中［Step 1］」が表示されます。
前回再生を終了した日時から再生を開始します。

STEP3

［HDD］タブの［停止］ボタンをクリックします。
→ステータス表示部の「再生中［Step 1］」が消え、再生を停止します。画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。

メモ

- 1画面で表示しているときは、表示している画像の音声が流れます。多画面で表示しているときは、左上の画像の音声が流れます。
- ログイン後、初めて再生するときは、最新の録画日時の約10秒前の画像から再生します。
  録画中は現在日時の10秒前の画像から再生します。記録の設定によっては、10秒以上前から再生される場合があります。
- ウェブブラウザーとビューワーソフトを同時に起動した場合、音声の再生が正しく行われない場合があります。正しく音声の再生を行うには、ウェブブラウザーかビューワーソフトのどちらか一方を起動してください。
- 本機の負荷が大きい場合（接続カメラ台数が多い、ライブ／再生画面数が多いなど）、再生速度が遅くなるか、またはしばらく停止することがあります。
- 多画面表示中は、実際の録画画像を間引いて再生します。
- 多画面で再生する場合、フレームレートの低い画像と高い画像を混在して再生すると、それらの画像の表示時刻にずれが生じる場合があります。
- 画像と音声の同期がずれる場合があります。
- 再生中に［カメラ選択］タブをクリックして、カメラタイトルをクリックすると、カメラを変更できます。
- 再生中に［マルチスクリーン］ボックスのボタンをクリックすると、多画面表示に変更できます。
- 多画面表示中に画像のカメラタイトルをクリックすると、クリックしたカメラの画像が1画面表示されます。
- 現在日時の近傍を再生し続けると、再生映像が一時停止もしくは画像が表示されない場合があります。多画面で再生する場合は、一部のカメラで一時停止もしくは画像が表示されない場合があります。

再生する（つづき）

再生操作について

再生中に行える操作は、以下のとおりです。

機能	表示例	操作
再生／逆再生ボタン		●録画画像を再生します。 ●録画画像を逆再生します。 ※低いレートで録画中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックしても再生、逆再生されない場合があります。
停止ボタン		●再生中にクリックすると、再生を停止し、ライブ画像が表示されます。
一時停止ボタン		●再生中にクリックすると、再生を一時停止します。 ●一時停止中にクリックすると、再生を再開します。
高速再生／高速逆再生ボタン		●再生中に［高速再生］ボタンをクリックするたびに、再生速度がStep2（約4倍）、Step3（約8倍）、Step4（約16倍）、Step5（約32倍）、Step6（約48倍）、Step7（約96倍）と切り換わります ●再生中に［高速逆再生］ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2（約4倍）、Step3（約8倍）、Step4（約16倍）、Step5（約32倍）、Step6（約48倍）、Step7（約96倍）と切り換わります ●再生状態表示には、再生速度のステップが表示されます。 ※再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で高速再生／高速逆再生されます。
スキップ／逆スキップボタン		●［スキップ］ボタンをクリックすると、録画時刻の新しい画像にスキップして再生します ●［逆スキップ］ボタンをクリックすると、録画時刻の古い画像にスキップして再生します ※スキップ先が存在しない場合は再生を続けます。このとき再生時刻が1分程度戻る場合があります。
コマ送り／逆コマ送りボタン		●再生中や一時停止中に［コマ送り］ボタンをクリックすると、順方向に1コマ再生し、一時停止します。 ●再生中や一時停止中に［逆コマ送り］ボタンをクリックすると、逆方向に1コマ再生し、一時停止します。 ※再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で逆コマ送りされます。
最新再生ボタン		●再生している画像の最新の録画日時の約10秒前の画像から再生を開始します。 録画中は現在日時の約10秒前の画像から再生します。記録の設定によっては、10秒以上前から再生される場合があります。 ※低いフレームレートで録画中に［最新再生］ボタンをクリックすると最新の録画画像で一時停止、もしくは画像が表示されない場合があります。 現在日時の近傍を再生し続けると、再生映像が一時停止もしくは画像が表示されない場合があります。

マルチスクリーン、デジタルズーム、全画面表示については、167ページをお読みください。

日時を指定して再生する

見たい録画画像の日時を指定して再生します。再生操作は録画中も行えます。

STEP1

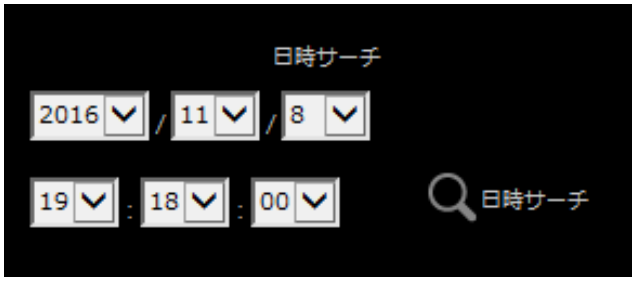
操作画面のトップページで［カメラ選択］タブをクリックし、カメラ選択ボックスから再生したいカメラを選択します。（☞168ページ）

STEP2

HDDタブをクリックします。（☞166ページ）

STEP3

日時サーチボックスで［▼］ボタンをクリックし、再生したい画像の日時を選択します。



STEP4

［日時サーチ］ボタンをクリックします。
→ステータス表示部に「再生中［Step 1］」が表示され、設定した日時の画像を再生します。
（再生中の操作：「再生する」（☞182ページ））

メモ

- 再生画面がH.264/H.265画像の場合、指定した時刻の数秒前、もしくは数秒後から再生することがあります。
- 指定した日時の画像がない場合は、入力日時に最も近い画像を再生します。

検索して再生する（録画イベントサーチ）

録画イベントリストから再生したい録画イベントを検索して再生します。

重要

- 録画イベントサーチは、［ディスク／メディア］で「HDD」を選択している場合のみ実行できます。また、録画イベントは、条件で絞り込んで検索することもできます。

メモ

- カメラの動作検知アラームで録画した画像は、録画イベントのカメラサイトアラームを選択して検索してください。

STEP1

操作画面のトップページ（☞166ページ）で［コントロール］タブをクリックし、サーチボックスで［録画イベント］ボタンをクリックします。
→録画イベントサーチ画面が表示されます。

STEP2

絞り込み条件を設定します。

［日時範囲］

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

［録画イベント］

選択したイベントの画像のみ検索します。検索したいイベントにチェックを入れます。［全イベント］にチェックを入れると、以下のすべてのイベントにチェックを入れることができます。

スケジュール［SCH］
：スケジュール録画イベントによる録画
端子アラーム［TRM］
：端子アラームによる録画
コマンドアラーム［COM］
：コマンドアラームによる録画
カメラサイトアラーム［CAM］
：カメラサイトアラームによる録画
緊急［EMR］
：緊急録画イベントによる録画
SDメモリーバックアップ［SD］
：SDメモリーバックアップ機能による録画

［カメラ］

選択したカメラごとに検索します。検索したいカメラにチェックを入れます。［全カメラ］にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

検索して再生する（録画イベントサーチ）（つづき）

STEP3

［OK］ボタンをクリックします。
→ステータス表示部に［FILTERING］が表示され、絞り込まれた結果がリスト表示部に表示されます。

件数
検索されたデータのトータル件数を表示します。
10001件以上の場合は「＞ 10000件」と表示します。

［条件解除］ボタン
絞り込みを解除し、すべての録画イベントを表示します。

［更新］ボタン
表示内容を最新の状態に更新します。

［前ページ（＜)］ボタン
リストの前のページを表示します。

［次ページ（＞)］ボタン
リストの次のページを表示します。

日時
録画開始日時を表示します。

カメラ
録画したカメラを表示します。

Evt
イベント種別を表示します。（☞184ページ）

HDD
データが録画されているHDDの番号を表示します。

音声
画像に録音されている場合は、アイコンを表示します。

メモ

- 再生中は［条件解除］ボタンが無効になっています。再生を停止してから、操作してください。
- カメラの台数が多い場合、録画開始時刻がカメラごとにそろわないことがあります。

STEP4

録画イベントリストで再生したい日時をクリックします。
→選択した録画イベント日時の画像を再生します。（「再生操作について」（☞182ページ））

動作検知で検索して再生する(動作検知サーチ)

動作検知（VMD：Video Motion Detection）に対応したカメラで録画した画像の中から、画像に動きのある日時を検索して、リストで表示します。検索結果のリストから再生したい日時を選択して再生します。

重要

- 動作検知サーチを行うには、動作検知に対応したカメラと、あらかじめカメラの設定が必要です。動作検知対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。

STEP1

操作画面のトップページ（☞166ページ）で［コントロール］タブをクリックし、サーチボックスで［動作検知］ボタンをクリックします。

→動作検知サーチ画面が表示されます。最新再生の静止画像が表示されます。

STEP2

絞り込み条件を設定します。

［カメラ］

動作検知サーチを行うカメラを選択します。

［日時範囲］

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

［マスク期間］

検索する時間間隔を選択します。

STEP3

動作検知するエリアを設定します。画像上でマウスをドラッグします。

→枠が表示され、動作検知するエリアが設定されます。

メモ

- ［エリア削除］ボタンをクリックすると、設定したエリアを削除できます。

STEP4

［OK］ボタンをクリックします。

→検索が開始されます。検索結果がリスト表示部に表示されます（☞185ページ）。検索には時間がかかる場合があります。

重要

- 動作検知サーチの検索結果のリストには、録音されている場合でも、［音声］情報にアイコンは表示されません。

動作検知で検索して再生する（動作検知サーチ）

STEP5

録画イベントリストで再生したい日時をクリックします。

→選択した録画イベント日時の画像が再生されます。

（「再生操作について」（☞182ページ））

メモ

- リストには100件まで表示されます。サーチ結果が100件を超えている場合は、「＞ 100件」と表示されます。
- 再生画像は1画面で表示されます。多画面で表示する場合は、再生開始後、［マルチスクリーン］ボックスのボタンをクリックします。
- 多画面で表示中に動作検知サーチを行うと、左上のカメラの画像が検索の対象となります。

コピーする

本機に録画された画像を外部記憶装置（外付けHDD、USBメモリー）やDVD※にコピーします。コピー機能について、詳しくは151ページをお読みください。コピーした画像の再生方法については、193ページをお読みください。
※DVDドライブ搭載モデルのみ

STEP1

操作画面のトップページ（☞166ページ）で［コントロール］タブをクリックします。

STEP2

［コピー］ボックスのボタンをクリックします。

→コピー画面が表示されます。

STEP3

コピーする録画画像の条件を設定します。条件として設定したい内容を設定します。

コピー先（DVDドライブ搭載モデル）
コピー先を選択します。
「HDD→USB」「HDD→DVD (DVD-R, +R)」のいずれかにチェックを入れます。

カメラ
コピーするカメラを選択します。選択したいカメラにチェックを入れます。［全カメラ］にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

日時範囲
コピーしたい画像の始点（録画開始日時）と終点（録画終了日時）を設定します。［▼］ボタンをクリックして、日時を設定します。

ファイル形式
コピーする録画データのファイル形式（独自形式（n3r/n3a）／MP4形式）を選択します。選択したいファイル形式にチェックを入れます。

コピーする（つづき）

改ざん検出
コピーする録画画像に改ざん検出用のコードを付与するかどうかを設定します。改ざん検出用のコードを付与すると、ビューワーソフトで再生する際に、改ざん検出を行えます。[▼] ボタンをクリックして、On ／ Offを設定します。

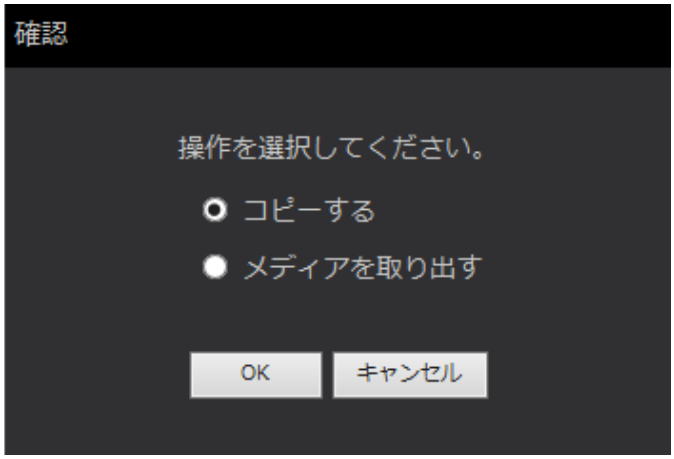
パスワード付与
パスワード付きでコピーする場合にはチェックを入れ、パスワードを入力します（半角英数字5文字以上8文字以内）。再生する際には入力したパスワードが必要になります。

データサイズ
[測定] ボタンをクリックすると、コピー対象のデータサイズを表示します。

残容量
コピー先（外部記憶装置／DVD）の残容量を表示します。

STEP4

[OK]ボタンをクリックして表示された確認画面の[OK]ボタンをクリックします。
→データコピー画面が閉じ、ステータス表示部に［COPY］が表示されコピーが始まります。コピーが終了すると、［COPY］表示が消えます。
DVDへのコピー終了後に、［コピー］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



「メディアを取り出す」を選択し、[OK] ボタンをクリックすると、DVDのファイナライズ（取り出し処理）を開始します。処理が終了すると完了画面が表示され、DVDが取り出せる状態になります。
DVDドライブの取り出しボタンを押してDVDを取り出してください。

重要
- 外部記憶装置にコピー中は、外部記憶装置を抜かないでください。外部記憶装置のデータが壊れることがあります。
- コピー開始日時が終了日時よりも後に設定されているとき、[OK] ボタンをクリックしてもコピーは開始されません。
- コピー先の残容量が足りない場合でも、メディアの容量がいっぱいになるまでコピーを実行します。コピーできないデータが残らないよう、残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。
- コピーはビューワーソフト→画像→音声の順に行われます。コピーの設定時間やメディアの空き容量によっては、画像や音声がコピーされないことがあります。
- コピー中に［コピー］ボックスのボタンをクリックすると、コピー中止の確認画面が表示されコピーを中止することができます。
- コピー中は本機の電源を切らないでください。コピー中に電源を切ると、そのメディアが使用できなくなることがあります。
- 外部記憶装置（コピーポート接続）には最大100万件のデータをコピーすることができます。DVDには最大2万4500件のデータをコピーすることができます。残容量がある場合でもこれらの件数を超えてコピーすることはできません。
- 他のユーザーが本体操作でコピーパネルを開いているときや、コピー先のメディアを他のユーザーが選択しているときは、コピー画面を表示できません。
- コピー中にウェブブラウザーを閉じると、コピーが停止します。コピー中はウェブブラウザーを閉じないようにしてください。

再生画像をダウンロードする

再生している画像の開始位置と終了位置を指定して、PCに画像をダウンロードします。
ダウンロードするデータのファイル形式で独自形式を選択すると、画像データファイル（ファイル名.n3r）と音声データファイル（ファイル名.n3a）として、MP4形式を選択するとMP4ファイル（ファイル名.mp4）としてダウンロードされます。ダウンロードした画像の再生方法については、193ページをお読みください。

重要

- ダウンロードするときは、Internet Explorer の制約により、PCのHDDにダウンロードするファイルサイズの2倍以上の空き容量が必要となります。
- ダウンロードを途中で中断すると、ダウンロードしたファイルをPCで正しく再生できません。
- 事前に、本機のアドレスをInternet Explorerの信頼済みサイトに登録してください。

STEP1

操作画面のトップページ（☞166ページ）で［HDD］タブをクリックします。

STEP2

録画画像を1画面表示で再生します。
ダウンロードを開始したい再生位置でダウンロード操作部の［始点］ボタンをクリックします。または、始点ボックスをクリックして日時を入力します。

→始点ボックスに設定した日時が表示されます。

メモ

- ダウンロードは1画面表示で再生中のみ可能です。

STEP3

ダウンロードを終了したい再生位置でダウンロード操作部の［終点］ボタンをクリックします。または、終点ボックスをクリックして日時を入力します。
→終点ボックスに設定した日時が表示されます。

メモ

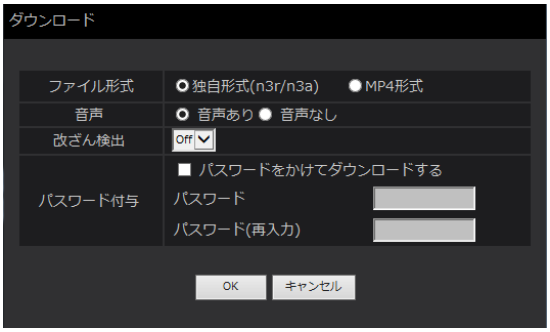
- 一度にダウンロードできる時間は最大60分です。

STEP4

［ダウンロード］ボタンをクリックします。
→ダウンロード画面が表示されます。

STEP5

ダウンロードするデータのファイル形式（独自形式（n3r/n3a）／MP4形式）、音声のあり／なしと、改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかをOn／Offで選択します。パスワードを付与する場合は、半角英数字5文字以上8文字以内で入力してください。ただし、MP4形式のファイルにはパスワードを付与することができません。設定後、［OK］ボタンをクリックします。



→ファイルのダウンロード画面が表示されます。

メモ

- H.264またはH.265で録画された画像をMP4形式でダウンロードできます。また、AAC-LCで録音されている場合、音声ありを選択すると音声付きのMP4形式でダウンロードできます。

STEP6

ウェブブラウザーの指示に従って操作します。
→画像データ（ファイル名.n3r）、音声データ（ファイル名.n3a）または、MP4ファイル（ファイル名.mp4）がダウンロードされます。

メモ

- MP4形式のコピー（☞151ページ）やダウンロードは同時に2ユーザーまで実施可能です。
- STEP5で「独自形式(n3r/n3a)」と「音声あり」を選択した場合は、画像データダウンロード後、再度ダウンロード画面が表示されます。
- ダウンロードしているファイルのサイズが2GBを越えると、自動で分割し、分割した地点から別ファイルとして引き続きダウンロードが継続されます。
- 情報バーにメッセージが表示される場合は、214ページをお読みください。

コピーした画像リストを確認する

外部記録装置またはDVD※にコピーした録画画像（コピーデータ）をリストで表示して確認します。コピーデータは条件で絞り込んで検索することもできます。絞り込みの条件は、日時範囲とカメラです。
※DVDドライブ搭載モデルのみ

STEP1

録画データがコピーされた外部記録装置またはDVDを挿入します。

STEP2

操作画面のトップページ（☞166ページ）で［コントロール］タブをクリックします。

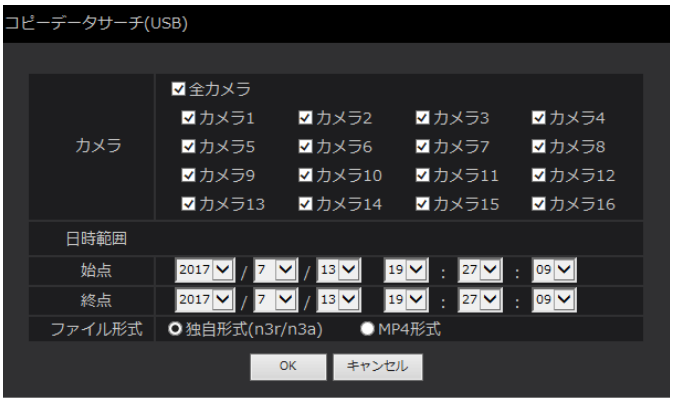
STEP3

［サーチ］ボックスの「ディスク／メディア」で「USB」または「DVD」を選択し、［コピーデータ］ボタンをクリックします。

→コピーデータサーチ画面が表示されます。

STEP4

絞り込み条件を設定します。



［カメラ］

選択したカメラごとに検索します。検索したいカメラにチェックを入れます。［全カメラ］にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

［日時範囲］

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

［ファイル形式］

ファイル形式ごとに検索します。検索したい形式にチェックを入れます。

コピーした画像リストを確認する（つづき）

STEP5

［OK］ボタンをクリックします。
→設定した条件にあてはまるコピーデータがリスト表示部に表示されます。

件数
検索されたデータのトータル件数を表示します。
10001件以上の場合は「＞ 10000件」と表示します。

［条件解除］ボタン
絞り込みを解除し、すべての録画イベントを表示します。

［更新］ボタン
表示内容を最新の状態に更新します。

［前ページ（＜)］ボタン
前のページを表示します。

［次ページ（＞)］ボタン
次のページを表示します。

日時
録画開始日時を表示します。

カメラ
録画データのカメラ番号を表示します。

Evt
イベント種別を表示します。（☞184ページ）

形式
ファイル形式を表示します。

重要
- 外部記録装置のコピーデータを表示中は、外部記録装置を抜かないでください。メディア内のデータが壊れることがあります。

メモ
- コピーデータが多いとリスト表示に時間がかかります。
- 外部記録装置を入れ換えてリスト確認をする場合、［サーチ］ボックスの「ディスク／メディア」でHDDを選択してから、再度「USB」または「DVD」を選択してください。
- コピーした画像の再生方法は、193ページをお読みください。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する

再生画像をコピー・ダウンロードすると、独自形式ファイルまたはMP4形式ファイルがコピー先・保存先にコピーされます。コピーしたデータは専用のビューワーソフトを使って再生、保存、印刷ができます。
MP4形式ファイルは、汎用の再生ソフトウェアで再生できます。

メディアにコピーした画像を再生するには

メディアに画像をコピーすると、ビューワーソフトの実行ファイル（NX_Viewer.exe）もドライブの直下に保存されます。
メディアにコピーした画像を再生する場合、実行ファイルをダブルクリックしてビューワーソフトを起動します。
ビューワーソフトの使いかたは195ページをお読みください。

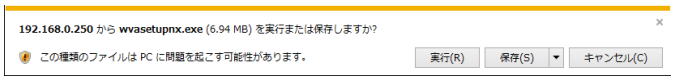
ウェブブラウザーからダウンロードした画像を再生するには

画像のダウンロードに使用したPCでは、ActiveXと同時にビューワーソフトもインストール（165ページ）されます。
ウェブブラウザーからダウンロードした画像を再生する場合は、インストールしたビューワーソフトを起動します。
それ以外のPCで再生する場合は、ビューワーソフトをダウンロードし、PCにインストールする必要があります。
ビューワーソフトの使いかたは195ページをお読みください。

ビューワーソフトのダウンロード

STEP1

操作画面のトップページ（☞166ページ）でダウンロード操作部の［ビューワー］ボタンをクリックします。
（☞171ページ）
→ファイルのダウンロード画面が表示されます。



STEP2

［保存(S)］ボタンの右の▼ボタンで、「名前を付けて保存(A)」を選択します。
→ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

STEP3

任意の場所を選択し、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→ビューワーソフトがダウンロードされます。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

ビューワーソフトのインストール

旧バージョンのビューワーソフトがインストールされている場合は、アンインストールをしてから新バージョンをインストールしてください。

STEP1

ダウンロードしたwvasetupnx.exeファイルをダブルクリックします。
→インストーラーが起動します。画面の指示に従って操作してください。

メモ

- 使用許諾画面で契約内容をお読みのうえ、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択してください。

STEP2

[インストール(I)]ボタンをクリックします。
→インストールが開始されます。終了するとインストール完了画面が表示されますので、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。

メモ

- ビューワーソフトをインストールすると、ActiveXも同時にインストールされます。

ビューワーソフトのアンインストール

STEP1

コントロールパネルの[プログラムと機能]を実行します。

STEP2

インストールされているプログラムから[WebVideo ActiveX NX]を選択し右クリックします。表示された[アンインストール(U)]を選択します。
→アンインストールプログラムが起動します。

STEP3

画面の指示に従ってアンインストールします。

メモ

- ビューワーソフトと同時にActiveXもアンインストールされます。

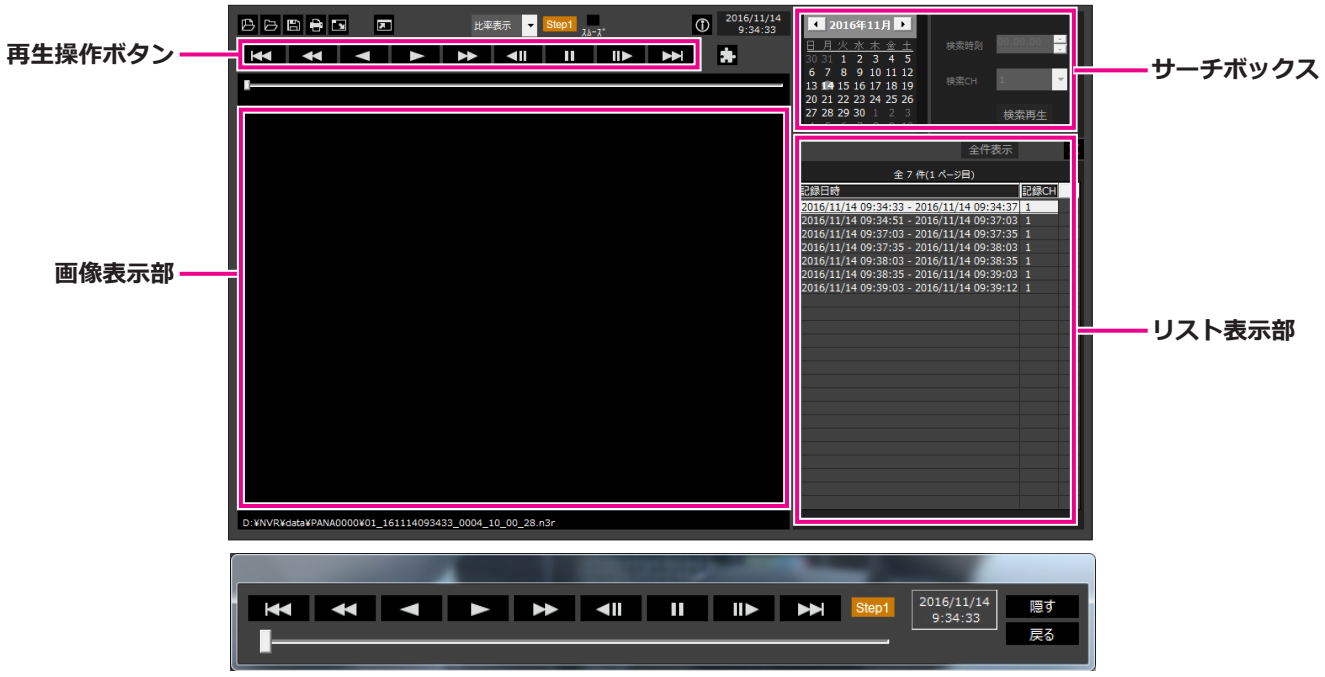
コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

ビューワーソフトの使いかた

ビューワーソフトを起動するには、スタートメニューから［すべてのプログラム］–［Panasonic］–［Network Disk Recorder］–［NX_Viewer］を選択するか、デスクトップにあるNX_Viewerアイコンをダブルクリックします。外部記憶装置やDVDにコピーした画像の場合は、実行ファイル（NX_Viewer.exe）をダブルクリックして起動します（実行ファイルの保存先は、193ページをお読みください）。

メモ

- 初回起動時にはライセンス許諾画面が表示されます。ライセンス許諾に同意すると、ビューワーソフトが起動します。



全画面表示時の再生操作ウィンドウ

重要

- ビューワーソフトは、PCごとにライセンスが必要です。本機はPC1台分のライセンスを保有しています。ビューワーソフトを同時に2台以上のPCで使用する場合は追加のライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

再生画像を選択する

STEP1

ボタンをクリックします。
→ファイルを開く画面が表示されます。

メモ
- 外部記憶装置やDVDにコピーした実行ファイルを起動すると、自動的にファイルを開く画面が表示されます。

STEP2

画像データ（ファイル名.n3r、ファイル名.mp4）を選択し、［開く(O)］ボタンをクリックします。
→リスト表示部に選択したファイルの情報が表示されます。
記録日時：画像データの開始日時と終了日時を表示します。
記録CH　：カメラ番号を表示します。

メモ
- キーボードの［Ctrl］キーや［Shift］キーを押しながら複数ファイルを選択し（最大100ファイル）、ドラッグ＆ドロップすると一度にリスト表示できます。
- 画像データのファイル名はコピー・ダウンロード時から変更しないでください。ファイル名を変更するとファイル情報が正しく表示されません。
- ファイルを開く画面を表示せずに画像データファイルをビューワーソフトへドラッグ＆ドロップしても選択することができます。
- リスト表示部のヘッダー部をクリックすると、開始日時またはカメラ番号の昇順／降順にソートすることができます。
- リスト表示部に再生する画像データを追加するには、リスト上で右クリックし、表示されたメニューから［ファイルの追加］を選択してください。ファイルを開く画面が表示されるので、STEP2の操作を行ってください。画像データがリストに追加されます。
- リストにすでに100件の画像データが表示されている場合は、追加することはできません。画像データの件数はリストの上に表示されています。
- ボタンをクリックすると、リスト表示されているすべてのデータの表示を消去します。リスト上で右クリックし、表示されたメニューから［ファイルリストクリア］を選択して消去することもできます。

画像を再生する

再生操作ボタンを使って再生します。同じカメラの画像がリスト表示されていれば、再生時は次の画像が、逆再生時はひとつ前の画像が連続して再生されます。同じカメラの画像がなければ、再生を終了すると画像表示部が黒画になり一時停止状態になります。

メモ
- データにパスワードが付与されていたり、ファイルが暗号化されている場合は、パスワードが要求されます。正しいパスワードの入力が確認できた場合のみ、映像が再生されます。
- ウェブブラウザーとビューワーソフトを同時に起動した場合、音声の再生が正しく行われないことがあります。音声再生を正しく行うには、ウェブブラウザーかビューワーソフトのどちらか一方を起動してください。
- 画像と音声の同期がずれる場合があります。

再生操作ボタンで以下の操作ができます。

再生ボタン　：再生を開始します。
逆再生ボタン　：逆再生を開始します。
高速再生ボタン　：高速再生します。
高速逆再生ボタン　：高速逆再生します。
一時停止ボタン　：再生を一時停止します。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

コマ送りボタン ：画像を1コマ進めます。一時停止中のみ操作可能です。
逆コマ送りボタン ：画像を1コマ戻します。一時停止中のみ操作可能です。
次のファイルボタン ：リストに表示されている次のファイルを再生します。
前のファイルボタン ：リストに表示されている前のファイルを再生します。
再生位置はスライダーバーにより変更が可能です。スライダーバーを移動したあとは映像が一時停止状態となりますので、再生ボタンで再生を再開してください。

再生日時を変更する

日時を指定して再生する

カレンダーから日付を選択し、時刻と記録チャンネルを指定して、[検索再生]ボタンをクリックするとその日時の画像を再生します。
絞り込まれた日付はカレンダー上に赤丸で表示されます。

リストから選択して再生する

リスト内の行を選択すると、その日時、記録チャンネルの画像を再生します。
クリックすると先頭の画像で一時停止状態となり、ダブルクリックすると再生を開始します。

画像を見やすくする

画像を拡大して表示する

画像上にカーソルをあわせてマウスホイールを操作するとデジタルズーム表示します。ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。

表示サイズを変更する

ウインドウ画面を拡大表示します。
ウインドウ画面の拡大表示を元に戻ります。
画像を画面全体に最大化して表示します。
画面全体に最大化した画像は、[戻る]ボタンまたはEscキーで元の画面に戻ります。

表示形式を変更する

比率表示 アスペクト比を維持したまま画面内に収まるように画像を表示します。
拡縮表示 画面内に収まるように画像を伸縮して表示します。
等倍表示 画面の１画素を１ドットで表示します。
画面内をクリックすると、クリックした位置が中心になるように画像が移動します。

高速再生を滑らかにする

スムーズ チェックボックスを有効にすると、滑らかに高速再生します。
PCの性能や処理状況によって、ある一定速度以上にならないことがあります。

全方位ネットワークカメラ(パナソニック製、以下 全方位カメラ)の魚眼画像を再生する

補正が可能な魚眼画像を選択すると、1画PTZ/4画PTZへの補正表示を実行できます。
1画PTZ/4画PTZで補正表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中心に移動できます。
魚眼画像に戻します。
1画PTZへ補正します。
4画PTZへ補正します。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

音量を調整する

音声データ（ファイル名.n3a）がある場合は音声を調整するボタンが表示されます。
音量を調整します。クリックすると音量を3段階で切り換えることができます。
音声再生/消音を切り換えます。
他のアプリケーションで音声を制御・調整している場合、ビューワーソフトでは音声の再生が正しく行われないことがあります。音声再生を正しく行うには、ビューワーソフトのみで音声を調整してください。

画像データの改ざんを検出する

改ざん検出用データを付ける設定になっているダウンロードデータの改ざん検出ができます。再生中のファイルが改ざんされているかを以下の手順で確認します。

STEP1

改ざん検出をするデータをリストで選択し、ボタンをクリックします。
→ファイル拡張画面が表示されます。

STEP2

[改ざんチェック]を選択し、[実行]ボタンをクリックします。
→改ざん検出を開始し、改ざん検出が終了すると結果を表示します。

静止画像を保存する

画像表示部に表示している画像を、PCにJPEGファイルとして保存できます。
：一時停止中の画像をJPEGファイルで名前をつけて保存します。

画像データを保存する（コピーする）

選択している画像データ（ファイル名.n3r）を、PCの任意のフォルダーにコピーできます。

STEP1

リスト上で右クリックし、表示されるメニューから[ファイル拡張機能]を選択します。
→ファイル拡張画面が表示されます。

STEP2

[ファイル出力]を選択し、[実行]ボタンをクリックします。
→[名前を付けて保存]画面が表示されます。

STEP3

ファイル名と保存先を確認し、[保存(S)]ボタンをクリックします。
→画像データの保存を開始し、保存が終了すると結果を表示します。

メモ

- 暗号を解除して保存する場合は、[ファイル出力（暗号解除）] を選択してください。

画像を印刷する

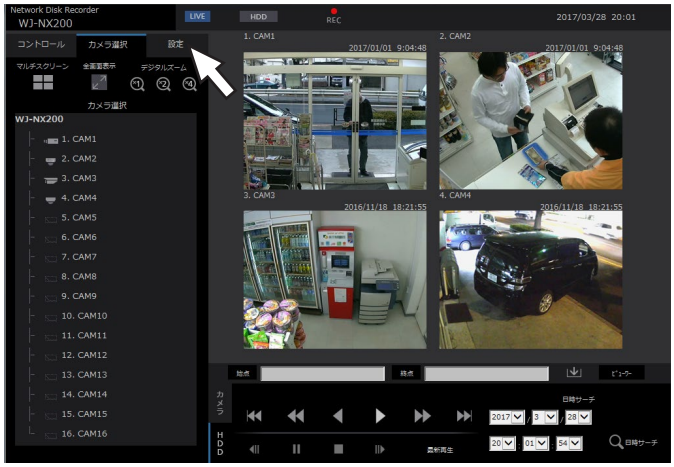
画像表示部に表示している画像をプリンターで印刷できます。
：一時停止中の画像を日時付きで印刷します。

設定する

基本的な操作のしかた

STEP1

［設定］タブをクリックします。



STEP2

設定したいメニューのボタンをクリックします。

STEP3

設定したいサブメニューのタブをクリックします。

STEP4

各項目を設定します。設定したら［設定保存］ボタンをクリックします。

→設定した内容が本機に反映されます。［設定保存］ボタンをクリックしないで他のページに移動すると、変更した内容が破棄されます。

重要

- 設定内容を反映すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。
- ユーザー管理に関する設定を変更すると、すべてのユーザーは強制的にログアウトします。
- 設定保存直後、約4秒間は録画は行われません。

設定する（つづき）

各種設定を行う

ウェブブラウザーから本機の設定を変更することができます。
ウェブブラウザーから設定できる項目および設定内容の詳細については、87ページをお読みください。

ウェブブラウザーの設定を行う [ウェブブラウザー]

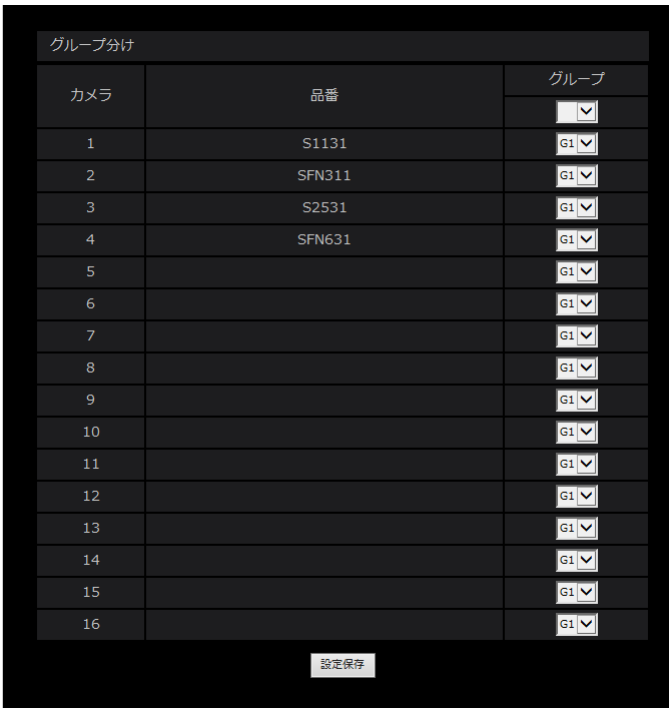
カメラのグループタイトルなど、ウェブブラウザーの表示に関する設定を行います。
設定メニューの「モニター」ボタンをクリックし、「ウェブブラウザー」タブをクリックします。

カメラツリーのグループ表示

[グループ表示]
グループ表示するかどうかを設定します。
　On　：グループ表示します。
　Off　：グループ表示しません。
初期設定：Off

[グループタイトル]
各グループ（G1 ～ G8）に対して表示するグループタイトルを入力します（16文字まで）。

[グループ分け]
カメラを各グループ（G1 ～ G8）に割り付けます。



設定する（つづき）

ソフトウェアの更新を行う

本機のソフトウェアを最新のバージョンに更新する場合は、以下の手順で行います。
ソフトウェアをUSBメディアに保存した場合の操作方法については、77ページをお読みください。

STEP1

最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

STEP2

［メンテナンス］ボタンをクリックし、［システム管理］タブをクリックします。

STEP3

ソフトウェアの更新の［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP4

［実行］ボタンをクリックします。
→表示された確認画面から更新処理を開始します。

メモ

- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

メール通知について

アラームメールについて

アラームメールには以下のように本機のカメラ／ PCポートのアドレスが表示されます。

アラームメールの内容：
NWDR（192.168.0.250）でアラームが発生しました。
発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMT+xx:xx（例：2016-11-18 12:00:00 GMT+9:00）
アラーム要因：アラーム内容とカメラchまたはアラーム番号を表示（例：SITE ALARM 5ch）
URL：http://192.168.0.250/

障害メールについて

本機に障害が発生すると、あらかじめ登録したメールアドレスに以下の内容の電子メール（障害メール）を送信し、障害発生を通知します。

NWDR（192.168.0.250）状態通知
発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMT+xx:xx（例：2016-11-18 12:00:00 GMT+9:00）
状態：障害の内容を表示（例：MAIN THERMAL ERROR）

表示	説明
日時	障害が発生した日時を表します。
状態	以下の障害の内容を表します。xxxはカメラ番号、yはHDD番号。 温度異常 ：本体　MAIN THERMAL ERROR HDDスマート警告 ：本体　MAIN-y SMART WARNING HDD応答遅延警告 ：本体　MAIN-y SLOW RESPONSE HDDアワーメーター警告 ：本体　MAIN-y HOUR METER WARNING 自動リンク外し ：本体　MAIN-y LOGICALLY REMOVED ファン異常 ：本体　MAIN FANy ERROR NWカメラ障害検出 ：CAM xxx COMMUNICATION ERROR NWカメラ障害検出（音声） ：CAM xxx COMMUNICATION ERROR(AUDIO) NWカメラ障害復旧 ：CAM xxx COMMUNICATION RECOVERED NWカメラ障害復旧（音声） ：CAM xxx COMMUNICATION RECOVERED(AUDIO) ビデオロス障害検出（エンコーダ） ：CAM xxx VIDEO LOSS ビデオロス障害復旧（エンコーダ） ：CAM xxx VIDEO RECOVERED NWカメラ障害検出（映像） ：CAM xxx COMMUNICATION ERROR(VIDEO) NWカメラ障害復旧（映像） ：CAM xxx COMMUNICATION RECOVERED(VIDEO) HDD取り出しエラー ：本体　MAIN-y SWAP WARNING フォーマット失敗 ：本体　MAIN-y SINGLE FORMAT ERROR コピーメディアフル ：COPY MEDIUM FULL DVD FULL

メール通知について（つづき）

表示	説明
状態	コピーメディアデータ数超過 ：OVER LIMITATION ON COPY MEDIUM OVER LIMITATION ON DVD
	ミラー復旧開始 ：MIRROR RECOVERY START
	ミラー復旧完了 ：MIRROR RECOVERY COMPLETE
	ネットワークリンク外れエラー：NETWORK LINK ERROR
	カメラSD メモリーカードエラー ：CAM xxx SD ERR
	カメラSD メモリー書き込み開始要求失敗 ：CAM xxx SD START ERR
	カメラSD メモリー書き込み終了要求失敗 ：CAM xxx SD END ERR
	カメラSD リスト要求失敗 ：CAM xxx GET LIST ERR
	カメラSD 画像取得失敗 ：CAM xxx GET IMG ERR
	カメラSD 画像削除失敗 ：CAM xxx DEL IMG ERR
	カメラSD 累積録画時間警告 ：CAM xxx SD LIFE WARNING (LONG-TERM)
	カメラSD 上書回数警告 ：CAM xxx SD LIFE WARNING (OVER-REWRITTEN)
	カメラSD アクセスエラー ：CAM xxx SD ACCESS ERROR
	カメラの故障（※） ：CAM xxx HARDWARE ERROR
	カメラのワイパーゴム交換目安通知（※） ：CAM xxx REPLACE WIPER RUBBER
	※WV-SUD638カメラのみ
	HDD残容量通知 ：HDD CAPACITY REMAINS **% **は残容量割合

追補

全方位ネットワークマイクとの組み合わせ

本項はNX200（以下、本機）で、全方位ネットワークマイク（以下、全方位マイク）を全方位ネットワークカメラ（以下、全方位カメラ）と組み合わせて使用するための説明です。

対応ソフトウェアバージョンについて

本項で説明している全方位マイクの機能は、本機のソフトウェアバージョンがV1.10以上のときに使用できます。

全方位マイクを使った録音・再生について

全方位マイクに入力された音声を全方位カメラの音声として録音します。また、ライブ映像表示時や再生時に、指定した位置周辺の音声を聞き取りやすくすることができます。

重要

- 全方位マイクと全方位カメラを組み合わせた登録が必要です。全方位マイクだけを本機に登録しても、録音したり、音声を出力したりすることはできません。
- 全方位マイクと組み合わせて使用することができるのは、画像圧縮方式がH.264に設定された全方位カメラだけです。
- 指定した位置以外の音声がまったく聞こえなくなるわけではありません。

対応マイク（2017年9月現在）

WV-SMR10	V1.10以上

対応カメラ（2017年9月現在）

WV-SW458シリーズ	V1.55以上
WV-SF438	V1.55以上
WV-SFN480	V1.11以上
WV-SFV481	V1.11以上

追補（つづき）

全方位マイクを登録する

STEP1

全方位カメラと全方位マイクを本機に登録します。
全方位マイクはパナソニック製カメラと同様に、ネットワーク上から検出して登録することができます。

メモ

- 全方位マイクはカメラ1台分の登録枠が必要です。
- 全方位マイクを検出すると、検出結果欄にID（MACアドレスの最後の4桁）が表示されます。

STEP2

「録画詳細設定（カメラ別）」の全方位マイクの「録音」で全方位カメラのカメラ番号を選択します。

重要

- 本機と全方位カメラの接続方法はHTTPに設定してください。HTTPSに設定されていると、全方位マイクの音声が録音できません。（☞取扱説明書　セキュア拡張キット）

メモ

- 全方位カメラの魚眼モード（FE）、魚眼＋ダブルパノラマモード（FE+DP）、魚眼＋パノラマモード（FE+P）、魚眼＋ 4PTZモード（FE+4PTZ）、パノラマモード（P）で登録しているカメラ番号のみ選択することができます。
- 複数の全方位マイクの「録音」で同じ全方位カメラを選択することはできません。
- 全方位マイクの「録音」で選択した全方位カメラの「録音」は自動的に「On」になります。
- 全方位マイクの「録音」で選択が解除された全方位カメラの「録音」は自動的に「Off」になります。
- 全方位マイクは選択した全方位カメラのスケジュール設定に従って録音を行います。
- 本機と全方位カメラの接続方法でRTSPが設定されていても、全方位マイクとの接続はRTPになります。

全方位マイクの感度を調整する

STEP1

［カメラ設定］タブにある「マイク感度」の［設定＞］ボタンをクリックして、設定画面を表示します。

STEP2

「マイク感度」を設定し、設定を送信する全方位マイクの「選択」にチェックを入れ、［マイクに送信］ボタンをクリックします。

→選択したマイクに設定が反映され、「結果」欄に送信結果が表示されます。

［マイク感度］

設置環境に応じて全方位マイクの感度を設定します。

マイク感度：0高感度／1／2／3初期設定／4／5低感度

［マイクに送信］ボタン

マイク感度の設定を全方位マイクに送信します。送信が完了し、全方位マイクに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、全方位マイクの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン

設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

追補（つづき）

メインモニターで音声を聞く

メインモニターで全方位マイクと組み合わせた全方位カメラを選択すると音声が出力されます。初期状態は指向性を持たない音声となります。

重要

- ウェブブラウザーで全方位マイクの音声を聞くことはできません。
- 全方位マイクを登録しているカメラ番号を選択して音声を聞くことはできません。
- 全方位マイクをマルチキャスト配信で使用するとライブの音声が出力されません。

操作画面表示および全画面表示の操作パネルにおいて、全方位マイクを登録したカメラ番号の録画ランプは表示されません。

例）カメラ2に全方位マイクを登録した場合

集音位置を設定する

ライブ表示中、再生中、メディア再生中にマイクの集音位置を設定することができます。

重要

- 集音位置の指定は、魚眼画像の映像を表示しているときのみ可能です。魚眼画像以外の映像が表示されている場合は、画像上で指定した位置と集音位置が一致しません。
- 魚眼画像の補正表示中は、魚眼画像であらかじめ指定した集音位置に従って音声が出力されます。

STEP1

集音位置を設定したい全方位カメラの1画面表示に切り換えます。

ライブ表示中

再生中

メディア再生中

メモ

- 多画面表示中、全画面表示中は集音位置を設定することができません。
- 操作画面表示で1画表示中のみ［マイク設定］ボタンが表示されます。
- マイクの音声はMP4でコピーすることができないため、メディア再生でMP4ファイルを再生しても音声が出力されません。

追補（つづき）

STEP2

［マイク設定］ボタンをクリックします。
→マイク設定パネルが表示されます。

［マイク指向性］
音声の指向性の設定を切り換えることができます。
Off ：指向性を持たない音
On ：集音位置に対し指向性を持った音

集音位置はカメラ画像上に アイコンで表示されます。
音声の聞きたい位置を画像上でクリックすると集音位置を変更できます。

メモ
- マイク指向性設定および集音位置はカメラ番号ごとに記憶されます。
- マイク指向性設定および集音位置は電源を切ったり再起動したりしても記憶されています（カメラ登録の変更や設定の初期化を行うと、設定情報も初期化されます）。
- 設定できない位置をクリックすると、集音位置を変更できません。
- 集音位置を示すアイコンはマイク設定パネル表示中でマイク指向性が「On」のときのみ表示されます。
- 全方位マイクの音声が録音されたカメラの録画画像を再生する際に、そのカメラ番号に全方位マイクを組み合わせる登録がされていない場合は、指向性を持たない音声が再生されます。

追補（つづき）

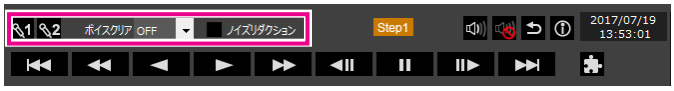
PCで音声を聞く

コピー・ダウンロードしたデータは専用のビューワーソフトを使って再生します。
音声データ（ファイル名.n3a）に全方位マイクの音声が記録されている場合、画像上のマウス操作で指定位置周辺の音声を聞き取りやすくすることができます。

STEP1

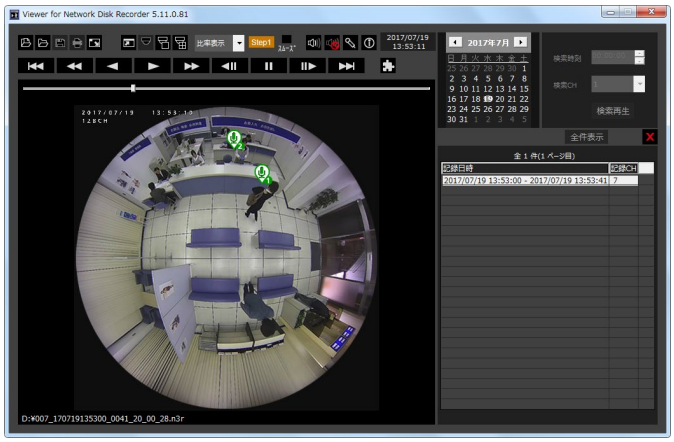
集音位置を指定する場合には、 ボタンをクリックします（ ボタンは再生を開始すると表示されます）。

→集音位置指定操作を行うメニューが表示されます。



STEP2

集音位置は同時に2点まで指定することができます。
 をクリックすると画面上にアイコンが表示されます。アイコンをドラッグ&ドロップして任意の位置に移動します。
→アイコンをドロップした場所周辺の音声が聞き取りやすくなります。



メモ

- 全方位マイクの音声が記録されていない画像データの場合、 ボタンは表示されません。
- マイクの音声はMP4でコピーすることができないため、MP4ファイルを再生しても ボタンは表示されません。
- 表示形式で「比率表示」が選択されているときに ボタンが表示されます。
- 「ボイスクリア」の設定によって、人の声の聞き取りやすさを調整することができます。
  OFF ：調整なし
  Low ：効き目弱
  High ：効き目強
- 「ノイズリダクション」をチェックすると、音声の定常的なノイズ抑制機能が有効になります。
- ソフトウェアバージョンがV1.10より前のレコーダーからコピー /ダウンロードしたビューワーソフトでは、全方位マイクの音声を聞くことはできません。V1.10以上のレコーダーのビューワーソフトを使用してください。

全方位カメラの魚眼画像を1画PTZ/4画PTZに補正して表示している場合、全方位マイクの音声は魚眼画像であらかじめ指定した集音位置に従って出力されます。位置の変更を行う場合は、魚眼映像に戻して操作を行います。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

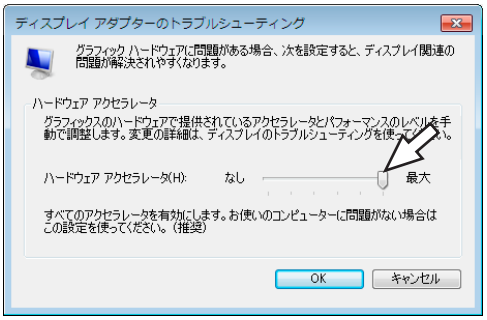
これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
録画できない	● 録画動作がONに設定されていますか？ 設定を確認してください。	48
	● スケジュールは正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。	42
再生できない	● 画像が録画されていますか？ HDD内に録画された画像があるか確認してください。	82
	● ログインしているユーザーは再生できるユーザーレベルに設定されていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	66
	● ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	66
カメラの音声が出力しない または音声にノイズがのる	● カメラの音声圧縮方式は「G.726（32kbps）」に設定されていますか？ 本機は「G.726（32kbps）」のみに対応しています。接続しているカメラの設定を確認してください。	–
	● モニター＞高度な設定の音声出力カメラが「表示カメラ」以外となっていませんか？ 設定を確認してください。	56
カメラを制御できない	● 設定メニュー［基本設定］の［カメラ］－［カメラ登録］で表示されているカメラ品番とIPアドレスが正しいか確認してください。	18
	● 設定メニュー［基本設定］の［カメラ］－［カメラ登録］でユーザー名、パスワードが入力してあることを確認してください。	21
「みえますねっと」サービスのURLでアクセスできない	● 本機（またはルーター）のグローバルアドレスが「みえますねっと」のサーバーに通知されていますか？ 「みえますねっと」サービスのサービス情報サイト（https://panasonic.biz/cns/miemasu/）にて、登録された機器情報を確認してください。通知されていない場合は、本機にアクセスして［設定］－［ネットワーク］－［基本］－［DDNS設定］で「みえますねっと」サービスの登録を完了してください。	58
「みえますねっと」サービスに利用者登録する際、エラーが表示される（エラー例：「エラーが発生しました。cookieが利用できないか、あるいは有効期限が切れました。cookieの利用できるブラウザー、設定で再度接続してください。」）	● ウェブブラウザーのセキュリティ設定が、cookieを受け付けない設定になっていませんか？ お使いのウェブブラウザー（Internet Explorer）の設定を確認してください。 Internet Explorerの［ツール］－［インターネットオプション...］－［プライバシー］タブでcookieの設定ができます。	–
「みえますねっと」サービスの登録で失敗する	● 登録したEメールアドレスが間違っている可能性はありませんか？ 「みえますねっと」サービスのサービス情報サイトのリンクを記憶したEメールが送られてこないときは、登録したEメールアドレスが間違っている可能性があります。 「みえますねっと」サービスのサービス情報ウェブサイト（https://panasonic.biz/cns/miemasu/）を参照して、Eメールアドレスを正しく登録し直してください。	13
外部記憶装置を挿入しても「メディアが挿入されていません」と表示される	● 外部記憶装置挿入後、メディアの認識に時間がかかることがあります。メッセージ画面を閉じて、しばらくしてからもう一度操作してください。	–

故障かな!?（つづき）

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	● 後面のネットワークポートに10BASE-T、100BASE-TXまたは1000BASE-Tケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	取扱説明書 基本編
	● 後面のネットワークポートのリンクLEDが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。	取扱説明書 基本編
	● 有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。	57
	● 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次のようにPCのコマンドプロンプトからpingコマンドで接続を確認してください。 > ping「本機のIPアドレス」 を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。	–
	● 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。	57
	● 設定したIPアドレスと設置先のネットワーク／サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。	57
	●「みえますねっと」で登録している名前（ニックネーム）と異なる名前で本機にアクセスしていないか確認してください。	58
ウェブブラウザーの画像が更新されない	● ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの［F5］ボタンを押して、画像を再度取得してください。	–
ウェブブラウザーの画像更新速度が遅い レスポンスが遅い	● ネットワークが混雑していませんか？ ネットワークが混雑しているとき、左記症状が発生します。	–
ウェブブラウザーで表示されないポップアップ表示がある	● Internet Explorer 以外のポップアップブロッカーが働いている可能性があります。インストール状況を確認し、ポップアップブロッカーを解除してください。	–
操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない	● 正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ ユーザー名、パスワードを確認してください。	67
ビューワーソフトで再生中に音声がとぎれる	● 録画レートの高い画像を再生しているとき、音声がとぎれる場合があります。	–
ダウンロードした画像を再生できない	● 再生画像のダウンロード中に設定が変更されると、ダウンロードを終了します。このとき、ダウンロードしていた画像は再生できません。	–
複数のファイルをドラッグ＆ドロップしてビューワーソフトを起動すると、エラーメッセージが表示される	● 選択ファイルを減らすか、ビューワーソフトを起動してからファイルを選択してください。	–

故障かな!?（つづき）

現　　象	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザー上でカメラ画像を多画面表示したときに、1つの画像表示部に複数のカメラ画像が切り換わり表示される	● PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 • 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調整してください。ここでは、Windows 7 を例に説明します。 1. すべてのウェブブラウザーを閉じてからデスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから［画面の解像度］を選択します。 2. 画面の解像度画面で、［詳細設定］をクリックします。 3. ［トラブルシューティング］タブを選択し、［設定の変更］ボタンをクリックします。 4. ディスプレイアダプターのトラブルシューティング画面で［ハードウェアアクセラレータ］のパフォーマンスレベルを調整し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。 	–
外部記憶装置が認識されない	● USB3.0またはUSB2.0に対応した外付けHDDまたはUSBメモリーですか？ ● exFAT、FAT32またはFAT（FAT16）形式でフォーマットされていますか？ 外部記憶装置の容量が32 GB以内ならFAT32、64 GB以上ならexFATでフォーマットされている必要があります。 ● パスワード認証が付いていたり、複数パーティション構成になっていませんか？ ● USB バスパワーで動作するハードディスク装置を使用していませんか？ 保護回路が働いて電源供給が停止しますので、必ず外部電源で動作するハードディスク装置を使用してください。 ● USBケーブルを接続したまま本機を起動すると、まれに外部記憶装置を認識しない場合があります。本機が起動してからケーブルを接続してください。	–
ウェブブラウザーの設定メニューからカメラのウェブブラウザーを開くと、カメラのH.264またはH.265画像が表示されない	● 本機のポートフォワーディング機能はHTTP通信のみ有効のため表示されません。画像を表示する場合は、直接カメラのアドレスにウェブブラウザーで接続してください。	60
ウェブブラウザーでライブ画像もしくは再生画像が黒画となることがある。	● PCのメモリが不足している可能性があります。ウェブブラウザー及び不要なソフトウェアを終了した後、再度ウェブブラウザーを起動してレコーダーへ接続してください。	–
カメラとの接続方法でHTTPSを選択した後、[拡張機能]-[セキュリティ]設定画面の接続方法の障害情報に「SSL通信不可」が表示された。	● 以下の手順を実施してください。 • ［拡張機能］-［セキュリティ］設定画面の［本機とカメラ間のセキュリティ］-［接続方法］項目の［設定＞］ボタンをクリックします。 • 当該カメラの接続方法がHTTPSに、ポート番号が00443に設定されていることを確認してください。異なる場合は00443に設定してください。 • 設定を終了します。 ● もし改善しない場合は、さらに以下の手順を実施してください。 • ［拡張機能］-［セキュリティ］設定画面の［本機とカメラ間のセキュリティ］-［接続方法］項目ボタンをクリックし、当該カメラの接続方法をHTTPに設定してください。 • ［カメラ］-［カメラ登録］設定画面の［登録情報の変更]項目の［設定＞］ボタンをクリックします。 • 当該カメラのポート番号が00080に設定されていることを確認してください。異なる場合は00080に設定してください。 • 設定を終了後、改めて設定画面を開きます。 • ［拡張機能］-［セキュリティ］設定画面の［本機とカメラ間のセキュリティ］-［接続方法］項目の［設定＞］ボタンをクリックし、当該カメラの接続方法をHTTPSに再設定してください。	–

故障かな!?（つづき）

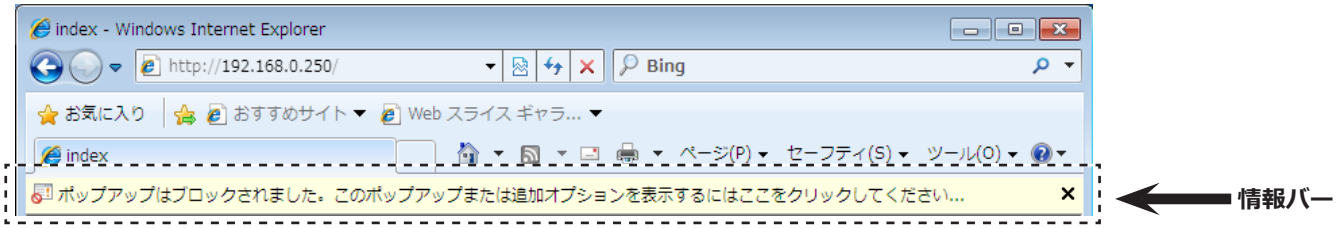
現　象	原 因 ・ 対 策	参照ページ
コピーパネルに表示されるデータ容量が実際にコピーされるデータ容量と異なる。	● コピーパネルに表示するデータ容量は目安のサイズです。音声データが録音されていると誤差が大きくなります。特に弊社製ネットワークマイクは音声データのサイズが大きいため、誤差が大きくなります。残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。	152
コピーの進捗が99.9 %でしばらく停止したり、70 ～ 80 %から100 %になったりする。	● 弊社製ネットワークマイクを独自形式でコピーする場合、音声データの計算誤差が大きくなるため、進捗が99.9 %で停止したままコピーを継続することがあります。残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。一方、MP4形式でコピーする場合、音声データがAAC-LCで録音されていないとコピーされないため、進捗が途中で100 %になり、コピーが完了することがあります。	152
MP4形式でコピーしたファイルが汎用ビューワーで再生できない。音声だけが再生される。	● 汎用ビューワーのコーデックが対応していない可能性があります。その場合は、本機のビューワーソフトウェアをご使用ください。	193
メインモニターの画面上に「温度異常」が表示される。	● 使用温度範囲は+5 ℃～+45 ℃です。本機はHDDの内部温度情報を元に「温度異常」を表示します。「温度異常」が表示される場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+25 ℃程度とするようお勧めします。「温度異常」が頻繁に表示される場合は、販売店（設置工事店）にご相談ください。	取扱説明書 設置編
	● ファンが故障していないか確認してください。	100
	● 本機の通風孔、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風孔にほこりがたまっていないか確認してください。	取扱説明書 設置編

故障かな!?（つづき）

メッセージ表示

OS環境によっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップはブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」	● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	–
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このWebサイトは、'Panasonic Corporation'からの'wvasetupnx.exe'アドオンをインストールしようとしています。Webサイトとアドオンを信頼し、アドオンをインストールするには、ここをクリックしてください...」	● 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	–
下記メッセージの情報バーが表示される。 「セキュリティ保護のため、このサイトによる、このコンピュータへのファイルのダウンロードがInternet Explorerによりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」	● 情報バーをクリックし、「ファイルのダウンロード(D)...」を選択してください。 上記の操作を行ってもダウンロードできない場合には、以下の操作を行ってください。 Internet Explorerの［ツール(T)］－［インターネットオプション(O)...］－［セキュリティ］タブ－［レベルのカスタマイズ(C)...］ボタンをクリックしてセキュリティの設定画面を開きます。「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	–
ダウンロードしたファイルを実行しようとすると、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。 「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」	● ［実行(R)］ボタンをクリックしてください。	–
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示されるポップアップのタイトルバーにURLが表示され、タイトルがすべて表示されない	● Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、「その他」－「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。 ● Internet Explorer 7.0の場合、上記に加え、「Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する」も「有効にする」を選択してください。	–

用語集

<アルファベット・数字>

ActiveXコントロール
Microsoft社が開発したソフトウェアの部品化技術。インターネットやイントラネットを通じてウェブサーバーからダウンロードされ、Internet Explorerに機能を追加する形で使用されます。本機では、動画を表示するために使用しています。

DDNS（Dynamic DNS）
DNSサーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）
PCがネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

DNS（Domain Name System）
ネットワーク環境上で使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PCにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それをIPアドレスに変換して通信を行います。このドメイン名とIPアドレスを対応させるしくみです。

FHD（Full HD）
1920×1080ピクセルの解像度のことです。

FTP（File Transfer Protocol）
ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

H.264
動画データの圧縮方式の1つです。

H.265
動画データの圧縮方式の1つで、H.264より高い動画圧縮率を有しています。

HD（High Definition）
1280×720ピクセルの解像度のことです。

HDD
ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

HVGAW（Half VGA Wide）
640×360ピクセルの解像度のことです。

IPアドレス（Internet Protocol Address）
インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたPCや通信機器1台1台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておく必要があります。

LAN（Local Area Network）
同じ建物の中やフロア内、キャンパスなど比較的狭い地域にあるPCやプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

MACアドレス（Media Access Control address）
ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータの送受信が行われます。

MJPEG
カメラから連続的にJPEG画像を送信する動画方式です。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

NTP（Network Time Protocol）
ネットワークに接続された機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

QXGA（Quad-XGA）
2048×1536ピクセルの解像度のことです。

POP3
インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

POP3サーバー
現在最も普及しているメール受信プロトコルであるPOP3に対応しているサーバーです。

RTP（Real-time Transport Protocol）
音声や動画などのデータをUDPを用いてリアルタイムに配信するプロトコルです。UDPを使用しているため、データの喪失や遅れが発生しますが、受信側は、喪失や遅れたパケットは無視してデータの再生を行います。また、音声や動画のマルチキャスト配信が可能です。

RTSP（Real Time Streaming Protocol）
音声や動画などリアルタイム性のあるデータの配信を制御するためのプロトコルです。 データ転送は基本的にTCPを使用し、信頼性の高い配信を行えます。

用語集（つづき）

SDメモリーバックアップ、SDメモリーデータ
SDメモリーバックアップとは、本機に設定されているスケジュールの時間内にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されているSDメモリーカードに画像を保存するカメラ側の機能です。SDメモリーデータとはその録画画像のことを言います。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールのやり取りをしたり、クライアントがサーバーにメールを送信するときに使われます。

SMTPサーバー（SMTP server）
現在もっとも普及しているメール送信プロトコルであるSMTPに対応しているサーバーです。

SMTP認証
（Simple Mail Transfer Protocol Authentication）
メール送信に使うプロトコルであるSMTPにユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTPサーバーとクライアントとの間でユーザーアカウントとパスワードの認証を行います。このため、SMTPサーバーとクライアントの双方がSMTP認証対応していなければなりません。

SNMP（Simple Network Management Protocol）
ルーターやPC、カメラ、ネットワークディスクレコーダーなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

SVGA（Super VGA）
800×600ピクセルの解像度のことです。

SXVGA
1280 x 960ピクセルの解像度のことです。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/ Internet Protocol）
インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

URL（Uniform Resource Locator）
インターネット上にある文書や画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

USBメディア
ユニバーサル・シリアル・バスインターフェースを持つ、着脱可能な外部記憶装置で、USBメモリーや外付けハードディスクのことです。

VGA（Video Graphics Array）
640×480ピクセルの解像度のことです。

VPN
公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術や暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

WAN
電話回線や専用線を使って、本社－支社間など地理的に離れた地点にあるPC同士を接続し、データをやり取りします。

<あ>

インターネット（internet）
全世界のネットワークを相互に接続した巨大なパソコンネットワークです。インターネットに参加するには、インターネットサービスプロバイダーと呼ばれる業者と契約する必要があります。

イベント
本機が特別な動作（イベント動作）を行うきっかけとなる事象を表します。イベントには､端子アラーム､コマンドアラーム、カメラサイトアラームがあります。

イベント動作
イベント発生時に行う特別な動作を表します。アラーム動作はイベントの発生を画面表示、本機前面の状態表示ランプ、ブザーなどで外部に通知します。イベントの発生を通知する動作は行わず、録画とイベントログへの記録のみを行うこともできます。Off設定時は、イベントログへの記録のみを行います。

イベント録画
イベント発生時に自動的に録画を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の画像を記録するプレ録画と、イベント発生後の画像を記録するイベント録画があります。

ウェブブラウザー（web browser）
Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

用語集（つづき）

<か>

画質

画質は､圧縮率によって変化します。本機は､画質（圧縮率）をXF（超高画質）、SF（最高画質）、FQ（高画質）、NQ（標準画質）で表しており、カメラごとに選択できます。

解像度

本機がカメラ画像を録画する際の画像のきめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度です。本機では、画面上に表示されるピクセル数で表し､水平640ピクセル､垂直480ピクセルの場合、640×480と表記します。

カメラ操作

本機に接続したコンビネーションカメラのパン／チルト（水平・垂直位置）、ズーム（画像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）､明るさ（レンズの絞り）､プリセット動作（指定水平･垂直位置への移動）､オートパン（カメラの自動回転）操作を行うことです。

魚眼画像補正

当社製全方位ネットワークカメラの魚眼画像を1画PTZや4画PTZに補正して表示する機能です。

緊急録画

本機に接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に録画／録音をする機能です。

グローバル（IP）アドレス（global address）

インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークで自由に割り振ることができるプライベート（IP）アドレスがあります。

<さ>

サイドパネル

アスペクト比を維持して表示するために、映像部分の左右に余白部が追加された表示形式です。

サブネット（subnet）

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理や回線の分配を効率よく行うために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

サブネットマスク（subnet mask）

サブネット内のIPアドレスのうち何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義する数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内のPCを識別するホストアドレスと呼ばれます。

白黒切換／簡易白黒切換

白黒切換は、赤外フィルターを挿入して、光学的に白黒切換する機能で、簡易白黒切換はカメラの画像処理で白黒切換する機能です。

スケジュール録画

あらかじめ設定した時間帯に自動的に録画を開始・終了する機能です。

スマートコーディング（GOP制御）

画像内に動きの少ない場合に、画像のリフレッシュ間隔を長くして、配信のデータ量を低減させるカメラ側の制御方法です。

セカンダリー（DNS）サーバー（secondary DNS server）

DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの副系統（サブ）のサーバーです。主系統（プライマリー）のサーバーにトラブルが発生した時などに処理を肩代わりします。

全二重（full duplex）

双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。

<た>

タイムゾーン

共通で（地方）標準時を使う国や地域全体をタイムゾーンといいます。

多画面表示

本機は、ライブ画像表示・再生画像表示のときに、複数のカメラの画像を同時に表示することができます。4台のカメラ画像を同時に表示することを4画面表示、16台のカメラ画像を同時に表示することを16画面表示と呼びます。

デジタルズーム

ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのに対し、デジタルズーム機能は本機内で画像の拡大処理を行い表示します。

用語集（つづき）

デフォルトゲートウェイ（gateway）
組織内のLANなどのネットワークから外部のネットワークのPCへアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

動作検知サーチ
画像内の動きを自動的に検出する機能です。本機は、録画画像の動作検知を行い動きが検出された日時のみを検索する機能（動作検知サーチ）があります。

独自アラーム
イベントや障害発生時に、当社独自の通信方式であらかじめ登録したアドレスへメッセージを送信します。また、当社のカメラから独自アラーム(カメラサイトアラーム)を受信して、本機をイベント動作させる場合にも使用します。

<は>

半二重（half duplex）
双方向通信で、1つの通信回線を使用して、送信と受信を切り換えながら通信する方式のことです。

ビットレート（bit rate）
単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」（bps:bits per second）が使われます。画像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が1秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

ファイアウォール（firewall）
インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの1つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムやそのようなシステムが組みこまれたPCです。

プライベート（IP）アドレス（private address）
主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベート（IP）アドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート（IP）アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル（IP）アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

プライマリー（DNS）サーバー（primary DNS server）
DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの主系統（メイン）のサーバーです。

プラグインソフトウェア
アプリケーションソフトウェアに機能を追加するためのプログラムです。

フレームレート（ips）
録画画像を再生した時の動きの滑らかさを決める単位です。1秒間の記録コマ数を表します。数字が大きいほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。

プロトコル（protocol）
さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約（約束事）の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

ポート番号（port number）
インターネット上の通信（TCP、UDPなど）で、複数の相手と同時に接続するために、IPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレスです。

ポートフォワーディング
インターネットから特定のポート番号宛てに届いたパケットを、あらかじめ設定しておいたカメラに転送する機能です。本機はHTTPパケットのみ転送します。

<ら>

ルーター（router）
異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークあてであれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

■**使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。**

■**その他ご不明な点は下記へご相談ください。**

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-410**（バナハ　ヨイワ） **受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531　福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2017

PGQP2451TA
L0417-6029